

DEC. 2007

ISSN 0917-3102

No. 43

TATEHAMODOKI

タテハモドキ



宮崎昆虫同好会

投 稿 規 定

- 1 昆虫類（クモ類を含む）に関する内容であれば、論説、調査記録、採集記、随筆、写真など自由である。
- 2 宮崎県を中心に、九州に関係のあるものを歓迎する。
- 3 原則として、会員の投稿であるが、依頼原稿や特別寄稿、共同執筆の場合はこの限りではない。
- 4 原稿作成について
 - （1）原稿は、横書き、新かなづかいで記入すること。
 - （2）原稿は、原則としてワープロ作成とする。（45 字× 35 行、9 ポイント）その際、フロッピーディスクを添付すること。できない場合は、事務局に相談すること。
 - （3）ページ単位で作成できると、空白がなくなり見た目がきれいとなる。
 - （4）昆虫や植物名は、省略せずに、カタカナで明瞭に書く。学名もつけるとよい。
 - （5）採集観察記録は、正確さを要求されるため、年月日（西暦年）、採集地（県郡市町村地名）、個体数（♂・♀、頭数）、採集者名、標本所蔵者名をおとされないようにされたい。ただし、雌雄は、複数個体でも単表記（例 2♂）とする。
 - （6）図は、白紙または、トレーシングペーパーに黒インク等で明瞭に書けば、印刷のとき、都合がよい。活字をいれる場合は、その活字のみ鉛筆書きするとよい。
 - （7）写真は、原則としてモノクロ判となるが、カラー掲載希望の方は一部実費となるため事務局と相談されたい。
 - （8）短報は、葉書でもよいが、メール送信がベストである。
- 5 別刷は、実費で作成する。希望者は、原稿の最初のところに必要部数と表紙の有無を朱書きで明記する。ただし、短報（1 頁以内）の印刷は、特別な場合を除き作成しない。費用については、指定の口座に各人が振り込む。
- 6 原稿の採否、印刷、校正（長編の第 1 校は筆者校正）については、原則として編集者に一任のこと。
- 7 原稿類は、経費節減のため返却しないが、必要な場合は、その旨連絡されたい。
- 8 原稿の送り先は、会の事務局（〒 880-0925 宮崎市本郷北方 4353-31 岩崎郁雄方 宮崎昆虫同好会宛）へ送付する。

附則 この規定は、2006 年 12 月 31 日に改訂した。

表紙写真

宮崎県新記録種 オオツバメガ(♀)

一見、チョウを思わせる大形のガである。茶系の渋い地色は、昔のセピア色の写真を思わせるようである。分布は、フィリピン以南の東南アジアで、日本本土に飛来することは滅多にない。2007 年は、本県と鹿児島県でほぼ同時期に採集された。

（文・写真：岩崎郁雄）

都城市のオオツバメガ

永井 厩・阿部祐侍

オオツバメガ *Lyssa zampa* (Butler)

都城市 JR 都城駅前 α・1 (アルファ・ワン)

2007 - July・12 1 ♀ (阿部祐侍採集)

午前9時頃ビジネスホテル α・1 の玄関前に
飛来して、翅を広げて止まったところを採集した。
この採集日の前後は梅雨前線が北上、南下を繰り返
していた。(表紙写真参照)

この大型のツバメガは、ツバメガ科(オオツバメガ
亜科)に属し、東南アジアの熱帯から亜熱帯に広く分
布している。日本産蛾類大図鑑によれば日本からの記
録として、戦前石垣島(1936)、戦後は宮古島(1967)
に採集され、他にもいくつかあるらしい。

最近では以下の採集例が報告されている。

- ① 山口県萩市笠山(標高112.2m) 1999 - July・4 1 ♂ (中村隆義採集)

駐車場の街路灯のまわりで採集されたもので、写真を見ると大分傷んだ個体である。

- ② 熊本県天草 九州大学天草臨海実験所 2006 - May・19 1 ♂

(Mutsunori TOKESHI & Makoto YOKO-O 採集)

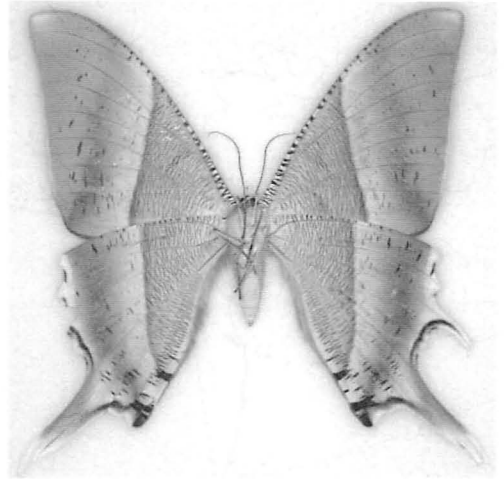
午後10時30分頃、水銀灯に飛来した個体のようで、ポンプ小屋の白壁で採集された。

- ③ 佐賀県佐賀郡東与賀町下古賀 2006 - May・21 (井原砂雄撮影)

採集個体ではなく、写真撮影されたものが示されている。

- ④ 鹿児島県出水郡長島町行人岳 2007 - July・16 1 ♂ (石田幸生・石田幸代採集)

ナイターで午後9時30分頃採集。

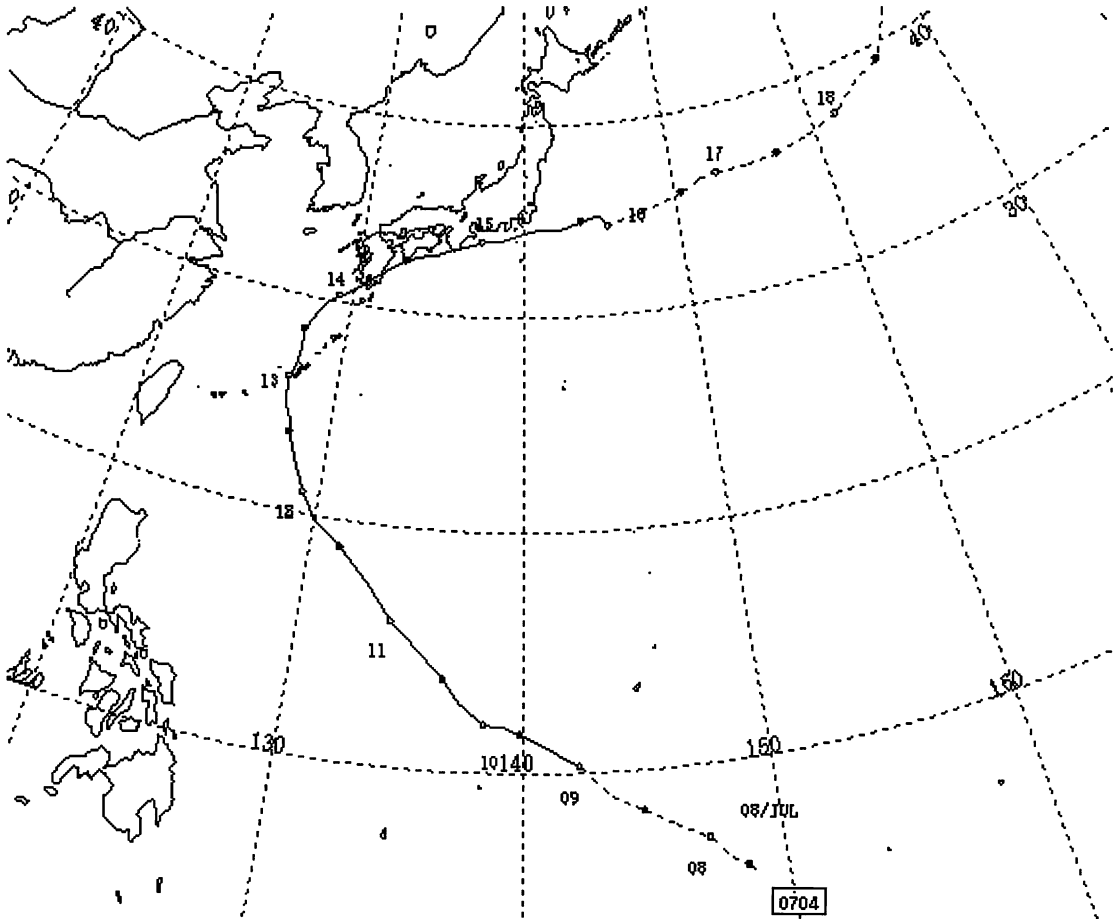


オオツバメガ裏面

①の個体以外の他3地点の個体は写真を見る限り割と傷んでいない個体のようである。①と③の個体はわずか2日違いで、採集地点も近く2006年の台風1号(7月19日東シナ海で消滅)の影響によるものではないかと推定されている。2007年採集の本個体と④の個体も、2007年の台風4号を境にした前後でわずか4日違いである。台風4号が九州本土に最接近したのは7月14日で、宮崎県では「7月の観測史上最強」とされ、記録的な雨や風を観測し、それがもたらした被害の大きさも記憶に新しいところである。また、③と④は採集年は異なるが、非常に近いところで採集されているのも面白い。気象庁のデータによる2007年台風4号の経路図を付記しておく。日付の位置は、その日の午前9時の位置を示している。

文献でいろいろとお世話になった大分の宮田彬先生、写真撮影と文献を見せていただいた本同好会の岩崎郁雄先生に厚くお礼申し上げます。

図. 台風4号経路図



参考文献

- 井上寛ほか (1982) : 日本産蛾類大図鑑 ; 講談社
須藤和夫 (1999) : 山口県で採集されたオオツバメガ ; 月刊むし No.346, 6
宮田 彬 (2006) : 九重昆虫記—昆虫の心を探る—I ; かんぼう
吉田喜美明 (2006) : 佐賀県でオオツバメガ確認 ; 月刊むし No.430, 18
石田幸生・石田幸代 (2007) : オオツバメガを長島町で採集 ; SATSUMA 57 (137), 181

(ながい あつし : 小林市大字真方 4230 ; あべ ゆうじ : 都城市一万城町 5 1 - 5)

コブノメイガ、シロオビノメイガの延岡の海岸における飛来状況

1. 9年間の調査のまとめ

宮原 義雄

コブノメイガ *Cnaphalocrocis medinalis* GUENEE およびシロオビノメイガ *Spoladea recurvalis* FABRICIUS 両種 の中国南部から日本本土への飛来状況について、宮崎県延岡市の海岸で 1996 年から調査を始め、以来 2004 年まで継続して調査を続けた。初年目の結果を九州病害虫研究会誌に報告し（宮原、1997）、1997 年以降の結果については本会誌に順次報告してきた。2004 年をもって 9 年間の調査を終了したことから、今回全期間の結果を一括して取りまとめた。

方 法

調査の場所は宮崎県延岡市緑ヶ丘町の日向灘に面する海岸である。この海岸保安林南端の海側の草地でチガヤが主体である。最初の 3 年間はこの草地から保安林のなかを抜け、川口側（浜川）の植生の異なる草地まで連続して調べた。3 年目に不法投棄物により両地点が分断されたため、4 年目以降は海側だけに縮小したので、前 3 年と後 6 年が異なる調査面積となった。海岸の海側の面積は約 3 アールである。川口側は海側より小面積であった。

毎年調査の開始は 5 月中旬から区内を棒で払って、飛び出した飛来成虫を確認することから始めた。最初は隔日に実施し、鹿児島気象台による南九州の梅雨入り、および、当年の飛来状況から判断して、連日調査に切り替えた。その後南九州の梅雨明けまで続けた。大雨や強風の日を除いては出来るだけ欠測しないようにした。

成虫の採集は直径 36cm の捕虫網を用いた。採集成虫は雌雄数を記録し、雌成虫は解剖して、精包の有無から交尾状況を調べた。飛来数の多い場合は 1 時間 20 分までを採集時間の限度とした。毎年 of 調査期間および梅雨期間の月日を示すと下表の通りである。

年次	隔日調査	連日調査	調査終了	梅雨入り	梅雨明け
1996	5. 28.	6. 18.	7. 15.	*	*
1997	—	6. 2.	7・31.	6. 2.	7. 20.
1998	5. 12	5. 29.	7. 3.	6. 2.	7. 2.
1999	5. 12.	5. 24.	7. 25.	6. 2.	7. 23.
2000	5. 22.	5. 30.	7. 24.	5. 26.	7. 15.
2001	5. 14.	5. 31.	7. 23.	5. 21.	7. 20.
2002	5. 18.	6. 10.	8. 12.	6. 10.	7. 21.
2003	5. 12.	6. 3.	8. 7.	6. 9.	7. 22.
2004	5. 14.	6. 23.	7. 11	5. 29.	7. 11.

註) 1996 年の*印は梅雨期間の表示が、ある期間から特定日に変わる以前の表示のためで、正確には、第 1 図に示した。

結 果

1. 飛来成虫の初発見日

中国から飛来した兩種成虫の初発見日を第 1 表に示した。シロオビノメイガは 5 月中旬から、コブノメイガは 5 月下旬から見つかり、シロオビノメイガがやや早かった。平均してシロオビノメイガが 8 日前後早かった。飛来の遅い年はコブノメイガ 6 月下旬、シロオビノメイガ 5 月中旬で、年により約 1 ヶ月の幅が見られた。

第 1 表 延岡の海岸におけるコブノメイガ、シロオビノメイガの初発見日

調査年次	コブノメイガ		シロオビノメイガ		日数の差 日
	発見日	虫数	発見日	虫数	
1996	6. 22.	1	6. 20.	1.	2
1997	6. 9.	3	6. 9.	3	0
1998	6. 5.	1	5. 16.	1	20
1999	5. 25.	2	5. 26.	2	-1
2000	6. 2.	1	6. 1.	1	1
2001	6. 6.	1	5. 22.	1	15
2002	6. 12.	1	5. 22.	1	21
2003	6. 20.	1	6. 12.	1	8
2004	6. 25.	1	5. 18.	1	7

2. 年次別採集成虫数

1996 年から 2004 年までの調査期間における年次別の採集成虫数を第 2 表に示した。

毎年の飛来虫は、年により飛来始まりの早晚があり、また梅雨明けの早晚があるため、飛来虫と日本本土で発生したその次世代虫は明瞭に識別できる年とそうでない年がある。そのため年によっては飛来が続いているのに、国内発生虫の羽化が始まり、両者が混在する可能性が考えられた。

区分月日はこの日までの採集数は、すべて飛来虫として扱い、これ以降の採集虫は国内の羽化虫として扱った。

区分月日の決め方は、兩種の发育最低温度および、羽化までに必要な有効積算温量が明らかなので、(コブノメイガについては米田豊、1975、シロオビノメイガについては山田ら、1979) 延岡測候所の日平均気温を用いて計算し決定した。

次世代虫は本来国内の羽化虫を指すが、以上の説明で明らかのように、年によっては飛来虫を含む場合もある。

第2表 コブノメイガ、シロオビノメイガの海岸における採集虫数

調査年次	区分月日	コブノメイガ		区分月日	シロオビノメイガ	
		飛来虫数	次世代虫数		飛来虫数	次世代虫数
1996	—	394	—	—	291	—
1997	7. 11.	33	302	7. 4.	29	106
1998	—	123	—	—	70	—
1999	7. 6.	132	136	6. 24	10	39
2000	7. 9.	89	69	6. 28.	12	9
2001	6. 30.	23	267	6. 27.	17	59
2002	7. 15.	18	118	7. 8.	30	242
2003	7. 26.	571	1696	7. 6.	28	48
2004	—	4	—	—	25	—

調査面積が最初の3年と後の6年と異なったことから、それが飛来虫数に影響したことが考えられた。

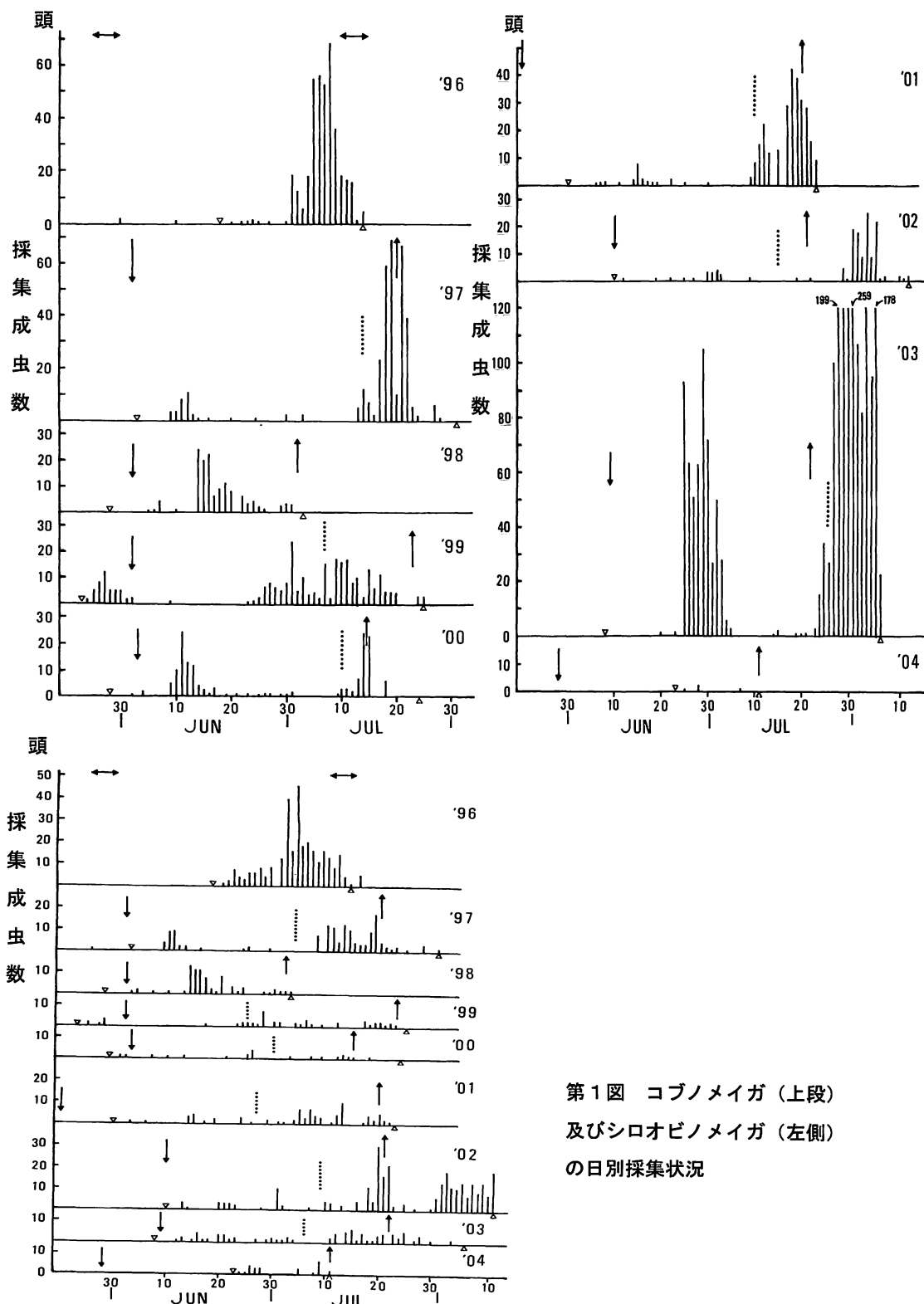
この点、コブノメイガでは、2003年が大飛来のあったことからその差はわずかであった。、シロオビノメイガでは、後の6年は最初の3年の数分の1で少なかった。これは単なる面積の違いより、むしろ、川口側には本種の野生寄主植物ツルナ（宮原、2000）が水辺に生えていたことによる影響が大きかったのではないかと考えられる

コブノメイガとシロオビノメイガの飛来数の関係は、2002年、2004年の2年はシロオビノメイガの飛来数がコブノメイガより多かったが、他の年はいずれもコブノメイガの飛来数が多かった。海側だけの6年間の調査について、単純平均すると7倍、コブノメイガの多飛来年2003を除いて比較すると、約3倍コブノメイガの飛来数がシロオビノメイガのそれより多かった。

コブノメイガの飛来数の年次変動をみると、2002年と2003年との間には32倍の差があり、一方、2003年と2004年の間には143分の1の差があるが、連続する2年間でこのような極端な採集数の差がみられたことは、土着の蛾では考えられず、移動性蛾の採集数変動の大きな特徴と考えられる。シロオビノメイガではこのような差は1996年と1997年がもっとも大きく約10分の1、他の6年間ではその差は少なかった。調査期間の長さを10年20年のスパンに広ろげれば、同じような極端な差がみられるのではないと思われる。

3. 日別採集状況

種別、年次別に毎日の採集状況を第1図に示した。この図の矢印は梅雨入り（下向き）梅雨明け（上向き）で示し、1996年だけは方法で述べたように、5日間の幅で示した。点線は区分月日でこれ以前は中国からの飛来虫で、これ以降には日本で発生した羽化虫が混じる可能性がある。



コブノメイガ、シロオビノメイガ共に、飛来の最も早かったのは 1999 年で、5 月下旬に飛来が始まり、逆に最も遅かったのは 1996 年で、6 月下旬から 7 月中旬に飛来が見られた。両種共に 6 月中旬以降に飛来の山が見られた。飛来の終期は判然としない年があり、コブノメイガでは 1997 年、1999 年、2001 年、シロオビノメイガでは 1997 年、1999 年以降 2003 年までがあった。

飛来数の多かった年について、おおよその飛来の傾向をみると、始め少なく徐々に増加し、その後また減少する年で、コブノメイガの 96, 99, 00 年、シロオビノメイガの 96, 97 年などがこれに当たる。いま一つは、いきなり纏まった飛来がみられた年で、コブノメイガで 98, 03 年、シロオビノメイガ 98 年等があげられる。その他の年は一日あたり 10 頭に達しない年で、傾向としては判然としなかった。

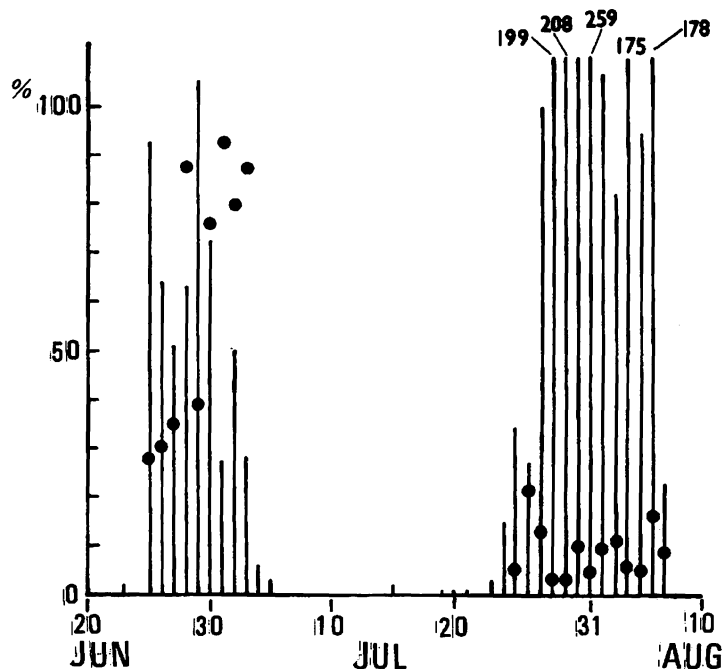
4. 世代間にみられた交尾率の違い

日別の交尾率の推移についてコブノメイガの 2003 年の結果を示した。これは第 1 図に示した日あたりの採集虫数が多い場合 10 頭に達しない日が多く、解剖雌数はさらに少なく、その信頼度は低いので 2003 年の大飛来のみられた調査の結果で代表させ第 2 図に示した。

この図には日々の採集虫数とあわせて交尾率を黒丸で示した。2004 年は飛来数が多いだけでなく、

飛来の始まりが 6 月 25 日と遅く、さらに梅雨明けと次世代の羽化の重なりが少なく、世代が明瞭に分離できたことも例としてあげた理由である。

この結果については既に報告したが、ここに再び説明する。すなわち、中国からの飛来蛾とその次世代の日本で羽化した蛾の交尾率に明瞭な違いがみられたことである。飛来蛾では飛来一日目の交尾率は 28 %で、最大 92 %まで日数の経過につれて交尾率は上昇したが、次世代のそれは 0 %から 21 %まで平均 8 %と、全く上昇がみられなかった。



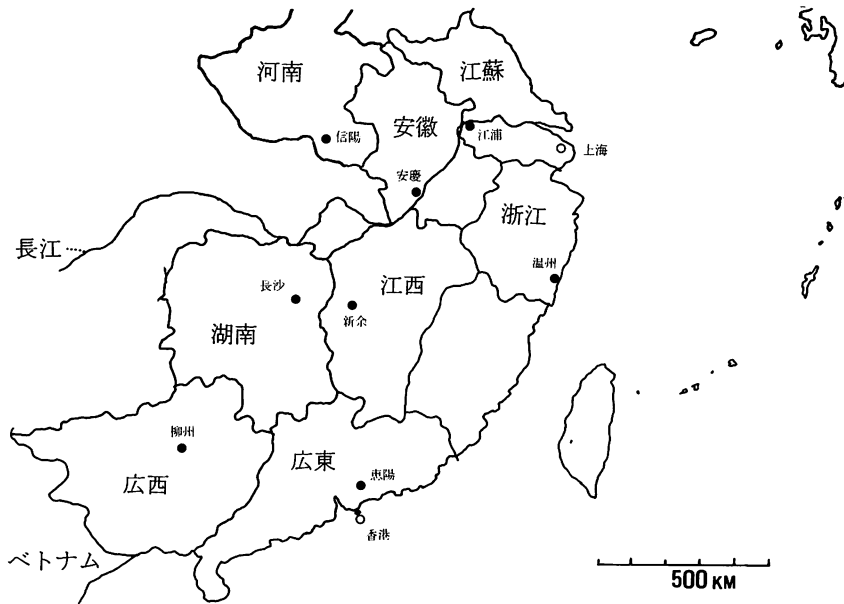
第 2 図 コブノメイガの日別採集数と交尾率の推移 (2003年)

註) 日別採集数、棒グラフ、●は交尾率を示す。

考 察

1. 飛来源の推定

今回の調査でコブノメイガの飛来時期が明らかになった。そこで、中国における発生時期と比較し、中国の飛来源を推定しようとした。資料は王（1983、上冊）の中国農作物病虫害による。調査地点別の発蛾状況を第3表に、各地点を第3図に示した。



第3図 中国におけるコブノメイガの調査地点

第3表 中国におけるコブノメイガの各代発生期（月・旬）

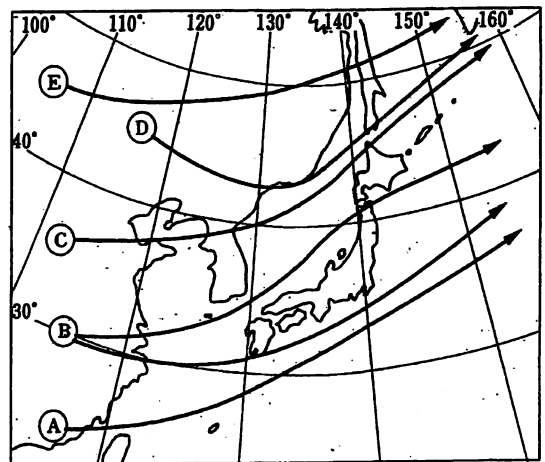
省名	地点	越冬代	第1代	第2代
安徽	安慶	5. 中	6. 下—7・上	7. 下—8・上
河南	信陽	5・中下	6. 中下	7. 下—8中
江蘇	江浦	5・上中	6. 下—7・上	7・下—8・上
浙江	温州	5・中	6・下	7・下
江西	新余	4. 下—5上	5. 下—6・上中	6・下—7・上中
湖南	長沙	4・下—5上中	6・上中	7・上中
広西	柳州	5・上	6・中	7・下
広東	惠陽	4・中下	5. 中下	6

第3代以降は省略した。なお、本文は簡体字で記されているので旧字体で示した。

各世代の発生期は盛蛾期とあるので多発期を指すものと思われる。第3図で福建省は空白になっているが、周辺の省の発生に近いものと思われる。全体として調査地点は河南省信陽を除き長江以南にある。第1代の発生期をみると、江西省新余、広東省惠陽が5月からで、他の地点は6月から7月に

かけて発生しており今回の調査の飛来時期と一致するので、飛来源はこれらの地帯からと考えられる。ただし、毎年の飛来源は梅雨前線の発生場所と関連する。

この点について、中国大陸における低気圧の発生場所を白木（2002）の著書から引用したのが第4図である。低気圧は前線帯上に発生したあと、前線上に沿って移動するが、AおよびBなかでもB付近からの低気圧の移動が関連するのではないかと考えられる。さらに厳密に言えばコブノイメイガの飛び立ちは夜間であるので（宮原、1990）夜間の移動である。飛来蛾は梅雨前線の南面を流れる強い気流に乗って飛来すると考えられるからである。



第4図 日本付近の低気圧のおもな経路

註 白木正規 百万人の天気教室より

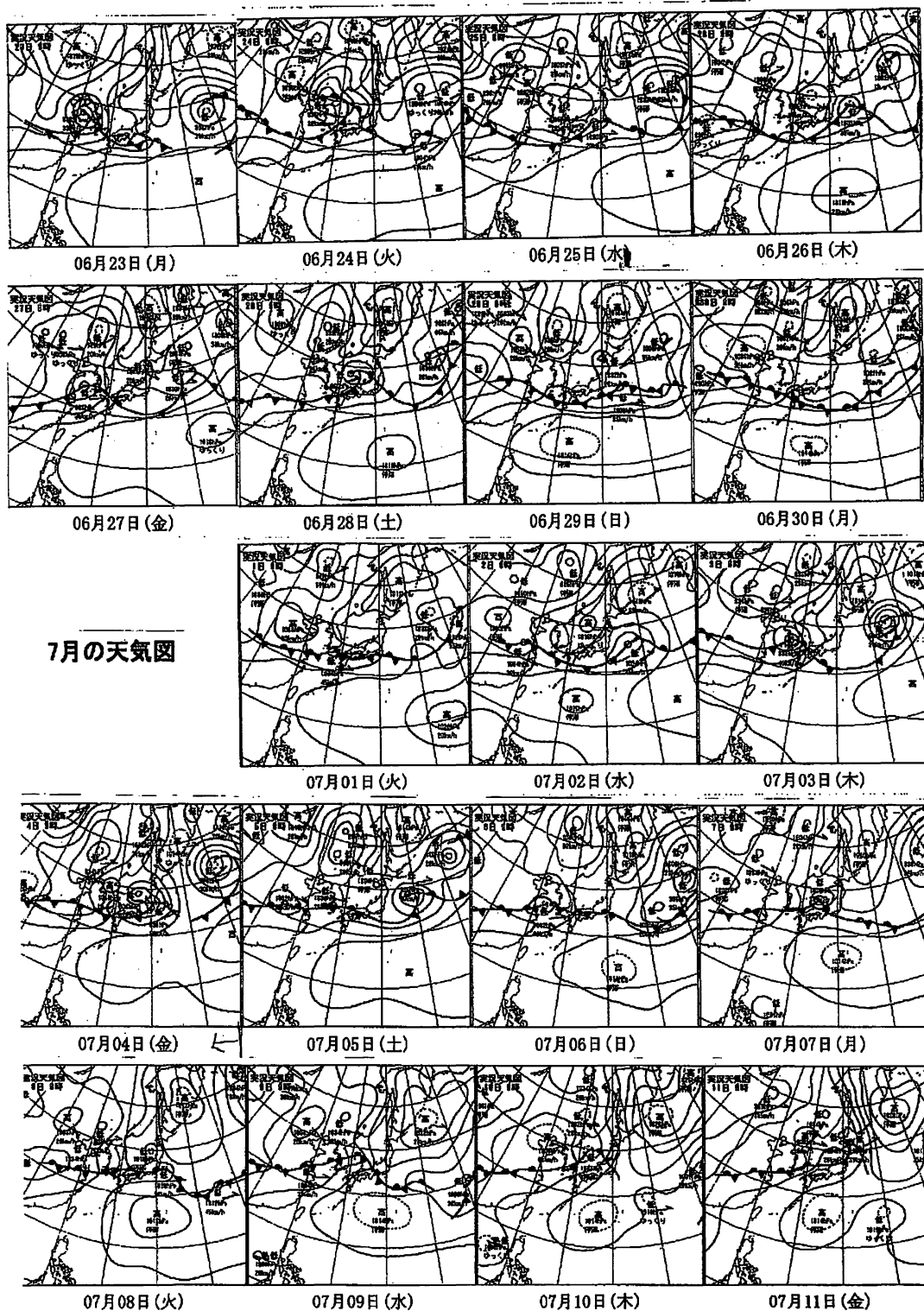
そこで、気象庁発表の天気図について、具体的に第5図に示した。この図では、大飛来のあった2003年と最も飛来の少なかった2004年の9時の地上天気図を対比して示した。その期間は2004年の連日調査の期間6月23日から7月11日までの20日間である。多飛来年の2003年をみると、この20日間中国大陸長江周辺から東シナ海をへて九州周辺にかけてほぼ毎日前線がみられたことである。一方、飛来の少なかった2004年は6月28日前の数日間飛来の期待できる前線がみられたが29日以降は7月を通じ、飛来の期待のできる前線はみられなかった。

以上の結果からコブノイメイガの飛来源は長江中流および下流域とそれ以南の地方からの飛来ではないかと考えられる。

次に、シロオビノイメイガであるが本種については中国の資料（王、1983、下冊）は非常に簡単な説明しかない。発生は黄淮平原、長江中、下流域（下遊）の甜菜（砂糖大根）産地とし、他の食草の記載はない。年の発生世代は明らかでなく、黄河下流域で蛹越冬した蛾が7月中旬出現するとありこれは明らかに誤りであろう。長距離移動については全く認識されていない。恐らく、飛来源は長江の中、下流域からの飛来であろう。なお、黄淮平原は河南省東部および山東省西部の黄河以南から安徽省、江蘇省西部の淮河以北の平野を指す。

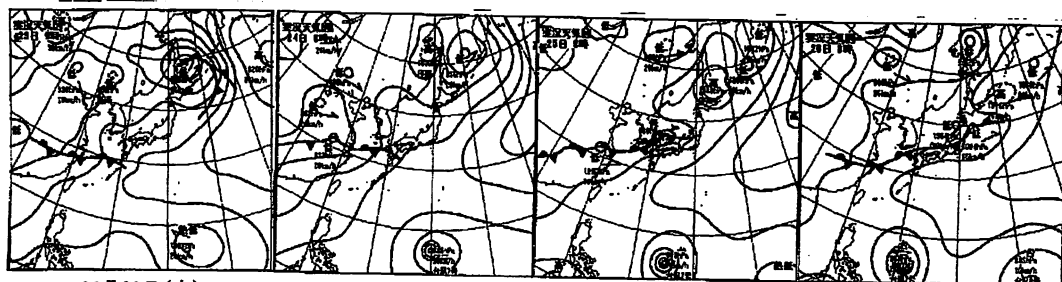
2. 世代間の交尾率の差に関連して

海岸に飛来した中国からの飛来蛾（移入）は近くの水田に交尾産卵のために移動する。海岸には餌となる植物はないからである。仮にに飛来後のこのような移動を小移動と呼ぶと、これらの蛾は水田で交尾産卵後も一部の産卵中の雌を除き、水田に留まることなく、夜間には小移動を繰り返しているのではないかと考えられる。日数経過にともなって交尾率が上昇するのは、このような蛾が再び海岸に降りるためと考えられるからである。一方で中国からの飛来も続いているので、交尾率の上昇は直線的な上昇ではなく、上下に変動しながら上昇した。



7月の天気図

第5図 地上天気図 2003年

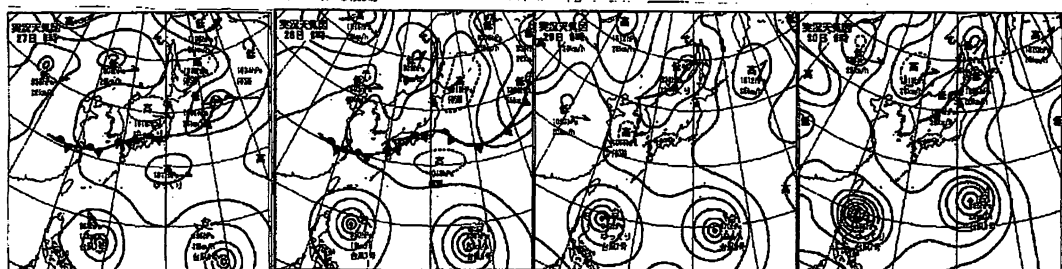


06月23日(水)

06月24日(木)

06月25日(金)

06月26日(土)



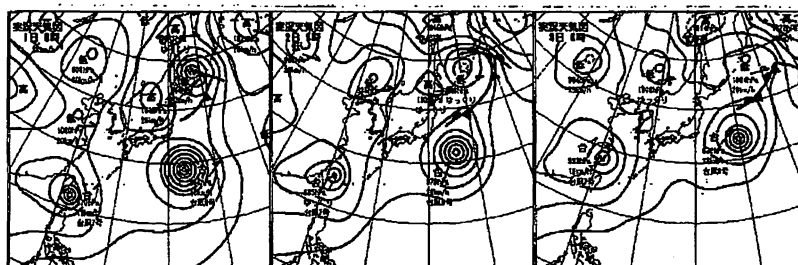
06月27日(日)

06月28日(月)

06月29日(火)

06月30日(水)

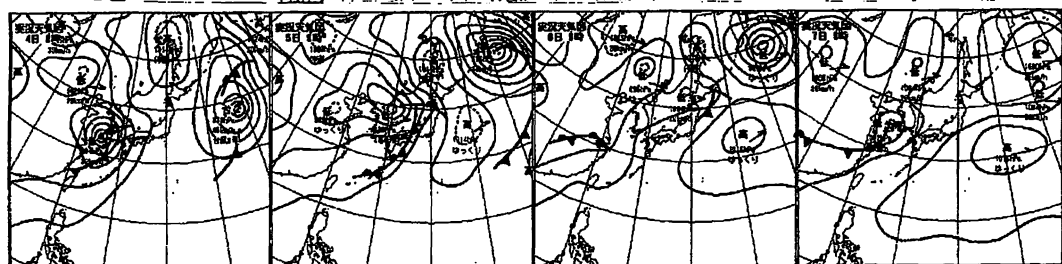
2004年7月の天気図



07月01日(木)

07月02日(金)

07月03日(土)

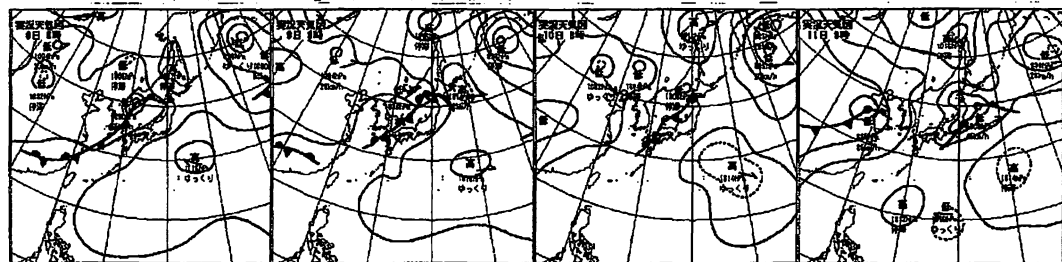


07月04日(日)

07月05日(月)

07月06日(火)

07月07日(水)



07月08日(木)

07月09日(金)

07月10日(土)

07月11日(日)

第5図 地上天気図 2004年

一方、国内で羽化した蛾の場合は羽化後大移動し、再び発生地帯に留まらず、移動先で交尾産卵に
移るため交尾率の上昇がみられないと考えられる。したがって、大移動は羽化後の移動である。

筆者は中国からの飛来蛾は日本に飛来後、飛来地で世代を繰り返すと考えていたが、これは誤り
である。

水田からの移動（移出）について和田（1987）は移動を起こさせる要因として稲の生育ステージを
あげ出穂期以降の登熟期の稲が関与するとしているが、今回の調査の場合延岡は普通期栽培で移出時
の稲は登熟期より約1ヶ月早い。したがって、稲の条件を移出の要因とするには問題があるように思
われる。1904年がこの調査の最大の飛来年であったことから、今後なお検討を要するが、筆者はコブ
ノメイガのDNAに内在するのではないかと考えている。

今回の移出時期はすでに梅雨明けの太平洋高気圧の圏内にある。したがって、中国からの飛来のよ
うな前線活動による長距離の移動は期待できない。その場合国内の移動がどのように行われているか
は調査がなく、今後の問題である。この点、中国においては秋季の移動についてイギリスの Natural
Resources Institute と南京大学の研究者との共同研究による報告がある（Riley ら、1995）

なお、先にあげた中国の資料によると、コブノメイガは中国では成虫が突増する場合と、突減する
場合がみられ、突増する場合は卵巣の発育級は高く、交配率（交尾率）は71～100%、突減の場合は
卵巣の発育級は低く、交配率は27%前後であったと記されている。この記述からすると突増の場合は
飛来移入後の成虫の結果を、突減の場合は飛び立ち移出時の結果をそれぞれ示しているように思われ
る。今回の調査で移出蛾の交尾率8%は中国の場合より低いが、飛来初日の28%は突増蛾の27%と
変わらなかった。

要約

コブノメイガ、シロオビノメイガの梅雨期における中国からの飛来状況を、宮崎県延岡市の海岸で
調べた。海岸の約3アールの草地に飛来した成虫を毎日捕虫網で採集して飛来数を調べ、さらに雌成
虫は解剖して交尾状況を調べた。1996年から2004年まで9年間調べた。

1. 成虫の初発見はシロオビノメイガがコブノメイガより早かったが、まとまった飛来は両種とも
早い年には5月下旬に始まり、7月中旬がもっとも遅かった。飛来数はコブノメイガがシロオビ
ノメイガより3～7倍多かった。
2. 飛来数の年次変動はコブノメイガがシロオビノメイガより大きかった。特にコブノメイガの2002
年から2004年の飛来数はそれぞれ、18, 571, 4頭と変動は著しかった。
3. コブノメイガ最多飛来年2003年の雌成虫の交尾率は飛来初日の28%から日時の経過につ
れ最大92%まで増加したが、次世代のそれは0%から21%、平均8%と増加はみられなかった。
これらの結果から次世代の羽化虫は羽化地を離れ移動（移出）するものと考えられた。
4. 中国の発生資料および気象資料から、飛来源はコブノメイガは長江流域とそれ以南の地方、
シロオビノメイガは長江中、下流域と推定した
5. 飛来次世代の移動を起す要因はコブノメイガでは生育環境ではなく、そのDNAに内在すると
考えられた。

引用文献

1. 宮原義雄 (1990) 夏秋季海岸植生にみられるコブノメイガ、シロオビノメイガ成虫集団
日本応用動物昆虫学会誌 34、No 1 : 21 ~ 27.
2. 宮原義雄 (1997) 水田地帯および海岸におけるコブノメイガおよびシロオビノメイガの 1996 年
梅雨期の飛来. 九病虫研会報 43 : 63 ~ 65.
3. 宮原義雄 (2000) シロオビノメイガの野生寄主植物ツルナ。 タテハモドキ 36 : 43
~ 44.
4. Riley.J.R.,D.R.Reyolds.,A.D.Smith,A.S.Edwards,Zhang.X.~X.,Cheng.X.~N.,Wang.H.~K.,Chen.
J.~Y.and Zhai.B.~P. (1995) Observations of autumn migration of the rice leafroller *Cnaphalocrocis
medinalis* (Lepidoptera:Pyralidae) and other moths in eastern China. Bulletin of Entomological Research
85: 397~414.
5. 白木正規 (2002) 百万人の天気教室 成山堂書店 100.
6. 和田節 (1987) コブノメイガの移動～特に水田からの移出を中心に～植物防疫 41 No 11 :
559 ~ 562.
7. 王錫元 (1983) 中国農作物病虫害 中国農作物病虫害編集委員会編 上冊 111 ~ 122. 下冊
1351 ~ 1352.
8. 山田偉雄.腰原達雄.田中清 (1979) シロオビノメイガの生態 野菜試験場報告 A 6 : 171 ~ 184.
9. 米田豊 (1975) コブノメイガの生態学的研究 1. 幼虫の令構成及び有効積算温量について.
昭和 50 年度 応動昆大会講演要旨 323.

(みやはら よしお : 延岡市塩浜町 4-1627-10)

コブノメイガ、シロオビノメイガの延岡の海岸における飛来状況

2. コブノメイガ飛来状況の他の地点との関係

宮原 義雄

コブノメイガ成虫の各県における飛来調査は水田内でライトトラップを用いての調査、または成虫の水田内での見取り調査により行われている。海岸調査は水田から市街地を挟んで約 1 Km はなれた海岸の草地で、成虫の掬い取りを実施した。したがって、調査地点の条件が水田と海岸で全く異なることから宮崎県、鹿児島県の水田地帯で行われた調査の結果と比較を試みた。

方 法

両県の調査の方法は次の通りである。宮崎県水田内に設けた蛍光灯による調査である。光源にはナショナル 20S-BA-37K の 20 w 蛍光管が使用されている。都城市とえびの市の 2 箇所で行われた。海岸調査とは 1 年遅れの 1997 年からである。鹿児島県鹿児島市にある県農業試験場内の早期水稻の水田内の追い出しによる成虫の見取り調査で、調査面積は 1 アールである。

宮崎県は宮崎県病虫害防除所による事業実績書より、鹿児島県は鹿児島県農業試験場による農作物

有害動植物発生予察事業調査成績書より当該年の結果を引用した。

なお、各調査地点を第1図に示した。

結果と考察

宮崎県および鹿児島県の飛来状況を延岡のそれと対比して第2図に示した。調査の方法が上述のように三者三様に異なるので厳密な意味での比較はできないが、おおよその傾向を述べるに留める。

最初に両県ともに6月から調査が始まる関係から5月の調査がなく、1999年はたまたま5月下旬に飛来が始まったので、この年は延岡以外の3地点は欠測となる。

宮崎県内では第2図から、99、01、02、03、04年の5年間について第1図 コブノメイガの調査地点は県内3地点間の飛来状況に殆ど違いはなかった。00年はえびのが都城、延岡より少なく、98年は延岡の6月中旬が他の2地点より多かったのが目に付く程度で、全体として、県内3地点は同じような傾向を示した。

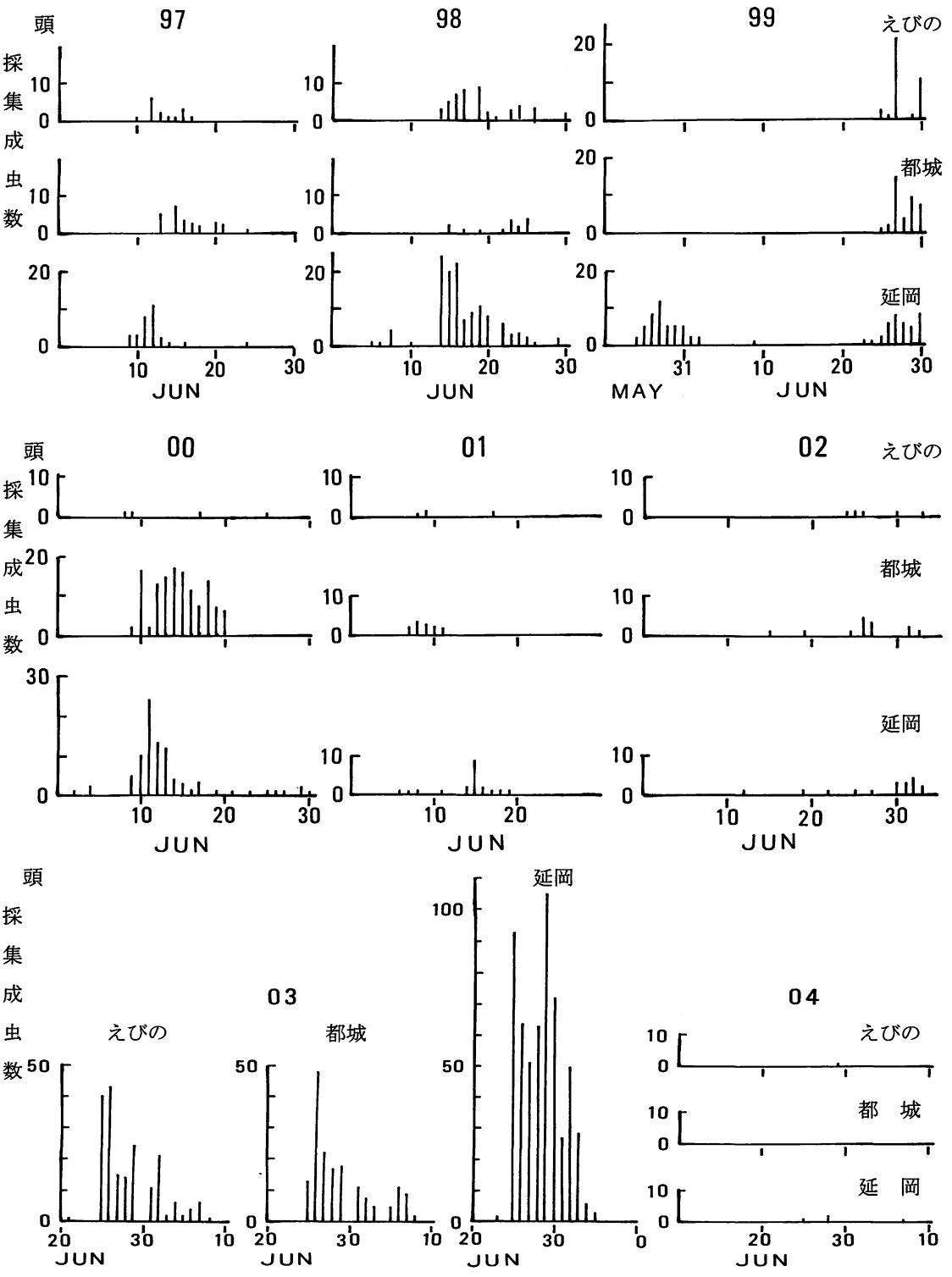
次に鹿児島との関係であるが、宮崎の3地点と共通する傾向として、調査期間の最大飛来数が見られたのは2003年で、一方最小の飛来年は2004年でいずれも宮崎3地点と同様であった。個々の調査年についてみると、96年は都城、えびのは調査がないので、97年からになるが、97年は鹿児島は6月中旬の多飛来が目につく。98年は鹿児島は宮崎3地点より全体として多いが特に6月下旬が目立つ、この年の6月中旬の飛来の始まりは延岡、鹿児島は一致した。99年は鹿児島は6月上旬がやや多かった。6月下旬の山は延岡に示されるようにこの年は5月下旬から飛来しているので、次世代の羽化も含まれるものと思われる。00年は6月上、下旬のいずれも極めて多かった。01年は6月上旬が多かった。02年は6月中旬から目に付き、特に下旬に多かった。03年は両県ともに最多飛来年なので全体として多かったが、宮崎の3地点がいずれも6月25日に飛来が始まったのに対し、鹿児島ではそれ以前から少数ながら飛来が見られた。04年は鹿児島もまとまった飛来は見られなかったが、飛来数としては宮崎より多かった。以上のように、鹿児島は宮崎3地点に比べ飛来の時期も早く、飛来数も格段に多かった。

以上の結果から延岡は飛来の傾向は都城、えびのに近い。距離的には鹿児島と都城、えびの間に比べ、延岡と都城、えびの間は遠いにも関わらず、都城、えびのに近いと思われるのは興味深い。あるいは、鹿児島が特殊と言うべきか。鹿児島は単なる地点間の距離では説明できない他の要因が有る様に見える。今後の検討課題である。

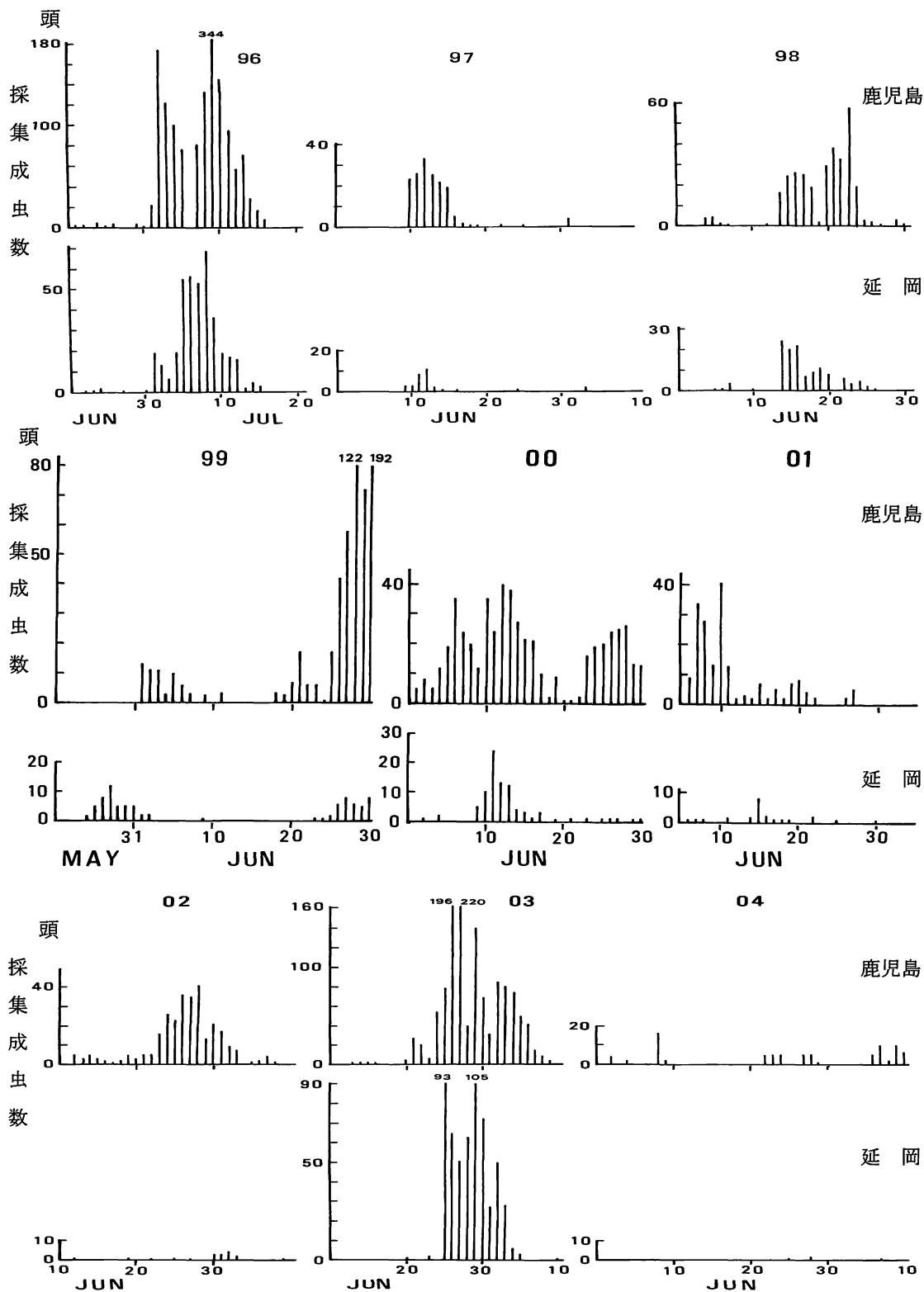
筆者は先に、飛来の同時性として、鹿児島と延岡の飛来に時間的一致して飛来蛾見られることを報告した(宮原、2005)。調査資料としては96、97、98年の資料をもとに述べたが、今回、全期間についてみると、常に同様の傾向がみられるとは限らないことが明らかになった。飛来の最も少なかった04年を除く、00年から03年の5年間では前3年に見られた同時性は見られなかったからである。前3年と後の5年でこのように判然と傾向が異なった理由は分からない。年により同時性が見られない年も



有ることなのだろうか。



第2図 えびの・都城・延岡の採集状況



第2図 鹿児島・延岡の採集状況

引用文献

1. 鹿児島県農業試験場 農作物有害動植物発生予察事業調査成績書 平成8年度～平成16年度.
2. 宮崎県病害虫防除所 事業実績書 平成9年度～平成16年度
3. 宮原義雄 (2005) コブノメイガの移動にみられる飛来の同時性 SATUMA 55(132) 45~48.

謝 辞

調査成績を提供頂いた宮崎県病害虫防除所 野中耕次 鹿児島県農業試験場 瀬戸口脩, 和泉勝一、井上栄明の各位に感謝の意を表する。

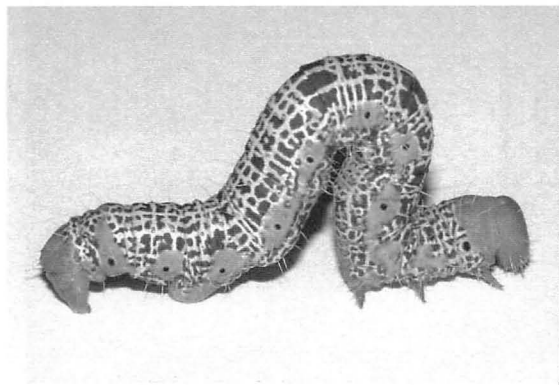
(みやらはら よしお：延岡市塩浜町 4-1627-10)

平成18年のキオビエダシャク

串 間 研 之

新聞で報道されるなど、多くの問い合わせがあった。成虫は大きな青く輝く腹部と橙色に見える翅のラインが特徴的ながで、一見するときれいなチョウに見え「見たことがないめずらしいチョウ」とされる。年に4～5回羽化し、その勢力を西都市まで拡大しつつある。幼虫は垣根に使われるイヌマキの葉を食べ、福島高校ではイヌマキの隣にあったサンゴジュも食害にあっている。幼虫は摂食の最中に近づくと動きをぴたりと止める。木をゆらすと糸引いて地面にまで落ち、静止する。危険を回避したと見なすと再びはい上がる。薬剤を噴霧すると同様に下におり、生き残った幼虫は別の垣根に移動する。また、家一軒分の垣根を食べ尽くしたら、歩行し他の垣根にとりつく。成虫はイヌマキから出来る毒(アルカロイド系)を持っており鳥などから捕食されない。成虫期は2～3週間。交尾をし300個ほどの卵を産む。さなぎ期はイヌマキの根元の土の下に浅く潜り、まゆ無しで過ごす。本土では冬場にさなぎで死滅していたはずだが、ここ何年かはさなぎで冬を越しているようである。

この2種に共通するのは幼虫が食欲旺盛で年に複数回羽化し、宮崎の冬に適応していることである。他の在来種にどのような影響が生じるのかなど、まったく分かっていない。今後の継続観察・研究が必要という点が一番大きな共通点かもしれない。



イヌマキを食べるキオビエダシャクの幼虫



初めて見るきれいなチョウ、と問い合わせ多数



食い荒らされた福島高校の玄関のイヌマキ（左）と中庭の緑色の葉がまったくないイヌマキ（右）
その隣にあったサンゴジュの下の方も食い荒らされていた

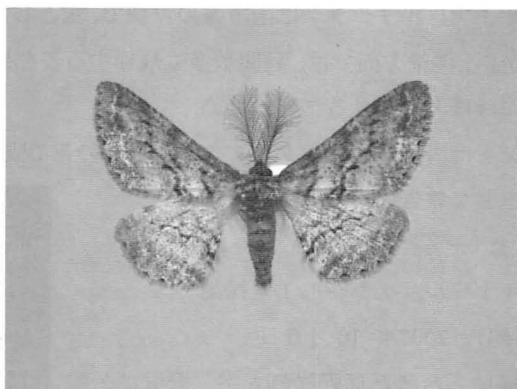


（くしま のりゆき：宮崎市学園木花台）

アシズリエダシャクの採集 (記録訂正)

永井 彪

筆者は、タテハモドキ No.38 15～31 ページに、「宮崎県総合農試亜熱帯作物支場内の蛾」を報告したが、その中に (2835) チャエダシャクを記録した。その中の 1996 - Jan. 19 (7♂) について、鹿児島県の林悦子氏から発生時期からアシズリエダシャクではないかと指摘を受け、新潟の佐藤力夫先生に同定をお願いしたところ、アシズリエダシャクであるとの連絡をいただいた。ここで写真を添えて記録を訂正しておく。なお、アシズリエダシャクは宮崎県初記録である。



アシズリエダシャク *Megabiston ashizuriensis* Sato & Kawakami

南郷町賛波 (宮崎県総合農試亜熱帯作物支場内) 1996 - Jan. 19 (7♂) : 永井 彪採集

なお、本報文中の (2851) キイロエダシャクの記録は、誘蛾燈 No.180 「宮崎県の Doratoptera 属 (シャクガ科) の分布 (2005 年) の中で、ナンカイキイロエダシャク *Doratoptera amabilis* (Yazaki) に訂正してある。

(ながい あつし : 小林市大字真方 4230)

11月にツキワクチバを採集

岩崎 郁雄

ツキワクチバ *Artena dotata* (Fabricius) は、蛾類大図鑑によると、6～9月に得られているとある。筆者は、11月に採集しているのでここに報告する。採集場所は、職場の3階で室内に入っていたものである。一見して、あまり見られない蛾であったので捕獲して調べたところ本種であった。宮崎の生物によると、宮崎県内では、県北地域とある。

《データ》

1♂, 2003年11月19日, 宮崎市橘通2丁目 (宮崎県庁内), 岩崎郁雄採集保管。

〔文献〕

井上寛ほか(1982)日本産蛾類大図鑑。講談社。

永井彪・朝日延太郎(1992)宮崎の蛾。宮崎県の生物。pp.211-239。

(いわさき いくお : 宮崎市本郷北方 4353-31)



オキナワリチラシの吸蜜例

岩 崎 郁 雄

オキナワリチラシは南方系のガ類で、主として南西諸島は昼行性、本土産は夜行性とされている。確かに、沖縄方面では、昼間数多く飛翔する姿を見るのに対して本土では、ナイターにやってくるが、昼間はほとんど見ることはない。

筆者は、昼間、セイタカアワダチソウの花で吸蜜する本種を撮影、採集することができた。少数事例として報告する。

《データ》

オキナワリチラシ 1 ♀ 採集

記録日 2007 年 10 月 6 日

記録地 西諸県郡野尻町大字 野尻湖公園

記録者 岩崎郁雄



※ 写真は、午後 3 時 40 分、口吻を伸ばし、吸蜜する♀。

(いわさき いくお：宮崎市本郷北方 4353-31)

自宅庭のイボタで発生したガ 2 種の記録

岩 崎 郁 雄

自宅の庭に植栽している同じ 1 本のサイゴクイボタで、イボタガとシモフリスズメとの発生を確認したのでここに報告する。



《データ》

イボタガ (1 終齢幼虫) 2002 年 4 月 29 日、宮崎市本郷北方 (池田)、写真左

シモフリスズメ (1 終齢幼虫) 2007 年 10 月 17 日、宮崎市本郷北方 (池田)、写真右

(いわさき いくお：宮崎市本郷北方 4353-31)

2007年宮崎県及びその周辺のクロマダラソテツシジミ

安本 潤一

2007 年は、クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava* が 1992 年～ 1993 年に沖縄本島で発生した時よりもさらに北上し、奄美諸島、九州本土にも侵入した年である。筆者は 10 月上旬に、鹿児島県徳之島を訪れる機会があったが、この時は、島の至る所で本種が見られ、多くの場所で優占種であった。今回、10 月から 11 月にかけて、南は鹿児島県志布志町、北は宮崎県延岡市方財町までの間を調査したので、その結果を報告する。なお、宮崎県南郷町及び同串間市都井岬については、小松孝寛、森岡公一郎両氏が発表予定なので省略する。

調査の結果、最も北で発見したのは宮崎市「こどものくに」で、それより北では発見できなかった。以下、その記録を記載する。

《データ》 クロマダラソテツシジミ *Chilades pandava*

○鹿児島県志布志町志布志港

2 ♀、数卵採集 2007 年 11 月 4 日 安本潤一・美代

大きな新芽を出しているソテツを発見し、そこに産卵に来ていた 2 ♀を採集した。新芽には卵が産み付けられており、数卵を持ち帰った。

○宮崎県日南市宮浦

1 ♀、4 卵採集 2007 年 11 月 10 日 安本潤一・千佳

11 月 4 日に大きな新芽を出しているソテツを発見したが、この日は成虫、卵ともに発見できなかった。再度 10 日に訪れた際、新芽周辺を飛翔していた 1 ♀を採集した。新芽には少数ながら卵が産み付けられており、4 卵を持ち帰った。

○宮崎県宮崎市 JR 青島駅

8 卵採集 2007 年 11 月 10,11 日 安本潤一・美代

駅前の駐車場にあるソテツの脇芽に柔らかいものがあり、それに卵が産み付けられていた。1 株は大きな新芽を出していたが、高くて調査できなかった。天候等の条件は良かったが、成虫は発見できなかった。

○宮崎県宮崎市「こどものくに」

1 ♀ 1 ♂ 2007 年 11 月 11 日 安本潤一

園内に多数のソテツが植栽されていたが、新芽は見あたらなかった。海岸沿いの 1 株は脇芽が新芽であったが、卵は発見できなかった。駐車場で、ヤクシマルリシジミ、ウラナミシジミ等に混じって飛翔している個体を発見し、採集した。

○宮崎県宮崎市大淀川河口左岸付近及び阿波岐原

未発見 2007 年 11 月 17 日 安本潤一・美代

柔らかい脇芽を出しているソテツを数株発見したが、成虫、卵ともに発見できなかった。

○宮崎県宮崎市一つ葉有料道路

未発見 2007 年 11 月 4 日及び 11 日 安本潤一・美代

大きな新芽を出している 1 株及び柔らかい脇芽を数本見つけたが、成虫、卵ともに発見できなかった。

○宮崎県高鍋町 JR 高鍋駅周辺

未発見 2007 年 11 月 11 日 安本潤一・美代

柔らかい芽が発見できなかった。

○宮崎県日向市土々呂毛

未発見 2007 年 11 月 18 日 安本潤一・美代

柔らかい脇芽を出しているソテツを 1 株発見したが、成虫、卵ともに発見できなかった。

○宮崎県日向市太平洋ドライブイン周辺

未発見 2007 年 11 月 18 日 安本潤一・美代

周辺に 20 株程度のソテツがあり、柔らかい脇芽を出しているものも数株あったが、成虫、卵ともに発見できなかった。

○宮崎県日向市サンパーク日向付近

未発見 2007 年 11 月 18 日 安本潤一・美代

周辺に 10 株程度のソテツがあり、柔らかい脇芽を出しているものが 1 株あったが、成虫、卵ともに発見できなかった。

○宮崎県日向市塩見川河口左岸付近

未発見 2007 年 11 月 18 日 安本潤一・美代

周辺に 20 株以上のソテツがあり、柔らかい脇芽を出しているものが数株、大きな新芽を出している 1 株を見つけたが、成虫、卵ともに発見できなかった。

○宮崎県日向市細島港周辺

未発見 2007 年 11 月 18 日 安本潤一・美代

周辺に 100 株以上と思われる多数のソテツが植栽されており、約 50 株程度調査した結果、柔らかい脇芽を出しているものを 10 株程度見つけたが、成虫、卵ともに発見できなかった。

○宮崎県延岡市新浜町延岡新港

未発見 2007 年 11 月 18 日他 安本潤一・美代

当地は、数十株のソテツが植栽されており、10 月上旬より数回調査している。約 10 株に柔らかい脇芽が見られたが、成虫、卵ともに発見していない。

○宮崎県延岡市方財町

未発見 2007 年 11 月 20 日他 安本潤一

植栽された 4 ～ 5 株を見たが、柔らかい芽は見られなかった。

(やすもと じゅんいち：宮崎県延岡市野田町 5125 － 1)

南郷町と都井岬でクロマダラソテツシジミの発生を確認

小松 孝寛、 森岡 公一郎

2007年10月27日、森岡が南郷町の亜熱帯作物支場でクロマダラソテツシジミを確認したのを受け、11月3日に森岡と小松が現地へ調査に行った。宮崎県総合農業試験場亜熱帯作物支場は高温性柑橘類や宮崎完熟マンゴーの研究開発で有名な農業試験場である。そこに、樹木による景観研究のために何種類かの南方系樹木が植栽されている。その中に相当数のソテツも植えられていた。

現地に着くと、すぐに森岡が確認したソテツの場所へ向かった。しばらくソテツの周りを探すとクロマダラソテツシジミの♀がソテツの新芽に産卵していた。宮崎とは言え11月にもなると、大きなソテツにはもう若葉は出ておらず、種から出てきた新芽が僅かにあるだけである。その僅かな新芽に盛んに産卵をしていた。別の新芽を探すと、多数の卵が見つかり、終齢幼虫2頭と若齢幼虫1頭も見つかったので、クロマダラソテツシジミがここで代を重ねていたのは確実である。ただ、もう新芽や若葉はなく、この冬を越すことはできないと思われた。亜熱帯作物支場で確認できたクロマダラソテツシジミのデータは下記のとおりである。

場所：宮崎県南那珂郡南郷町 宮崎県総合農業試験場 亜熱帯作物支場

日時；2007年11月3日10～12時

成虫：♀2頭（産卵中のものも確認）

卵：ソテツの新芽に多数

幼虫：若齢幼虫1頭、終齢幼虫2頭（いずれもソテツの新芽より）

次いで、都井岬に向かった。都井岬は野生馬で有名であるが、ソテツ自生地 of 再北限としても知られている。観光用にもソテツが多数植えられており、手入れも良く行き届いている。そのため剪定されたソテツからは若葉が出ており、それにクロマダラソテツシジミの卵と幼虫が付いていた。この日は風が強いために成虫は下草に隠れているのか3頭しか確認できなかったが、数日前に森岡が調査したときはかなりの数を確認している。都井岬でのクロマダラソテツシジミのデータを以下に示す。

場所：宮崎県串間市 都井岬

日時；2007年11月3日13～15時

成虫：3頭

卵：ソテツの若葉に多数

幼虫：若齢幼虫11頭、終齢幼虫4頭（いずれもソテツの若葉より）

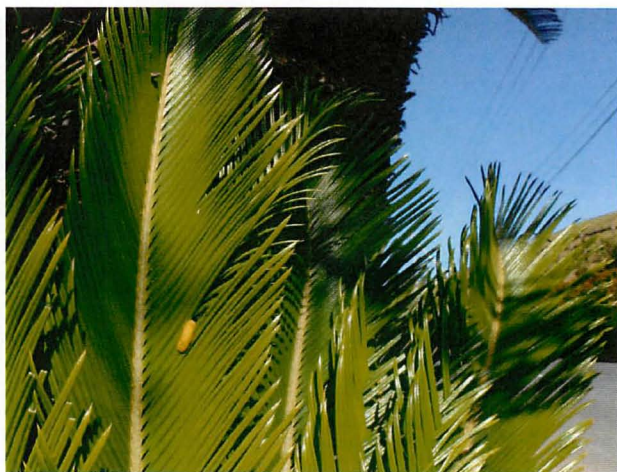


写真(1) ソテツの近くで日光浴する♀ (亜熱帯作物支場)

写真(2) 終齢幼虫 (亜熱帯作物支場)



写真(3), (4) 僅かに残った新芽に産卵する♀と産みつけられた卵 (亜熱帯作物支場)



写真(5), (6) 下草で日光浴する成虫と若葉の上の終齢幼虫 (都井岬)

宮崎県で発生したクロマダラソテツシジミについて (1)

～ その発生状況について ～

岩 崎 郁 雄

2007 年は、南西諸島から南九州にかけてクロマダラソテツシジミ *Chilades pandava* が大発生した。九州本土では、7 月下旬に薩摩半島南端で採集されて以来、薩摩半島を中心にかなりな数が発生した。宮崎県でも発生が予想され、筆者は 9 月中旬から特に串間市方面に気をつけていたが、本県では最初に 10 月中旬、森岡公一郎氏により南郷町で撮影、次いで同下旬に八木真紀子氏が日南市で雄個体を採集した。その後、県南部海岸各地で発生していることが判明、11 月末までの発生状況について調査した結果を報告する。(この結果の概要速報は、宮崎むし情報で報告している。)

なお、本種の情報や協力いただいた末永英規、八木真紀子、森岡公一郎、熊谷信晴、山元一裕、山元修成(敬称略)の諸氏並びに鶴戸神宮の職員の方々にお礼申し上げます。

1 発生・分布に関する記録

(1) 2007 年 9 月 16 日 同行者：末永英規

① 日南市大字伊比井 ダイヤモンド伊比井

発見できず。 ※ 新芽 1 株、若葉 5 株あったが、卵、幼虫発見できず。

② 日南市大字風田 立石

発見できず。

※ 若葉株が多い。かなりな食痕が多いが、フナムシやイソカナタタキが食している。

③ 串間市大字高松 高松隧道西側

発見できず。 ※ ソテツは約 50 株あり。新芽・若葉が多いが、幼虫、食痕見られず。

④ 鹿児島県志布志市大字夏井 ダグリ岬

発見できず。 ※ ダグリ岬遊園地から国民宿舎にかけてソテツが植栽されており、新芽・若葉も少なくない。

⑤ 鹿児島県志布志市大字夏井 志布志パラダイス(集合店舗跡)

発見できず。 ※ 約 10 株あるが、新芽、若葉等なし。

⑥ 串間市大字高松 福島今町駅

発見できず。 ※ 1 株。新芽・若葉等なし。

⑦ 串間市大字高松 有明小学校

発見できず。 ※ 3 株ほどあるが、外から見た限りでは新芽・若葉等なし。

(2) 2007 年 9 月 29 日

① 鹿児島県志布志市大字夏井 ダグリ岬

発見できず。 ※ ソテツの数は多い。新芽は全くない。

② 鹿児島県志布志市大字夏井 志布志パラダイス(集合店舗跡)

発見できず。 ※ ソテツ新芽あり。

- ③ 串間市大字高松 高松隧道西側 ※ 新芽なし。若葉有り、調査せず。

- ④ 串間市大字高松 海水浴場広場

発見できず。 ※ ソテツ 1 株。新芽なし、若葉有り。

- ⑤ 串間市大字高松 有明小学校 ※ 外からみると新芽なし。

- ⑥ 串間市大字都井 御崎 ソテツ自生地

発見できず。 ※ ソテツ株 6,000 株以上。若葉多し。新芽なし。

- ⑦ 日南市大字油津 池ヶ山 蘇鉄園 ※ 若葉あり。調査せず。

- ⑧ 日南市大字風田 立石

発見できず。 ※ ソテツ株は、300 株以上。新芽なし。若葉多数あり。

- ⑨ 宮崎市大字加江田 内山 青島バイパス

発見できず。 ※ 車を走らせての視認のため、食痕の有無を確認。100 株以上。新芽あり。

(3) 2007 年 10 月 13 日

- ① 日南市大字宮浦 鵜戸神宮

発見できず。 ※ ソテツ新芽あり。

- ② 南郷町大字贅波 亜熱帯作物支場植物園

発見できず。 ※ ソテツ約 20 株 新芽 2 株。

- ③ 南郷町大字中村甲 上中村交差点付近

発見できず。 ※ ソテツ若葉 1 株。成虫・幼虫・卵とも見つけられない。

(4) 2007 年 10 月 20 日

- ① 宮崎市大字折生迫 グリーンパーク跡

発見できず。 ※ ソテツは多いが新芽・若葉株なし。

- ② 日南市大字伊比井 ダイヤモンド伊比井

発見できず。 ※ ソテツ新芽なし。成虫も未確認。

- ③ 日南市大字星倉 日南総合運動公園

発見できず。 ※ ソテツ 4 カ所。新芽あり。成虫・幼虫・卵発見できず。

- ④ 日南市大字星倉 簡保の郷

発見できず。 ※ ソテツ 2 カ所。新芽なし。成虫未確認。

- ⑤ 日南市大字戸高 中央児童公園

発見できず。 ※ ソテツ 1 カ所。新芽なし。成虫未確認。

- ⑥ 南郷町大字中村甲 上中村交差点付近

発見できず。 ※ ソテツ新芽 1 株。成虫・幼虫・卵未確認。

- ⑦ 日南市大字山王 猪崎鼻公園

発見できず。 ※ ソテツ新芽なし。成虫も未確認。

- ⑧ 南郷町大字贅波 亜熱帯作物支場植物園

発見できず。 ※ ソテツ新芽なし。成虫も未確認。

(5) 2007 年 10 月 21 日

① 北郷町大字郷之原 北郷町役場

発見できず。 ※ ソテツ 1 カ所。新芽なし。周囲に花が咲いているが、成虫は未確認。

② 日南市大字戸高 日南市役所

発見できず。 ※ ソテツ 1 カ所。新芽なし。成虫も未確認。

(6) 2007 年 10 月 27 日

① 宮崎市下北方町 平和台公園 (正面) ※ ソテツなし。

② 宮崎市下北方町 平和台公園 (運動広場入口付近)

発見できず。 ※ ソテツ 1 カ所。新芽なし。食痕なし。

(7) 2007 年 10 月 28 日

① 日南市大字戸高 吾田小学校 (写真 1, 2)

6 ♂ 2 ♀、終齢幼虫 (1 頭)、3 齢幼虫 (1 頭) 採集、6 成虫、卵多数、蛹殻現地放置。

※ ソテツ新芽、若葉あり。食痕多数。私自身が初めて個体を確認した。キバナコスモスに訪花。新鮮個体が多く、日光浴をしている。

② 南郷町大島 中大島 アドベンチャーキャビン

発見できず。 ※ ソテツ 2 株。新芽なし。大島では、ソテツは極めて少ない。成虫未確認。

(8) 2007 年 11 月 4 日 同行者：八木真紀子 (日南市のみ)

① 日南市今町 2 丁目 飛ヶ峯児童公園 (写真 3, 4)

約 80 卵うち 37 卵採集 (切られている分)、ソテツは、約 10 株植栽。

※ 古い食痕が 2 株ある。現在着いている卵や幼虫は、駆除され、切られている。9 ~ 10 月に発生したようだ。

② 日南市大字星倉 日南第 1 公園 (竹香園)

発見できず。ソテツ 1 株。食痕らしいものがあるが、本種かどうか判断できず。

③ 日南市大字戸高 吾田小

食痕多し。 ※ 詳細には調査せず。ソテツには新たな新芽が立ち上がっている。

④ 日南市瀬貝 1 丁目 高樋 (たかとい) 公園 (写真 5, 6)

終齢幼虫 (9 頭)、中齢幼虫 (1) 採集。約 100 卵 (現地放置)。

※ ソテツは、食害が大きい。地元の人が切っていて葉はあまりない。

⑤ 日南市梅ヶ浜 1 丁目 見法寺交差点

6 蛹殻 (現地放置) ※ ソテツ 2 株うち 1 本食痕大。

⑥ 日南市梅ヶ浜 1 丁目 シーズン日南

発見できず。 ※ ソテツ株多し。小さな若葉も 2 ~ 3 枚あり。卵、幼虫なし。

⑦ 日南市大字下方 堀切 (南郷川堤防右岸)

発見できず。 ※ 食痕が少しあるが、本種かどうか確認できず。4 株。

⑧ 南郷町大字榎原 柿の木茶屋

やや古いひこばえに顕著な食痕あり。 ※ 10月に発生か？15株。新芽1本卵なし。

⑨ 串間市大字西方 市民体育館

発見できず。 ※ 食痕なし。ソテツ5株。

⑩ 串間市大字西方 総合運動公園展望台下墓地

発見できず。 ※ 食痕なし。ソテツ1株。

⑪ 串間市下代田 日南・串間ゴルフコース入口

やや古い食痕少数あり。 ※ ソテツ4株。

⑫ 串間市樋口 野猿橋

発見できず。 ※ 食痕なし。ソテツ2株。新芽多数あり。

⑬ 串間市大字都井 御崎 ケープトイホテル付近 (写真7, 8, 9)

1♂1♀採集ほか1♂1♀目撃。終齢幼虫(9頭)採集。ほか終齢1・中齢1幼虫、15卵(現地放置) ※ 食痕は多数あり、10月ころ発生したと思われる。

⑭ 串間市大字都井 御崎 ソテツ自生地

発見できず。 ※ 食痕は多数あるが、本種と確認できず。成虫も未確認。

⑮ 串間市大字都井 中牧 料金所付近

2齢幼虫(5頭)採集、終齢18・3齢2、卵200卵(現地放置)

※ 新芽3株。1株はやや硬いが、全く見られず。ほか古い食痕あり。

⑯ 串間市大字都井 宮浦岐れ付近

食痕少数。卵殻1個(現地放置) ※ ソテツ10株。

⑰ 串間市大字市木 藤へ触 GS跡付近

発見できず。 ※ 食痕あるが、本種と確認できず。ソテツ3株。

⑱ 日南市大字油津 池ヶ山 蘇鉄園

やや古い食痕2本。 ※ 10月下旬ころの発生か？新芽があるが、卵・幼虫見られず。

(9) 2007年11月10日

① 宮崎市青島西2丁目 青島駅西口・青島浄化センター管理所

発見できず。 ※ 食痕認められず。新芽は、青島駅のホーム上に2株あったが、双眼鏡でみるも、食痕、幼虫見られず。卵は小さく確認できていない。そのほかのソテツは新芽はなく、また、脇目も食われた様子はない。

② 日南市大字伊比井 ダイヤモンド伊比井

発見できず。 ※ 食痕認められず。小さな若芽が1本あるが、卵は見られず。堅い若葉には、食痕は見られない。

③ 日南市大字宮浦 鶴戸神宮

2♀(新鮮)、蛹(105頭)採集。

※ 青葉に食害がある。若葉は少し。終齢はいない。すべて蛹になっている。成虫は、ソテツに

まわりついている。

④ 日南市大字富士 サボテン公園

※ ソテツは下からは見あたらない。

⑤ 日南市大字富士 富士港 ドライブイン

発見できず。 ※ 食痕なし。ソテツ1株。新芽なし。

⑥ 日南市大字富士 富士海水浴場

1♀（中破汚）採集。ランタナ訪花。

※ ソテツ4株。やや高い位置に若葉あり。卵は見える範囲では確認できず。ほか食痕はなし。

⑦ 宮崎市大字加江田 こどものくに

1♂（新鮮）採集。1♀（中破汚）目撃：日光浴。終齢、中齢幼虫採集ほか数頭、卵2ヶ所で約60卵は現地放置、。

※ ソテツは極めて多い。植栽。そのわりに新芽は少ない。7株のみ。古い葉に食痕あり。智福川と海岸の間で見られた。陸地側には、新芽は全くない。

⑧ 宮崎市大字赤江 宮崎空港

発見できず。 ※ 食痕は見られず。ソテツはかなり多い。新芽3ヶ所。車から降りられず、未確認。車で見ることの出来た周回道路には、新芽・若葉なし。痕跡もなし。

(10) 2007年11月12日

① 都城市姫城町 市立図書館

やや古い食痕あり。 ※ ソテツ1株

② 三股町大字宮浦 都城運転免許センター

発見できず。 ※ ソテツ2株、新芽・若葉なし。食痕なし。被害を受けたところを剪定したと見られる部分が1カ所あった。

③ 都城市早水町 早水公園 ※ ソテツなし

④ 都城市山之口町 山之口支所 ※ ソテツ2株、食痕なし。（詳しくは調べられず）

⑤ 宮崎市田野町 田野支所

古い食痕あり。 ※ ソテツ2株

⑥ 清武町大字今泉 勤労者総合スポーツ施設

発見できず。 ※ ソテツ2株うち1株のみ調査。新芽・若葉なし。食痕なし。

(11) 2007年11月14日

① 宮崎市橘通東2丁目 宮崎県庁本館・3号館

顕著な古い食痕及びやや古い食痕の2カ所あり。 ※ ソテツ4カ所、新芽・若葉なし。

(12) 2007年11月17日

① 宮崎市大字跡江 生目の杜運動公園

発見できず。 ※ ソテツなし。（周回道路から見える範囲のみ調査）

② 宮崎市阿波岐原町 阿波岐原病院

発見できず。 ※ ソテツ 2カ所。新芽・若葉なし。食痕なし。

③ 宮崎市大字塩路 一つ葉有料道路サービスエリア（東側）

発見できず。 ※ ソテツ 20 株。若葉 5 株。食痕なし。

④ 宮崎市大字塩路 一つ葉有料道路サービスエリア（西側）

発見できず。 ※ ソテツ 15 株。若葉 3 株。食痕なし。

⑤ 宮崎市阿波岐原町 マリーナ前（一つ葉有料道路）

2 齢幼虫（2 頭）採集、卵殻 4 現地放置。 ※ ソテツ 10 株。新芽 1 株、若葉 2 株。

⑥ 宮崎市新別府町 みやざき臨海公園

終齢幼虫（9 頭）採集、2 齢幼虫、卵 4 現地放置。 ※ ソテツ 95 株。若葉 13 株、食痕あり。

⑦ 宮崎市 阿波岐原町 サンビーチーツ葉

やや新しい食痕。 ※ ソテツ 2 株。若葉少数。みやざき臨海公園周辺は、ハイイログケモノの防除を受けたのか？株の根元に粘りけのある薬剤がついており、地面から出ている新芽や若葉に食痕があるものの幼虫は見つからない。

(13) 2007 年 11 月 18 日

① 日南市大字宮浦 鵜戸神社

1 ♂ 3 ♀ 採集、5 ♂ 1 ♀ 目撃、幼虫（200 頭）、卵多数、現地放置。

※ 若葉 6 株。寄生され、黒化した幼虫が多い。

② 日南市大字宮浦 鵜戸中学校

発見できず。 ※ ソテツ 2 株。食痕なし。外から見える範囲を調査。

③ 日南市大字宮浦 宮浦トンネル（南側）

やや新しい食痕少数あり。 ※ ソテツ 5 株。若葉 2 株。

④ 日南市大字富士 富士海水浴場

卵（10up）現地放置。 ※ ソテツ 4 株。新芽 1 株、若葉 1 株。

⑤ 宮崎市大字内海 野島（神社付近）

発見できず。 ※ ソテツ 3 株。古い葉に食痕があるが、本種かどうか確定できず。

⑥ 新富町 富田浜公園

古い葉ながら 1 株には、顕著な食痕あり。その他、脇芽などに少数食痕。

※ ソテツ 42 株。若葉 2 株（少し新葉が出ている程度）。

⑦ 宮崎市佐土原町 石崎浜荘

やや古い葉に 3 カ所食痕あり。 ※ ソテツ 30 株。若葉 2 株（葉は少数）。

(14) 2007 年 11 月 23 日

① 日南市大字宮浦 鵜戸神社

3 ♂ 1 ♀ 目撃、前蛹・蛹（多数）、幼虫（250 頭）現地放置。

※ ソテツ若葉 6 株。 ※ 幼虫は若齢から終齢まで見られる。

② 日南市大字宮浦 鵜戸公民館付近

やや古い食痕あり。 ※ 公民館 1 株、7 本派生。その南側 1 株、3 本派生。両方食痕あり。

③ 日南市大字風田 立石

終齢幼虫（2 頭）採集。 ※ 国道沿いのソテツ植栽群。若葉のある 1 株で採集。ソテツの数の割には、生息数が少ない。

④ 日南市瀬貝 1 丁目 高樋（たかとい）公園

新しい食痕あり。卵、幼虫、蛹発見できず。

※ ソテツの葉はほとんどない。若葉 1 枚。すぐ近くに、植栽花が植えてあるが、成虫は未発見。

⑤ 日南市大字星倉 日南総合運動公園

中齢・終齢幼虫（60 頭）現地放置。 ※ 若葉のある株 2 株で確認。成虫は見られず。

⑥ 日南市大字富士 富士海水浴場

中齢幼虫、卵(20) 採集。 ※ ソテツは新芽～若葉株 1 株。

⑦ 日南市大字伊比井 ダイヤモンド伊比井

発見できず。 ※ ソテツ 1 株に若葉 1 枚出ていたが、卵、幼虫とも未発見。

(15) 2007 年 11 月 25 日

① 宮崎市大字赤江 宮崎空港

終齢幼虫（3 頭）採集。食痕少数。

※ ソテツは約 100 株。新芽 1 株。若葉 5 株。若葉のある 1 株のみに発生していた。小規模発生。成虫は 1 ぴらしい個体を目撃、見失う。

② 宮崎市本郷 2 丁目 本郷団地

発見できず。 ※ ソテツは約 20 株。新芽、若葉なし。食痕は確認せず。

③ 宮崎市まなび野 2 丁目 まなびの中央公園 ※ ソテツなし。

④ 宮崎市まなび野 3 丁目 県立看護大 ※ 正面玄関にソテツあり。未調査。

2 分布のまとめ（10～11 月）

本種の生息に関する情報が得られた地点を市町村別にまとめると次のようになる。

地名		食 痕	成 虫	蛹	幼 虫	卵
新富町		●				
宮崎市	大淀川以北	●			●	●
	大淀川以南	●	●		●	●
都城市		●				
日南市		●	●	●	●	●
南郷町		●	○			
串間市		●	●		●	●

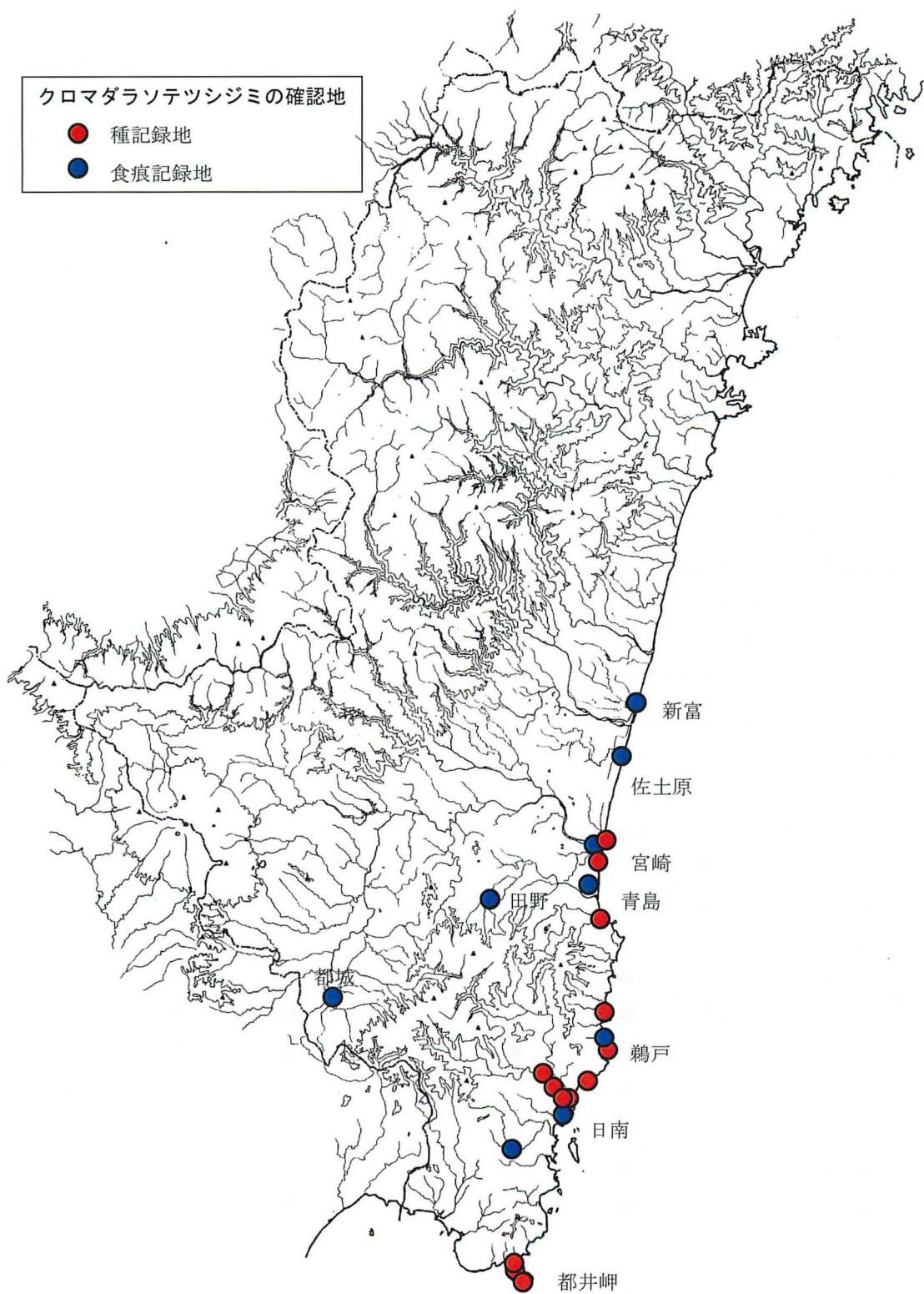




写真1 食痕（吾田小学校）



写真2 蛹殻（吾田小学校）



写真3 古い食痕（飛ヶ峯児童公園）



写真4 根元のひこばえに産卵（飛ヶ峯児童公園）



写真5 食害のため葉を切られたソテツ（高樋公園）



写真6 脇芽に多数産卵（高樋公園）



写真7 発生地（都井岬）



写真8 脇芽の食痕（都井岬）



写真9 ランタナに訪花する♂（都井岬）



写真10 発生地（こどものくに）



写真11 日光浴をする♂（こどものくに）

（いわさき いくお：宮崎市本郷北方 4353-31）

日南市でクロマダラソテツシジミを採集

八木 真紀子

筆者は、2007 年 10 月 18 日、県内では初採集記録と思われるクロマダラソテツシジミ *Chilades pandava* を宮崎県日南市で採集したので報告する。

当日は晴天で、午前 10 時頃、ネットがなかったが、キバナコスモスで吸蜜中の個体を素手で採集した。そのため、鱗粉がとれてしまった。

ネットで、クロマダラの情報を知っていたので、そろそろ採れるのでは？と、ソテツがある場所は一応気をつけてみていたので、すぐに確認できた。ここには食草のソテツが 5 株あり、その後、同所で成虫、卵、蛹殻を確認した。(以下データ)

なお、本種の情報及び同定をしていただいた岩崎郁雄氏にお礼申し上げる。

《データ》 種 名：クロマダラソテツシジミ

記録地：日南市戸高（吾田小学校）

記録者：八木 真紀子

- ① 10 月 18 日 1 匹採集；写真 1
- ② 10 月 27 日 16 成虫（8 匹 3 匹 5 頭）、2 幼虫、10 卵、
6 蛹殻
- ③ 11 月 7 日 4 成虫（2 匹 2 匹）、3 幼虫、5 卵
；写真 2、写真 3
- ④ 11 月 14 日 3 幼虫（終齢）



← 写真 2
吸蜜する♂



↑
写真 1
県内で最初の採集個体
上) 表 下) 裏

← 写真 3
翅をひろげる♀

(やぎ まきこ：日南市戸高)

宮崎市折生迫におけるタイワンツバメシジミの調査報告 ～2007年保護活動調査～

岩 崎 郁 雄

タイワンツバメシジミ *Everes lacturnus* は、1990年代半ばから全国で急減し、現在安定した産地のある場所は、九州の一部に限られている。宮崎県でも減少は例外ではなく、県中北部の山間部の産地が軒並み消滅、現在は、県北の海岸線沿いと県中の海岸線、県南部と地域的にも狭まっており、産地数も減少している。宮崎昆虫同好会では、そのなかで、比較的個体数が安定している県北部と県南部の海岸に近い産地を保護対象として設定した。筆者等は、2007年においては、県南部の宮崎市近郊の折生迫地区の生息状況を把握するために生息範囲と個体数の状況、移動などを限られた時間のなかで実施することにした。特に、生態の把握には欠かせない標識（マーク）調査も試みた。

1年目の保護調査としては、大方の生息地を把握できたこと、1例のみであるが小移動を確認できたことなど成果があった。これから記録を集積することにより、保護に向けての第1歩となる考える。

本地域は、宮崎昆虫同好会による保護種に選定しており、採集については厳に自粛をお願いしている。日本の生物資源として皆で保護のあり方を考え、チョウの収集家については特にご理解いただきたいものである。

調査に当たっては、中尾景吉、小岩屋敏、小松孝寛、安本潤一諸氏に調査やご意見を頂いた。改めてお礼申し上げる。

1 調査地の概要

(1) 調査地の位置 (図. 1)

宮崎市の南部、観光地として有名な青島の陸地側の丘陵地、折生迫地区が、調査地となる。主に、青島自然休養村内と市道大谷線沿いである。標高は数mから200mほどまでで、造成地や伐採地、公園で発生している。

(2) 発生地の概況

① 青島自然休養村

最奥入口付近から遊歩道兼作業道の周辺、梅園（2ヶ所）、広場、遊歩道沿いに食草のシバハギがあり、ほとんどのところで、卵、成虫が見られる。

② 大谷線～三差路

入口から林道沿いに点々とシバハギがあり、少ないながら、成虫が見られる。一部は湿地の崖で発生しているところもある。青年会議所が管理しているカブトムシの森では、狭い範囲ながら個体数は多い。路脇は、草が茂りやすく、草刈りがされていないところは、シバハギが消滅している。

③ 大谷・内海線

広大な伐採地跡にシバハギが生えている。かなりなシバハギが生えていたのだが、遷移が進み、シバハギはかなり減少している。内海側の造成地（私有地）では、シバハギがまとまって生えており、

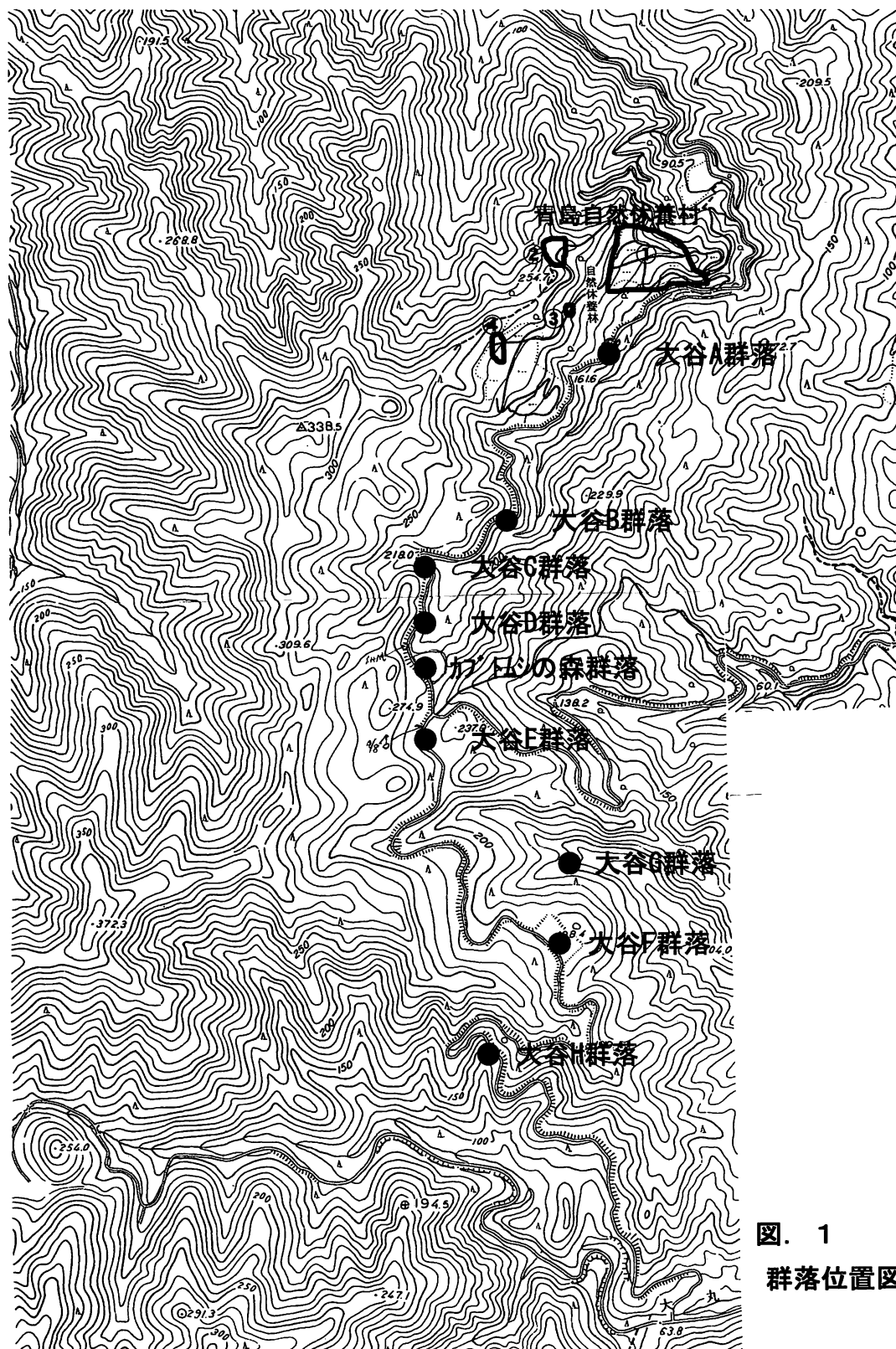


図. 1
群落位置図

2 調査方法について

(1) 群落調査

唯一の食草であるシバハギ群落を調べることは、本種生息の可否を把握する手がかりとなる。目安として 50 m 以上離れている群落をひとつのパッチとして設定した。連続している場合は同じパッチで、1 株でも 1 パッチとしている。

母チョウの産卵は極希に例外があるものの蕾・花卉及び花茎で、幼虫は、若サヤや青サヤにある実を摂食する。そのため、花や結実の状況を調べることは有効な作業である。筆者等は、群落の花・実の状況を全体的に把握するために表 3 のように状態を表現した。なお、株数については大株から小株までであるが、大まかな状況を知る手だてとした。群落の実測も必要だが、これについては次回とした。

(2) 個体標識調査

個体数や移動、寿命などを調べるには、有効な手段である。アサギマダラでは極普通に行われている。しかしながら、本種は、極めて小さく翅に番号を入れることは、極めて困難な作業である。筆者の一人の岩崎が 1978 年に鹿児島で本種の生態調査を行ったときは、点と棒と色を変えて標識を付けたことがあるが、その日は全て同じマークで、個体識別までには、至らなかった。今回は、番号を付記することを試みた。アサギマダラと違い新鮮な個体ほど鱗粉が多く、極細ペンは、直ぐに鱗粉まみれとなり、書けなくなる。さらに、生きているチョウをどのように固定するかが課題であった。鱗粉の問題は、時計の布バンドを利用し、これで鱗粉を落とししながら、マークすることで解決した。しかしながら、極細ペンの種類によっては、翅がにじんでしまい数字が読めないことがあったため、数種類のペンを購入し試みた。その結果、MITUBISHI 製サインペン PM - 120T、UNI プロッキー水生顔料インクが使いやすい。

次に、チョウの固定である、最初は、ネットの上からチョウ全体を押さえつけて、記入することを試みたが、ネットの上からだ書きにくく、また、文字がにじみやすい。やはりアサギマダラと同じように胴体を持ち、書くことしかないかということになり、右指で翅を持ち、左指で胴体を持ち直し、右手で記入するようにした。ここで、問題なのは、チョウ自体の負担や傷つけないようにマークすることである。本種は特に脚が弱く、掴み損なうと脚がとれてしまう。これを防ぐためには、1 回で、確実につまむことである。掴み損ない持ち直すとほとんどの場合、脚を傷つけてしまう。



写真 1 標識を付けた個体

次に、記入する数字である。一桁の数字では、何とか書けるのであるが、チョウを固定している時間と翅の面積から 2 桁は極めて困難である。そこで、2 桁目は点と棒の形を利用しながら、表現することにした (表 1)。

表 1 標識の 2 桁目の略記号（表現は右 90 度縦書きである）

2 桁	1 0	2 0	3 0	4 0	5 0	6 0	7 0	8 0	9 0
表現	ㄣ	・ ・	…	・ ・		・	・ ・	…	・

今回の標識数は、72 頭と 100 頭以内だったため、黒一色としたが、101 以上では、色を変えることで対応しようと考えていた。マークは、日がたつと不鮮明となることがあり、番号の判断が野外では、難しいことが予想されるため、必ず、各個体写真をとることにした。左指でチョウを固定しているので、右手だけでの操作で写真を撮ることになる（写真 1）。

（3）個体新鮮度の測定

実際、日程的な制約から標識をつけた日は 3 日間であった。そのため、寿命等の補足参考にするため、調査日において可能な限り新鮮度を測定した。新鮮度の測定については、慣れないとなかなか難しく、また、調査者によって測定方法が異なることが多い。岩崎は、過去の経験を生かして、表 2 のような測定表を作成している。野外での判断のため多少の誤差はあるが、おおむね新鮮さの物差しとして有効であると考えられる。（表 2）

表 2 新鮮度測定表

破損度	0	1	2	3
	破損なし	小破損	中破損	大破損
鱗粉汚度	A	B	C	D
（落具合）	ほぼ羽化状態	やや落ちている	落ち方は目立つ	斑紋が不明瞭

3 調査結果

（1）群落状況

市道大谷線と青島自然休養村のシバハギ群落（パッチ）の今年の調査結果である。その周辺部にも何カ所かのパッチが存在するが、主として調査した地点である。なお、必要に応じて過去の状況との比較も行った。

大谷 A 群落（写真 2）

崖から水がしみ出している。シバハギは湿ったところにも多数生育している。路脇には、大株がある。約 40 株。草刈りがなく、やや縮小気味。

大谷 B 群落（写真 3）

去年は、約 20 株ほどあったが、今年は、路脇に 2 株となっている。崖にはススキが繁り、裸地も見えるが、シバハギは無くなっている。草刈りがなく、大幅減少。

大谷 C 群落（写真 4）

路脇の土捨て場跡で、3 年前までは、シバハギはなかったところである。約 50 株ほどあり、条件がよいが、クズが繁ってきており、このままでは、消失する可能性が高い。

大谷 D 群落（写真 5）

路脇に約 20 株。9 月中旬に草刈りがあり、シバハギも一部刈り取られる。風通しがよい。

カブトムシの森群落 (写真 6, 7)

約 25 × 30 m くらいの広さにクヌギやコナラの植林があり、この周囲にシバハギが多い。植林された木が低いため、日当たりはよく、青年会議所の方が、草刈りなど手入れをしているため、シバハギの育ちがよい。数年は大丈夫であるが、木が育って、日陰になると群落が縮小していくと思われる。

大谷 E 群落

青島へ下る三差路の近くで、昨年まで、数株のシバハギを確認していたが、今年は確認出来なかった。ススキが生い茂り、シバハギの生育環境が悪化した。

大谷 F 群落 (写真 8)

伐採地と造成地が一带となった場所である。昨年までは、かなりシバハギがあったのだが、今年は、急激に株数が減少している。2ヶ所(50株・5株)に僅かに残るのみ。

大谷 G 群落

谷に下る作業道沿いに点々とシバハギがあったが、ここも上からみると遷移が進み、消滅寸前である。今年は綿密な調査はしていない。

大谷 H 群落

内海へ下る途中の路脇に 10 株ほどの群落がある。ススキは少なく、今のところ発生源にはなっていない。

青島自然休養村① (写真 9)

最奥の駐車場横から梅園、遊歩道の周囲、広場の広範囲に連続的にシバハギがある。数年前までは、広場一面にシバハギがあったのだが、今はここは縮小している。

青島自然休養村②

第2展望台の周囲に 30 ～ 50 株あったが、今年は、確認していない。

青島自然休養村③ (写真 10)

手前と奥の梅園の丁度中間の伐採地に 2 ～ 3 株。これから拡大する可能性がある。キツネノマゴなどの吸蜜植物がある。

青島自然休養村④ (写真 11、12)

奥の梅園のなかに 5 株程度が 2ヶ所に見られる。草地の面積の割に少ないのは、草が随分伸びているためで、草刈りを適時に行うとシバハギは増加するものと考えられる。

(2) 標識結果

2007 年 9 月 8, 15, 22 日の 3 日間に標識を付けたが、15 日はほぼ全個体が対象となった。(写真 13、14)。これを基本にして、9 月 17 日、9 月 22 日、9 月 24 日、9 月 30 日の再捕獲による継続調査となった。

生存期間については、12 頭再捕獲したうち、最高 9 日間が 3 頭、8 日間が 1 頭、7 日間が 1 頭、そのほかは 2 日間だった。移動個体については、標識の大部分がみだったにもかかわらず、僅かにマークした 1 ♀が、近隣の群落間(約 250 m)で見つかった。



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5



写真 6



写真 7



写真 8	写真 9
写真 10	
写真 11	写真 12



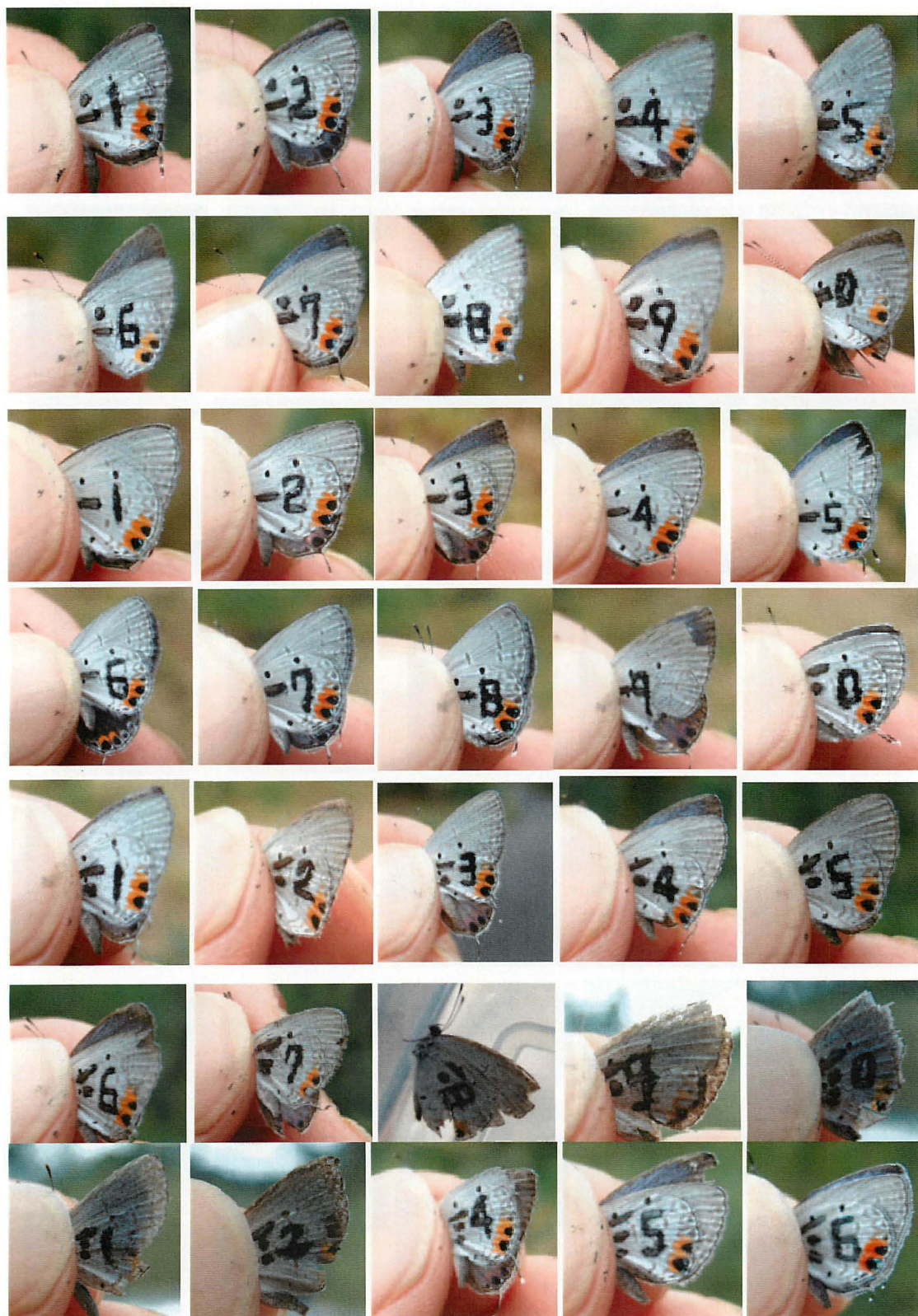


写真 13、14 マーキング状況

表. 3 標識個体

No.	マーク種	性	新年度	年月日	放蝶時刻	採集・放蝶地	生態等
1	1	♀	OA	2007/9/8	14:50	宮崎県宮崎市青島寺田橋	飛翔
2	2	♀	OA	2007/9/8	14:56	宮崎県宮崎市青島寺田橋	飛翔
3	3	♀	OA	2007/9/8	14:59	宮崎県宮崎市青島寺田橋	飛翔
4	4	♀	OA	2007/9/8	15:02	宮崎県宮崎市青島寺田橋	飛翔
5	5	♀	OA	2007/9/15	9:51	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Aポイント)	
6	6	♀	OA	2007/9/15	10:15	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Bポイント)	
7	7	♀	OA	2007/9/15	10:12	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Bポイント)	
8	8	♀	OB	2007/9/15	10:19	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Bポイント)	
9	9	♀	OB	2007/9/15	10:23	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Bポイント)	
10	10	♀	OA	2007/9/15	10:44	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
11	11	♀	OA	2007/9/15	10:49	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
12	12	♀	OB	2007/9/15	10:52	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
13	13	♀	2B	2007/9/15	10:54	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
14	14	♀	1B	2007/9/15	10:59	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
15	15	♀	1B	2007/9/15	11:01	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
16	16	♀	OA	2007/9/15	11:06	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
17	17	♀	OB	2007/9/15	11:11	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
18	18	♀	OB	2007/9/15	11:18	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
19	19	♀	OB	2007/9/15	11:27	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Dポイント)	
20	*	*	*	*	*		
21	..1	♀	OB	2007/9/15	11:38	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
22	..2	♀	OB	2007/9/15	11:42	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
23	..3	♀	OB	2007/9/15	11:45	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
24	..4	♀	OB	2007/9/15	11:47	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
25	..5	♀	1B	2007/9/15	11:54	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
26	..6	♀	1B	2007/9/15	11:58	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
27	..7	♀	1B	2007/9/15	12:00	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
28	..8	♀	2B	2007/9/15	12:01	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
29	..9	♀	OC	2007/9/15	12:03	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
30	...0	♀	OB	2007/9/15	12:09	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
31	...1	♀	2C	2007/9/15	12:08	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
32	...2	♀	1B	2007/9/15	12:11	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
33	...3	♀	2B	2007/9/15	12:12	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
34	...4	♀	1C	2007/9/15	12:14	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
35	...5	♀	OB	2007/9/15	12:16	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
36	...6	♀	OB	2007/9/15	12:17	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
37	...7	♀	2C	2007/9/15	12:19	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
38	...8	♀	1C	2007/9/15	12:41	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
39	...9	♀	1C	2007/9/15	12:44	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
40	..0	♀	1C	2007/9/15	12:45	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
41	..1	♀	OB	2007/9/15	12:47	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
42	..2	♀	1B	2007/9/15	12:48	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
43	..3	♀	OB	2007/9/15	12:52	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
44	..4	♀	1C	2007/9/15	12:53	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
45	..5	♀	1C	2007/9/15	12:55	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
46	..6	♀	1C	2007/9/15	12:57	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
47	..7	♀	1C	2007/9/15	13:01	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
48	..8	♀	1C	2007/9/15	13:03	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
49	..9	♀	1B	2007/9/15	13:05	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
50	..0	♀	2C	2007/9/15	13:07	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
51	..1	♀	OB	2007/9/15	13:10	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
52	..2	♀	1B	2007/9/15	13:17	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
53	..3	♀	1B	2007/9/15	13:18	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
54	..4	♀	1B	2007/9/15	13:20	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
55	..5	♀	1A	2007/9/15	13:24	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
56	..6	♀	OA	2007/9/15	13:40	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
57	..7	♀	OA	2007/9/15	13:49	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
58	..8	♀	OA	2007/9/15	13:51	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
59	..9	♀	3C	2007/9/15	13:52	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
60	...0	♀	OA	2007/9/15	13:57	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
61	...1	♀	OB	2007/9/15	13:59	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
62	...2	♀	1C	2007/9/15	14:04	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
63	...3	♀	1C	2007/9/15	14:08	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (カブトムシの森)	
64	...4	♀	2A	2007/9/15	14:17	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Eポイント)	
65	...5	♀	1C	2007/9/15	14:32	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
66	...6	♀	1C	2007/9/15	14:33	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
67	...7	♀	1C	2007/9/15	14:35	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
68	...8	♀	1C	2007/9/15	14:38	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
69	...9	♀	3D	2007/9/15	14:57	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
70	...0	♀	3D	2007/9/15	14:55	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
71	...1	♀	3D	2007/9/15	15:00	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
72	...2	♀	3D	2007/9/15	15:02	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
73	...3	♀	3D	2007/9/15	15:02	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
74	...4	♀	3D	2007/9/15	15:05	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
75	...5	♀	3B	2007/9/15	15:13	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
76	...6	♀	1C	2007/9/15	15:15	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Fポイント)	
77	...7	♀	OA	2007/9/22	10:03	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Aポイント)	
78	...8	♀	OB	2007/9/22	10:38	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
79	...9	♀	1C	2007/9/22	10:39	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
80	...0	♀	OB	2007/9/22	10:43	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	
81	...1	♀	OB	2007/9/22	10:49	宮崎県宮崎市折生追迫大谷線 (Cポイント)	

表. 4 再捕獲個体

No.	性	新鮮度	捕獲月日	放蝶時刻	採集・放蝶地	再捕獲日	再捕時刻	新鮮度	再確認地	移動距離	生存確認期間
10	♀	0A	9/15	10:44	Cポイント	9/24	14:55	2C	カブトムシの森	250m	9日
13	♂	2B	9/15	10:54	Cポイント	9/22	11:26	2C	Cポイント	0m	7日
23	♂	0B	9/15	11:45	カブトムシの森	9/17	14:45	**	カブトムシの森	0m	2日
24	♂	0B	9/15	11:47	カブトムシの森	9/24	14:46	2C	カブトムシの森	0m	9日
30	♂	0B	9/15	12:09	カブトムシの森	9/17	14:45	**	カブトムシの森	0m	2日
31	♂	2C	9/15	12:08	カブトムシの森	9/17	14:45	**	カブトムシの森	0m	2日
34	♂	1C	9/15	12:14	カブトムシの森	9/17	14:45	**	カブトムシの森	0m	2日
35	♂	0B	9/15	12:16	カブトムシの森	9/17	14:45	**	カブトムシの森	0m	2日
42	♂	1B	9/15	12:48	カブトムシの森	9/17	14:45	**	カブトムシの森	0m	2日
47	♂	1C	9/15	13:01		9/17	14:45	**	カブトムシの森	0m	2日
						9/24	14:59	2D	カブトムシの森	0m	9日
51	♂	0B	9/15	13:10	カブトムシの森	9/17	14:45	**	カブトムシの森	0m	2日
79	♀	0B	9/22	10:38	Cポイント	9/30	11:00	3C	Cポイント	0m	8日

移動については、再捕獲からすると移動個体は少なく、唯一♀が、250 mの距離が確認された。マークしていない個体で明らかにシバハギ群落以外の場所で林道に沿って飛翔している個体もある。

4 考察及びまとめ

○ 今回は、標識の面積が広く個体への影響が不明で、主として雄個体に標識を付けた。ただし、油性ペンの揮発物質とチョウの匂い物質の影響については、1978（岩崎）[1]で標識付きの個体が交尾まで至っているのを確認しているため直接の影響はないものと考えられる。標識付記の最初の個体は慣れないせいもあり、数個体程度、脚を傷めたりしてしまったが、慣れてくるとほとんど正常に飛翔した。

○ 再捕獲率は、14.8 %と多くはないが、標識のない個体がかかなり増加していることが分かる。生存日数が確認できたのは、12 頭で、最長 9 日間であった。ほとんどの個体の寿命は天敵等のため短いと考えられるが、過去の調査結果ではトラブルがない状況であると 20 日余りである。

○ 移動は、雄は全くなかったが、標識数の少ない雌の 1 頭が約 250 mと小移動を確認した。調査をしていると、明らかに道路に沿って移動中の個体を見ることがある。実際には、条件によっては、km単位の移動もあるものと考えられるが、近年では、シバハギ群落があっても生息しないところが多く、生息環境の変化が問題であると考えられる。

《参考文献》

[1] 岩崎郁雄（1978）タイワンツバメシジミの生態について．SATSUMA27(76)：46-74.

（いわさき いくお：宮崎市本郷北方 4353-31）

盛夏のタイワンツバメシジミのステージは？ ～蛹化時期を探る～

岩 崎 郁 雄

本土のタイワンツバメシジミは、九州南端部を除き、早くて8月下旬から成虫が発生し、10月上旬まで見られる。母チョウは唯一の食草シバハギに産卵、幼虫はその実を摂食し越冬に入る。その後の生態には不明な点が多く、特にいつ蛹化するのが課題である。

筆者は日長を長日により、年内に羽化することを既に報告している。長日だけの条件であれば、5～6月に一斉に羽化すると思われるが、蛹化のプログラムは温度などが絡んで、約11ヶ月後に羽化するようになっている。その解明は、これからであるが、室内飼育では、蛹化するとおおよそ8～10日間ほどで羽化するため、野外でも同じではないかと推測されたが、実際確認はできていなかった。そこで、通常ならば、8月下旬から9月上旬にかけて蛹化すると考えられるが、8月中旬のステージが分かれば、蛹化時期がかなり特定されることになる。

2007年8月17日に4～5年前から確認しておいた都城市南東部の生息地で調べることにした。林道の路脇に食草のシバハギがあり、その周辺部を綿密に探索した。その結果、越夏幼虫がススキの枯れ茎内に4頭発見できた。蛹は見つからなかった（写真1～3）。



→ 終齢幼虫位置

写真1 越夏幼虫の発見場所

蛹は見つからないのか、蛹になっていないのか判明しないため、そのうち3頭を自宅へもって帰り、野外に袋をかけて、自然状態で飼育した。1日、1～2回観察した（表参照）。幼虫は、ほとんど動かずじっとしているが、前蛹になる直前に動いた。3頭中2頭が成虫となる。9月7日蛹化→9月16日1♂羽化。9月24日蛹化→10月2日1♀羽化。蛹化期間は10日間（♂）と8日間（♀）であった。

これから考えると8月中旬の段階では、幼虫であることが確実である。しかしながら、飼育個体は思いの外、蛹化、羽化が遅かったが、周囲の光が影響していたのかもしれない。



—：幼虫静止位置 エリア：幼虫が静止している枯れススキの茎

写真2 越夏幼虫の静止位置



写真3 ススキの枯れ茎の越夏幼虫

表. 越夏幼虫の飼育記録（2007年） 飼育場所：宮崎市本郷北方

記録日	時間	A個体	B個体	C個体	備考
0817		終齢幼虫、体長12mm	終齢幼虫、体長12mm	終齢幼虫、9mm	都城市蔦ヶ岡林道産
0818		終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	鉢植えにセット、玄関野外に置く。
0819	8:15	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	霧吹きで水分を与える。
0819	21:15	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	霧吹きで水分を与える。
0820	6:58	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	土は湿っている。
0820	20:00	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	上部のみ霧吹き
0821	7:00	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	土は湿っている。
0821	21:00	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	霧吹きで水分を与える。
0822	9:00	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	土は湿っている。
0823	6:52	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	土は湿っている。
0823	21:10	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	霧吹きで水分を与える。
0824	7:00	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	土は湿っている。
0825	8:15	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	土は湿っている。全体撮影。
0826	9:50	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	5D幼虫撮影
0827	6:25	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	霧吹きで水分を与える。
0827	21:05	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	

0828	7:00	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	霧吹きで水分を与える。
0828	21:15	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	
0829	6:50	少しくびれがある？	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	シバハギは3芽中、一芽は葉芽。
0829	21:15	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	霧吹きで水分を与える。
0830	7:00	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	
0831	6:50	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	霧吹きで水分を与える。
0901	8:45	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	シバハギは3芽とも、まだ葉芽。
0901	17:00	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	霧吹きで水分を与える。
0902	10:00	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	
0903	7:00	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	霧吹きで水分を与える。
0903	21:00	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	
0904	7:05	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	霧吹きで水分を与える。
0904	21:20	終齢幼虫、変化なし	終齢幼虫、変化なし	枯茎先端部分に移動	
0905	6:50	終齢幼虫、変化なし	移動し、枯茎に静止、	枯茎先端部分に静止	霧吹きで水分を与える。撮影。
0905	19:10	終齢幼虫、変化なし	枯茎先端部分に静止	先端部分に静止	
0906	6:20	終齢幼虫、変化なし	全体が透明感となっている。前蛹化？	先端部分に静止。変化なし。	霧吹きで水分を与える。B個体は、撮影。
0906	23:10	頭部が上やや透明感	前蛹(頭部上)	頭部が上透明感となる	
0907	7:20	頭部が上やや透明感	蛹化直前	頭部上、透明感となる	
0907	13:00	頭部上、やや透明感	蛹化直前	頭部が下となる。	
0907	20:00	頭部が上やや透明感	蛹化していた。	頭部が下となる。	蛹等、撮影、霧吹きで水分。
0908	9:00	変化なし	蛹個体。乳白色。	変化なし。	シバハギに花芽なし。
0908	17:00	透明感。変化なし。	変化なし。	それほど透明にはない	シバハギに花芽なし。
0909	12:00	透明感。変化なし。	変化なし。	変化なし。	
0909	18:00	透明感。変化なし。	変化なし。	変化なし。	霧吹きで水分を与える。撮影。
0910	7:05	透明感。変化なし。	変化なし。	変化なし。	
0910	19:25	蛹化の気配なし。	変化なし。	蛹化の気配なし。	
0911	7:10	蛹化の気配なし。	翅部分が濃乳白色、腹部がやや黒くなる。	蛹化の気配なし。	シバハギ3芽は、花芽見えず。
0912	7:15	蛹化の気配なし。	翅部分が濃乳白色、	蛹化の気配なし。	
0912	23:30	前蛹のような雰囲気	変化なし。	変化なし。	
0913	7:15	前蛹の気配なし。色がゴマ降り状の黒点が増える。	変化なし。	変化なし。	シバハギ3芽は、花芽見えず。霧吹きで水分を与える。
0913	23:00	変化なし。	変化なし。	変化なし。	
0914	7:00	変化なし。	変化なし。	変化なし。	
0915	7:30	変化なし。	翅が濃白色化、眼ができてきたようである。	変化なし。	シバハギ3芽は、花芽見えず。
0915	21:10	変化なし。	翅が青色でみと分か	変化なし。	発達した花蕾の枝を近くに置く。

			る。羽化間近。		鉢植えは変化なし。
0916	7:20	変化なし。	羽化間近。	変化なし。	
0916	18:30	変化なし。	♂羽化。	変化なし。	
0917					
0918	7:05	色が悪い。頭が上。		頭が下。変化なし。	花蕾の枝が枯れ始める。霧吹き。
0919	7:00	約5cm下へ移動。頭は下。		変化なし。	
0919	22:30	変化なし。		変化なし。	
0920	7:10	茎の隙間に入り込んでいる。頭部は下向き。		変化なし。頭部は下向き。	
0921	7:00	前日と変化なし。		小移動して、反対の茎の背側に静止。頭部は下向き。	5D撮影(C個体)。
0922	8:45	頭部は上向きとなる。		前日と変化なし。体長は1cm弱。	
0923	8:34	体長が縮んで来ている。前蛹近しか？頭部上。		変化なし。	
0924	8:50	蛹化している。		変化なし。	A個体は、9/23は既に前蛹。
0925	7:10	変化なし。		少し、色が悪く、縮んでいる。	
0926	7:05	変化なし。		いなくなっている。	
0926	21:15	変化なし。		探したが、未発見。	
0927	7:05	変化なし。		見つからない。	
0928	7:10	翅が少し乳白色となってきた。		発見できない。	
0929	8:10	変化なし。		発見できない。	
0930	9:45	変化なし。		既に死亡か？	
1001	7:00	体色が濃くなっている。			
1002	7:10	羽化間近。全体が黒くなっている。			A個体、撮影。♀か？
1002	23:00	1♀羽化。昼間羽化した模様。			
1009					鉢植えのシバハギが開花

(いわさき いくお：宮崎市本郷北方 4353-31)

台湾ツバメシジミの飼育記録

小松 孝寛

台湾ツバメシジミの飼育は過去何度か試みたことがあるが、いずれも終齢幼虫が休眠に入った後、2月頃までは休眠状態で生きているが、その後死亡するものばかりだった。今回、種々の方法で台湾ツバメシジミ終齢幼虫を越冬させたところ、そのうちの一つで無事越冬し、蛹化・羽化した。越冬前の幼虫は宮崎市青島のものを扱い、次の3条件で越冬準備に入った。このときまでは4頭ともタッパで飼育した。

2006年10月14日 3齢～終齢幼虫4頭を採集(写真1)

10月31日 4頭とも終齢幼虫になり休眠に入る。1頭はススキの枯れ葉に入る(写真2)。

2頭がビニールのストローに入る。1頭はタッパの中で休眠に入る(写真3,4)。

ストローに入ったもの2頭とススキの枯れ葉に入ったもの1頭はチガヤを植えてある鉢に入れて庭の日陰に置いた。タッパのもの1頭はそのままにした。ただし、以前の経験からタッパでは干からびて死亡することが分かっていたので、水分を絶やさないようにした。その後の経過は以下のとおりである。

2007年1月3日 鉢植えのストローの中で休眠していたものは2頭とも死亡を確認。

ススキの枯れ葉のものは移動していた。鉢の中をくまなく探したが見つからなかった。場所を移動後、死亡した可能性が大きい。

4月14日 タッパの幼虫は休眠していることを確認。

5月9日 タッパの中で休眠してから始めて位置を移動した。

5月12日 タッパの中で蛹化(写真5)。

5月22日 羽化♂

今回の試みから、タッパの中で水分を絶やさないようにすれば、台湾ツバメシジミは意外と簡単に越冬羽化させられることが分かった。水分を絶やさないために用いた方法は、タッパの底にティッシュを敷き、それに水道水を含ませるだけである。水道水には消毒用の塩素が入っているため数週間放置しておいても黴が生えてくることはなかった。ただ、今回の飼育条件では蛹化時期が5月と、自然状態の8月末～9月初よりかなり早い。押入れに入れっぱなしにしたなど、日照条件を考慮しなかったせいかもしれない。また、一旦蛹化すると10日で羽化しているので、自然状態では8月20日過ぎに蛹化するものと推察される。



写真(1) キツネノマゴで吸蜜する成虫♂



写真(2) シバハギの実にいた終齢幼虫



写真(3) 藁の中で休眠に入った終齢幼虫



写真(4) ストローの中で休眠に入った終齢幼虫



写真(5) タップの中で休眠に入った終齢幼虫



写真(6) タップの中で蛹化

(こまつ たかひろ)

タイワンツバメシジミの飼育記録 2

小松 孝寛・安本 潤一

今年もタイワンツバメシジミの飼育を行ったが、例年とは少し変わった傾向が出た。宮崎市内のタイワンツバメシジミ生息地から3齢～終齢幼虫を採集し、飼育を始めた。例年であれば10月末から11月初めには終齢幼虫で休眠を始め越冬準備に入る。たまにそのまま蛹化する個体もいるが、その数は少ない。しかし、2007年10月14日に採集した幼虫は29頭のうち13頭が休眠することなく蛹化し、11月16日までに6頭が羽化した。1週間後に同じ場所で採集し、安本が延岡市で飼育した幼虫は1頭も蛹化することなく休眠に入った。第2化の条件が、採集時期よるのか宮崎市と延岡市の気温の差によるのかは良く分からない。

<宮崎市内での飼育データ>

2007年10月14日 宮崎市青島で3齢～終齢幼虫29頭を採集(写真1)

10月15日 1頭の体色が緑から茶に変化し動かなくなる。

10月16～19日 13頭の体色が茶色になり、動かなくなる。

10月30日 6頭蛹化(写真2)

10月31日 1頭蛹化

11月3日 残り16頭の幼虫の中には体色が緑色のものもあり良く摂食しているものも多い。

11月4日 2頭蛹化

11月10日 3頭羽化(2♂1♀)(写真3)、1頭蛹化、全ての幼虫が動かなくなった。

11月11日 2頭羽化(1♂1♀)

11月12日 1頭羽化(1♀)

11月16日 7頭は幼虫で死亡、4頭が蛹で死亡、残り12頭の幼虫は休眠状態で越冬の準備に入った模様。

<延岡市内での飼育データ>

2007年10月21日 宮崎市青島で3齢～終令幼虫16頭を採集。

延岡市の自宅にてタッパに入れ、冷暗所に置いた。

10月26日 2頭死亡 数頭の体色が緑色から淡褐色に変化し、動かなくなる。

10月29日 2頭死亡 残12幼虫

11月5日 2頭死亡 全て(10頭)が淡褐色となり、休眠に入ったようである。

羽化した個体は小型の個体が1♀2♂で2♀1♂は普通サイズであった。斑紋色彩は、特に変化はなく、♀の後翅表の白斑が少し発達しているような感も受けるが、個体変異と思われる。

また、食性に関し興味ある結果を得た。11月に入るとシバハギの若い実が入手しにくくなったので、手元にあったインゲンを与えたところ摂食を始めた。タイワンツバメシジミにインゲンを与えたのは初めてであったが、終齢幼虫はシバハギよりもインゲンを好んで摂食しているようであった。(写真4)



写真(1) 生息地でシバハギを食べる幼虫



写真(2) 休眠することなく秋に蛹化した個体



写真(3) 11月10日に羽化した2化のみ



写真(4) インゲンを摂食する終齢幼虫

南郷町でウスキシロチョウの発生を確認

小松 孝寛・安本 潤一

2007年9月30日、森岡公一郎氏から南郷町のトロピカルドームでウスキシロチョウ5頭を確認し、ランタナで吸蜜している個体を撮影したと連絡を受けた。いずれも新鮮な個体だったので当地で発生を繰り返しているのではないかとのことであった。そこで、トロピカルドームを運営管理している宮崎県総合農業試験場亜熱帯作物支場に連絡したところ、支場長の児玉良一氏からウスキシロチョウの食樹であるナンバンサイカチが何本か植えてあることを教えてもらった。南郷町にある亜熱帯作物支場は高温性柑橘類や宮崎完熟マンゴーの研究開発で有名な農業試験場である。そこに、樹木による景観研究のために何種類かの南方系樹木を植え、その中にナンバンサイカチもあるとのことであった。

2007年10月20日、我々はウスキシロチョウが発生を繰り返しているかどうかを確かめるために、亜熱帯作物支場へナンバンサイカチの調査に行った。植えてある凡その場所は聞いていたので、現地に着いてからそれらしき場所を探してみるが見つからない。そこで、現地から亜熱帯作物支場の研究員である末吉浩二氏に電話して具体

的な植栽場所を教えてもらい、やっとナンバンサイカチを見つけることができた。

7～8本のナンバンサイカチが植えてある場所に近づくと、一本の樹の若芽にウスキシロチョウの♀が産卵をしているのが見えた。次々に卵を産んでいく。若葉を確認すると多数の卵が産みつけられていた。また、近くの葉からは幼虫、前蛹と蛹が見つかった。更に、別の樹では交尾している成虫もあり、この場所で迷蝶として宮崎にやってきたウスキシロチョウが代を重ねていることが確認できた。今回確認できたウスキシロチョウのデータは下記のとおりである。

場所:宮崎県南那珂郡南郷町 宮崎県総合農業試験場 亜熱帯食物支場 日時:2007年10月20日14-16時

成虫: ♂2頭、♀2頭 (交尾中のものも確認) 卵: ナンバンサイカチの若葉に多数

幼虫: 若齢幼虫1頭、終齢幼虫3頭 前蛹: ナンバンサイカチの葉より3頭

蛹: 2頭 (いずれもナンバンサイカチの葉裏に蛹化)

なお、トロピカルドームの中に植えてあるナンバンサイカチにも何箇所か幼虫の食痕があり、蛹殻2個を確認した。今回の調査に関しては、ウスキシロチョウ発生の情報を頂いた森岡公一郎氏、ナンバンサイカチの植栽地と調査の許可を頂いた宮崎県総合農業試験場亜熱帯作物支場の児玉良一支場長および末吉浩二研究員に改めて御礼を申し上げたい。



写真(1) ナンバンサイカチの葉裏で交尾する♂♀ 写真(2) 若葉に産み付けられた卵



写真(3) 終齢幼虫 (若齢幼虫と前蛹もいた)

写真(4) 葉裏で見つかった蛹

(こまつ たかひろ・やすもと じゅんいち)

五ヶ瀬町でオオウラギンスジヒョウモン幼虫の採集 と寄生蜂脱出の記録

岩 崎 郁 雄

宮崎県においてオオウラギンスジヒョウモン *Argyronome ruslana lysippe* (Janson, 1877) の幼虫を採集、飼育したのでここに報告する。県内での幼生期の記録はほとんどないと思われる。

西臼杵郡において、ウラギンヒョウモン類の幼虫を探索しており、水田の土手にあったスミレ類の群落に食痕があり、探したところ本種が見つかった。土手は北西に面しており、付近には、この幼虫のみであった (写真 1～2)。この個体を飼育した結果、寄生蜂が脱出し (写真 3)、羽化までには至らなかった。

報告にあたって、同行者の末永英規氏に感謝する次第である。

《データ》

オオウラギンスジヒョウモン 3 齢幼虫 1 頭 (HOST : タチツボスミレ)

採集日 2007 年 5 月 3 日

採集地 西臼杵郡五ヶ瀬町大字桑野内字亀戸

採集者 岩崎郁雄

飼育結果 5 月 6 日死亡。5 月 13 日ヒメバチの一種脱出。(種は未同定)

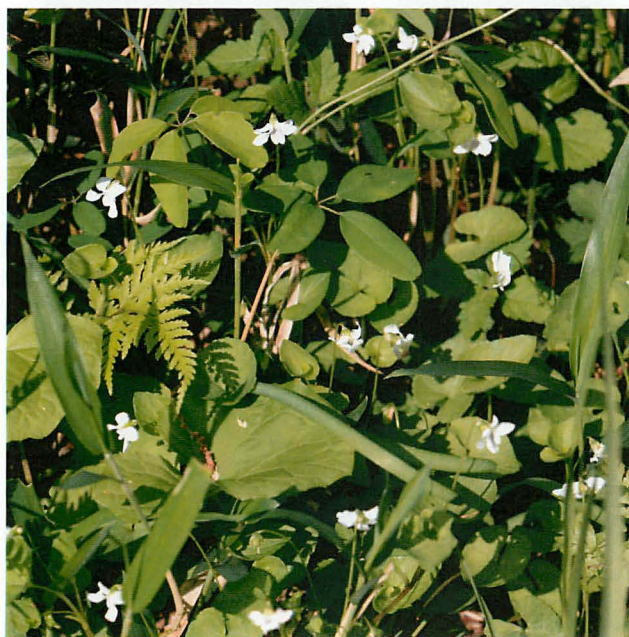


写真 1 食草のタチツボスミレ



写真 2 採集した 3 齢幼虫



写真 3 脱出したヒメバチの一種

(いわさき いくお : 宮崎市本郷北方 4353-31)

宮崎市南部におけるモンシロチョウの消長について

～ 2006年11月～ 2007年11月 ～

園山英一・園山修平・岩崎郁雄

1 はじめに

モンシロチョウ *Pieris rapae* は、一般は馴染みがあり、学校教材にも取りあげられている極普通種である。しかしながら、あまりにも身近なため害虫調査でもない限り、まして昆虫同好者で調べようとする方はほとんどいない。モンシロチョウの消長については、これまで、園山英一・修平[1][2]により、さらに2005年の春は個体数が極めて少なかった記録を岩崎[3]がまとめている。

今回、2006年11月から約1年間の調査結果がまとまったのでここに報告する。なお、調査活動の主体は園山英一で、園山修平は補助者、岩崎が結果をまとめた。

2 調査方法

過去の報告[1][2]とほぼ同じ地点10カ所のうち8カ所を定点調査地として設定した。宮崎市大淀川の右岸から清武川の左岸に至る約15 km²の範囲である。主としてアブラナ科植物のある畑や荒地が対象となり、車では入れない場所が多いため、二輪車を用いて調査を行った。

3 調査地の概要

8地点を選定し、定点観察とした。ダイコン畑のところが多いが、季節によっては、別の作物や休耕しているところがあった。

- ① 古川：宮崎市恒久5丁目古川 ダイコン畑
- ② 中ノ又：宮崎市恒久5丁目中ノ又 ダイコン、ナノハナ畑、イタリアン（飼料）
- ③ 南九大：宮崎市大字田吉 南九州短大有料道路の南ダイコン、ナノハナ畑、イタリアン
- ④ 第一苑：宮崎市大字赤江第一苑南 有料の下 ダイコン畑
- ⑤ 大丸：宮崎市大字田吉 大丸 日豊線東 ナノハナ畑
- ⑥ 甲：宮崎市大字郡司分甲 第一高校西 ダイコン畑
- ⑦ 乙：宮崎市大字郡司分乙 第一高校南 ダイコン畑
- ⑧ 長昌寺：宮崎市大字郡司分甲 長昌寺南 イタリアン

4 調査地点図 (図. 1)

5 調査結果 (観察データ、図. 2、表. 1)

6 考察及びまとめ

宮崎県を含む西南日本では、春と秋に発生のピークがあり、いわゆる「二山型」とされる。2006～2007年にかけての発生状況については、次のようになっている。

- (1) 全体的には、11～12月と5月にピークがあり、通常の発生パターンとなっている。
- (2) 中の又のように場所により、二山のピークと異なる月（7月）に発生が爆発することがある。
- (3) 厳冬期にも少なからず成虫が見られ、産卵は確認されていないが、全ステージでの越冬の可能

性が高い。

(4) グラフから見ると、年5～6回の発生と考えられる。

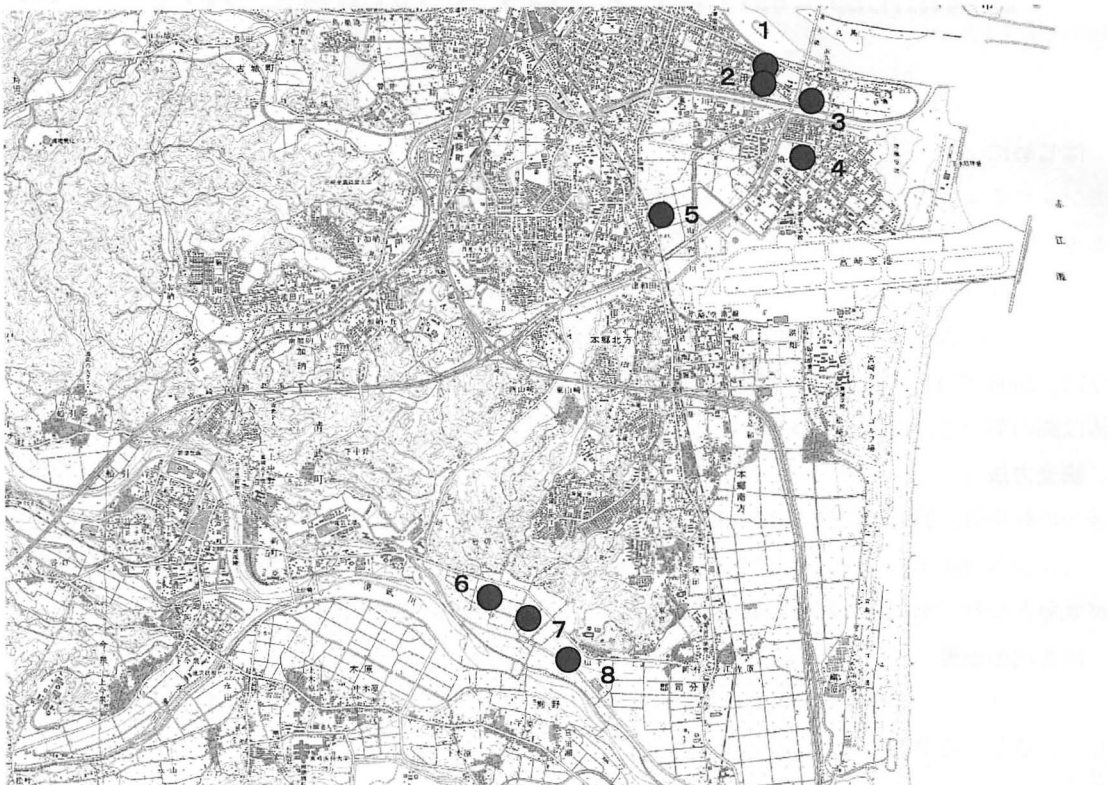
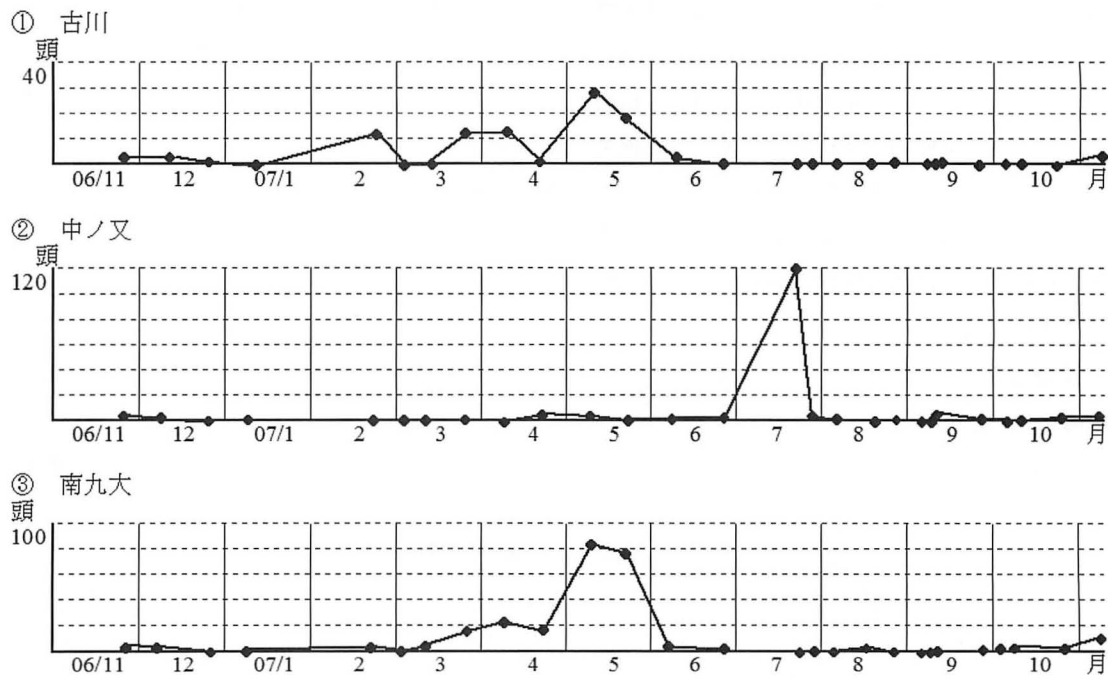
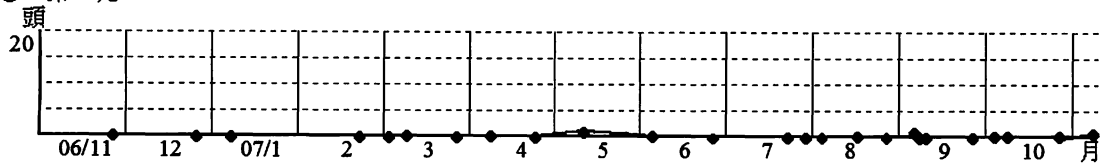


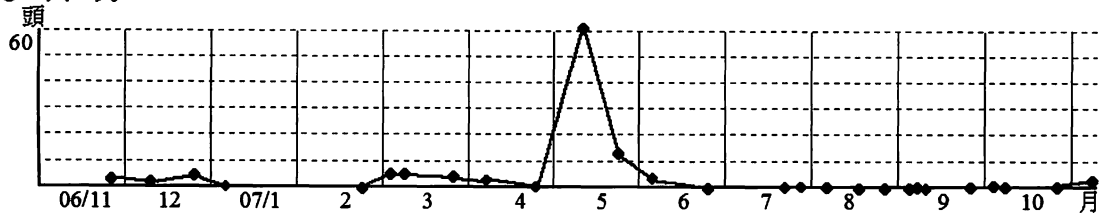
図. 1 調査地点図



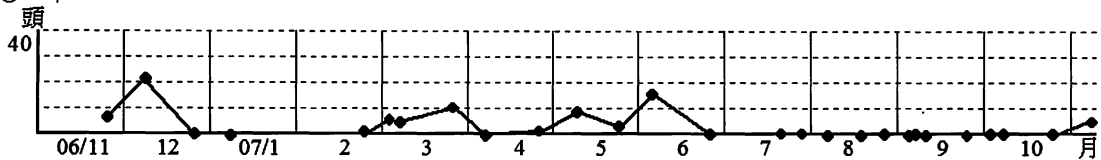
④ 第一苑



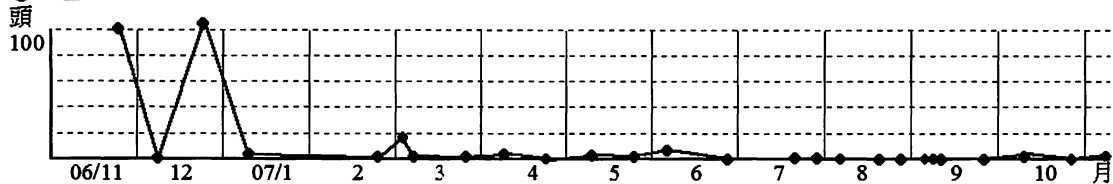
⑤ 大丸



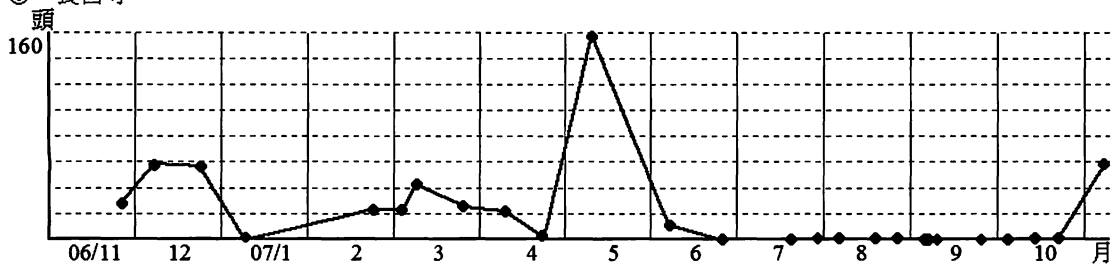
⑥ 甲



⑦ 乙



⑧ 長昌寺



全体

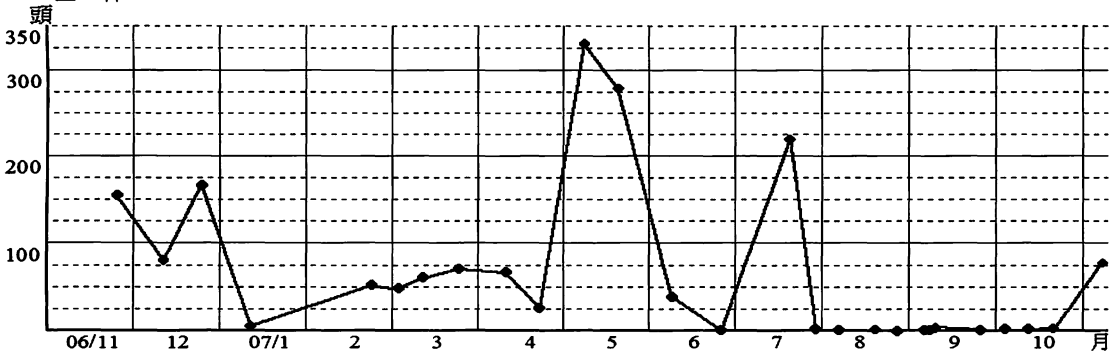


図. 2 観察データ

表. 1 観察データ (頭数)

年月日	①古川	②中ノ又	③南九大	④第一苑	⑤大丸	⑥甲	⑦乙	⑧長昌寺	小 計
061124	2	8	6	0	4	8	1 0 2	2 8	1 5 8
061210	2	1	6	—	2	2 2	2	4 8	8 3
061223	1	2	0	0	5	0	1 1 5	4 5	1 6 8
070111	0	0	0	0	0	0	5	2	7
070223	1 3	0	7	0	0	2	3	2 0	5 1
070302	0	0	0	0	6	6	1 8	1 9	4 9
070311	0	0	7	0	6	5	2	4 3	6 3
070323	1 3	0	1 5	0	5	1 0	3	2 6	7 2
070409	1 3	0	2 2	0	5	0	5	2 1	6 6
070419	1	5	1 8	0	0	1	0	1	2 6
070509	2 8	2	8 5	1	6 2	4	4	1 4 5	3 3 1
070520	1 8	0	7 7	0	1 3	4	2	1 5 9	2 7 9
070608	3	1	2	0	4	1 6	7	1 3	4 3
070624	0	0	0	0	0	0	0	0	0
070718	0	1 2 0	0	0	0	0	0	0	1 2 0
070727	0	2	0	0	0	0	0	0	2
070804	0	1	0	0	0	0	0	0	1
070817	0	0	4	0	0	0	0	0	4
070825	0	0	0	0	0	0	0	0	0
070905	0	0	0	0	0	0	0	0	0
070906	0	0	0	2	0	0	0	0	2
070908	0	4	0	0	0	0	0	0	4
070924	0	1	1	0	0	0	0	0	2
071003	0	0	1	0	0	0	0	0	1
071013	0	0	1	0	0	0	1	0	2
071020	0	3	0	0	0	0	0	0	3
071108	4	2	1 1	2	2	5	2	4 9	7 7
計	9 8	1 5 2	2 6 3	5	1 1 4	8 3	2 7 1	6 1 9	9 8 6

参考文献

- [1] 園山英一・修平(1996)宮崎市南部・清武町におけるモンシロチョウの記録報告-1995 年 11 月～12 月-宮崎むし通信(39):194.
- [2] 園山英一・修平(1997)宮崎市南部・清武町におけるモンシロチョウの記録報告-1996 年 3 月～6 月-宮崎むし通信(41):202-205.
- [3] 岩崎郁雄(2005)2005 年春の宮崎県におけるモンシロチョウの発生異常について. タテハモドキ(41):3-10.

(そのやま えいいち・そのやま しゅうへい・いわさき いくお)

都城・北諸県郡の蝶

山元 修成

この「都城・北諸県郡の蝶」は、中尾景吉先生と一緒に福田晴夫さんのお宅にお邪魔したときに頂いた資料を参考にして書き上げたものです。

今年の6月24日に中尾先生と一緒に福田晴夫さんのお宅にお邪魔したときに、「鹿児島高等農林学校 博物同志会会報『都城地方の蝶目録』」のコピー資料を頂きました。その資料を見てみると、戦前のものでした。資料には不明な点があったので、自分で都城の蝶を調べてまとめてみようと思い、この「都城・北諸県郡の蝶」を書き上げました。

アゲハチョウ科

1. アオスジアゲハ

- ・都城では、よく見る蝶で、林道の水溜りなどによく吸水に来ている。車につぶされた死体を見ることが多い。

2. ミカドアゲハ

- ・都城では、あまり見ない蝶である。三股町の山の中に入っていくと採集することができた。幼虫は、神社のオガタマで観察することが出来た。

3. キアゲハ

- ・田んぼや、畑の上をよく飛び、なかなか道路の方へ出てこないで、庭へ吸蜜に来たとき以外は、あまり採集できない。田植え前の田んぼでは、簡単に採集できた。

4. ナミアゲハ (アゲハ)

- ・どこでも見る蝶である。今年は、夏型の雌はあまり見なかった。

5. ナガサキアゲハ

- ・都城の市街地では、あまり見る機会は少ない。しかし、金御岳（かねみだけ）などの、山に行くと、よく飛んでいる。秋には、彼岸花に飛来する。

6. ジャコウアゲハ

- ・都城では、金御岳などの山以外で採集したことはない。ツツジが咲き出すと、かなりの量が吸蜜に来ている。

7. モンキアゲハ

- ・林道などに入ると、よく見る蝶である。庭にミカンなどを植えておくと、稀に幼虫がついていることがある。

8. クロアゲハ

- ・都城の市街地でも見ることもある。秋には、彼岸花によく飛来する。

9. オナガアゲハ

- ・都城では、あまり見ない蝶である。採集したことがあるのは、金御岳で4年前に1頭だけ。

《データ》2003年7月26日、1♂、都城市安久町金御岳麓のため池付近：山元修成

10.ミヤマカラスアゲハ

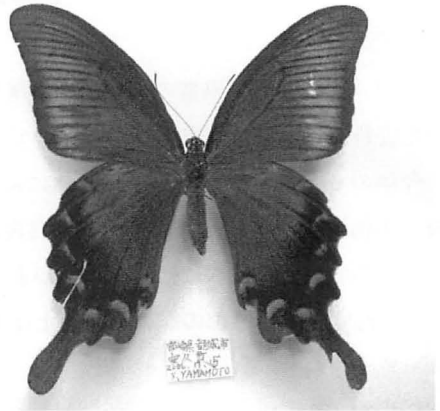
- ・都城では、雄をよく採集することが出来た。雌は、路上で跳ねられたものや、運よく羽化したばかりでまだ蛹に下がっていたのを採集した他はない。

11.カラスアゲハ

- ・もしかしたら、ミヤマカラスアゲハより少ないかもしれない。雄は、よく採集することが出来るが、雌は2～3頭程しか採集していない。昨年は、カラスアゲハの雌雄型を採集した。

《データ》2006年7月15日、1頭（雌雄型）、

都城市安久町：山元修成：写真



シロチョウ科

1.モンシロチョウ

- ・一年中観察することが出来る。キャベツの大害虫。

2.スジグロシロチョウ

- ・モンシロチョウ混じって飛んでいることが多い。モンシロチョウと同じ頃に出現する。

3.ツマグロキチョウ

- ・都城では、林道などで見ることが出来る。夏型より、秋型のほうが多く見るような気がする。

4.キチョウ（キタキチョウ）

- ・都城でどこでも見ることのできる蝶である。黄色くて、ゆっくり飛んでいたら、殆どが本種である。

5.ウスキシロチョウ（迷蝶）

- ・今年の夏休みに初めて、都城で採集した。

《データ》2007年8月11日、1♀（ギンモン型）、

都城市下長飯町：山元修成；写真



6.モンキチョウ

- ・毎年モンシロチョウの次に飛び出す蝶である。都城では、春が一番多い。

7.ツマキチョウ

- ・4年前に初めて採集した蝶で、毎年、春の楽しみにしている蝶の一種である。今年は、採卵に挑戦したが失敗に終わってしまった。

シジミチョウ科

1.ムラサキシジミ

- ・どこでも見る蝶であるが、敏感ですばしこいため、採集するのは大変。

2.ムラサキツバメ

・ムラサキシジミの中に、混じって飛んでいることが多い。都城では、あまり多くない。

3.ウラナミシジミ

・毎年秋に、発生する蝶である。畑にそばが植えてあれば、そばの花に吸蜜に来ていた。

4.ルリシジミ

・都城で、よく見かけるシジミの一種である。稀に、一円玉より小さい個体を採集することがある。

《データ》2007年6月10日、1♀（小形）、

北諸県郡三股町牧野林道：山元修成：

写真



5.スギタニルリシジミ

・毎年春に出現し、路上に吸水に来ている。都城では、まだ採集したことはないが、三股町では、沢山採集することが出来た。

6.サツマシジミ

・都城では、あまり多い種ではない。ヤクシマルリシジミや、ルリシジミと混じって飛んでいるときに、採集することが多い。

7.ヤクシマルリシジミ

・都城のルリシジミ類の中で、一番多い種ではないだろうか。

8.ツバメシジミ

・堤防などで、よく見る。萩が咲く時期になると、多くなる。

9.タイワンツバメシジミ

・都城では、一ヶ所だけ確認している。かなりの量が発生している。自然でも幼虫を観察し、幼虫にアリが蜜をもらいに来ているところを観察することができた。野外から卵を採集してきて、野外とタッパー飼育に分け、シバハギを与えた。



2007年9月22日（野外）



2007年10月6日（飼育）



2007年10月14日（飼育）

10.ヤマトシジミ

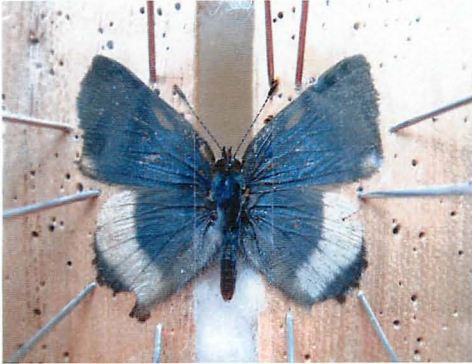
・都城で、どこでも観察することが出来るシジミである。

11.ベニシジミ

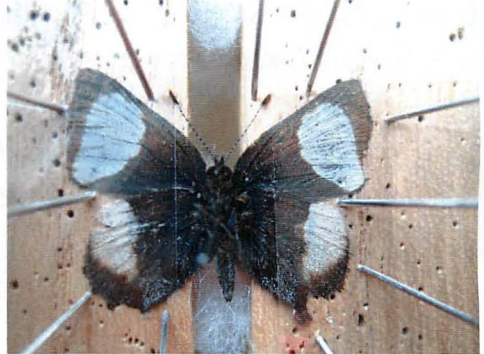
・春型は、よく見る。春型は夏型より多いように感じる。

12. コツバメ

- ・都城では、まだ採集していない。三股町で、今年初めて採集した。異常型も採集した。



(表)



(裏)

《データ》

2007 年 4 月 5 日、1 ♀、北諸県郡三股町大八重谷：山元修成

2007 年 4 月 7 日、2 ♂（うち 1 ♂が異常型；写真）、北諸県郡三股町牧野林道：山元修成

13. トラフシジミ

- ・都城では、春型を採集した。夏型は、今のところ見ていない。

《データ》2006 年 4 月 3 日、1 ♀、都城市母智丘：山元修成

2007 年 3 月 2 日、1 ♂、都城市下長飯町：山元修成

2007 年 3 月 7 日、1 ♀、北諸県郡三股町牧野林道：山元修成

14. ゴイシシジミ

- ・都城では、少ない蝶の一種である。毎年発生地が変わってきている。竹林は、多いのでポイントさえ見つけ出せば、簡単に採集できるのかもしれない。

《データ》2005 年 7 月 22 日、1 ♂2 ♀、都城市安久町（金御岳麓の国道 222 号線）：山元修成

2006 年 9 月 10 日、1 ♀、都城市母智丘：山元修成

2007 年 8 月 27 日、1 ♂、都城市高城町観音池：山元修成

15. ウラギンシジミ

- ・都城で、よく見るシジミの一種で、学校などの水道で水がたまっていると、吸水に来るときもある。
♂が殆どだが、♀も吸水に来る時がある。

16. クロマダラソテツシジミ（迷蝶）

- ・都城と三股町で 11 月 17 日に採集した。三股町では、卵・幼虫・成虫（低温期型の♀）を採集し、都城では幼虫を採集した。

《データ》2007 年 11 月 17 日、1 ♀（低温期型）羽化：
飼育、山元修成：写真



マダラチョウ科

1. アサギマダラ

・都城では、5～6月・10月上旬～10月下旬に見られる。写真は筆者が再捕獲した個体である。



写真 1



写真 2

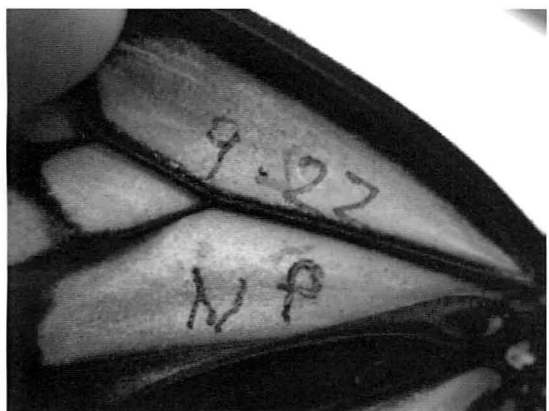


写真 3

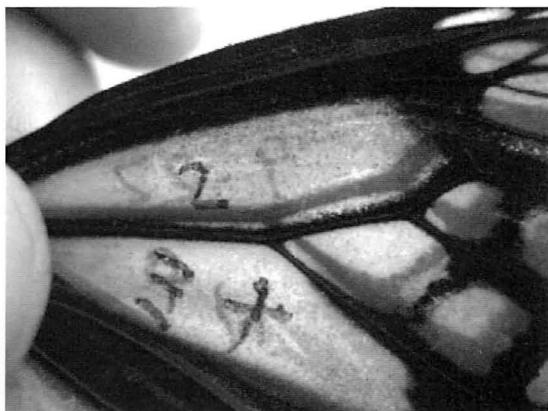


写真 4



写真 5

《写真データ》

写真 1

標識記号：デコ 8/19 UY・1

性 別：♂

再 捕 獲：2007年 10 月 6 日

再捕獲地：都城市安久町蔦ヶ岡林道

標 識 日：2007年 8 月 19 日

標 識 地：福島県耶麻郡北塩原村桧原荒砂沢山グ
ランデコススキー場

標 識 者：上野勇也

移動距離：1,063km

写真2

標識記号：タカノス 10/6 FRV1781

性別：♂

再捕獲：2007年10月18日

再捕獲地：都城市安久町蔦ヶ岡林道

標識日：2007年-月-日

標識地：高知県石鎚山

標識者：情報不足

写真5

標識記号：MZ. NGN 70812-13

性別：♀

再捕獲：2007年10月22日

再捕獲地：都城市安久町蔦ヶ岡林道

写真3・4

標識記号：9.22 NP 2 ミナ

性別：♂

再捕獲：2007年10月18日

再捕獲地：都城市安久町蔦ヶ岡林道

標識日：不 明

標識地：不 明

標識者：不 明

標識日：2007年-月-日

標識地：長野県佐久市春日

標識者：情報不足

2.カバマダラ (迷蝶)

・秋によく飛来する種である。庭のトウワタにも卵は産み付けるが、卵が孵化したことがない。

3.ウスコモンマダラ (迷蝶)

・2・3年前に4頭(♂2・♀2)採集した。スイゼンジナに飛来したが、それきり、花が咲かなくなってしまった。



《データ》2004年5月22日、1♂、都城市下長飯町：山元修成

2004年5月23日、1♂、都城市下長飯町：山元修成：写真左

2004年5月29日、1♀、都城市下長飯町：山元修成

2005年5月8日、1♀、都城市下長飯町：山元修成：写真右

タテハチョウ科

1. メスグロヒョウモン

・あまり目にする蝶ではない。都城市では1♀採集したのみ。

《データ》2006年10月10日、1♀、都城市高城町観音池：山元修成

2007年6月10日、1♀、北諸県郡三股町牧野林道：山元修成

2. ツマグロヒョウモン

- ・ほぼ一年中見られる蝶の一種である。庭にパンジーを植えておくと、坊主にされている。

3. サカハチチョウ

- ・一昨年、都城で初めて採集した種である。春型は、三股町でしか確認していないが、夏型は、採集する機会が多い。

《データ》2006年6月25日、1♀ほか多数記録、都城市安久町鷹ヶ岡林道：山元修成

2007年4月7日、1♀、北諸県郡三股町牧野林道：山元修成

2007年4月5日、1♂ほか約10頭目撃、北諸県郡三股町大八重谷：山元修成

2007年4月7日、1♀ほか約10頭目撃、北諸県郡三股町大八重谷：山元修成

4. イチモンジチョウ

- ・サカハチチョウや、コムスジと混じって飛んでいることが多い。安久町でよく採集する。

5. コミスジ

- ・都城には、ミスジチョウの模様をして、ゆっくり飛ぶのは本種しかいない。

7. キタテハ

- ・都城では、よく見かける蝶である。夏型より秋型のほうが多いような気がする。

8. タテハモドキ

- ・堤防でよく目にする蝶である。春にも新鮮な秋型が飛んでいることが多い。

9. スミナガシ

- ・金御岳の道路沿いで、テリトリーを張る個体を採集することがある。あまり多い種ではない。

10. イシガケチョウ

- ・都城では、よく見かける蝶である。食草の『イヌビワ』を探すと幼虫がよく見つかる。飼育するものがないときに、楽しめる種である。

11. ヒオドシチョウ

- ・都城では、あまり目にしない蝶である。春に、ボロボロになった越冬個体を採集することが稀にある。

《データ》2003年3月27日、1♀ほか、都城市安久町金御岳頂上：山元修成

12. ルリタテハ

- ・樹液によく飛来する種である。食草の『サルトリイバラ』を探すと、稀に幼虫が見つかることがある。野外の『ホトトギス』では、まだ見つけたことがない。

13. アカタテハ

- ・都城では、見ることが多い種である。敏感ですばしっこいので、採集するのには、苦勞する。

14. ヒメアカタテハ

- ・よく見る種の一つで、堤防で『ヨモギ』を探して回ると、かなりの量の幼虫を採集することもでき

る。

15.メスアカムラサキ（迷蝶）

- ・稀に採集することがある。都城では、僕は採集したことがないが、いところが1♂採集している。先日は、学校に電話があり、一般の方が珍しい蝶を採集したというので、その人のお宅にお邪魔したところ、この種であった。



《データ》2002年8月、1♂、都城市安久町金御岳頂上：小濱 築、写真

2007年11月7日、1♂、都城市乙房町：小松吉子

16.リュウキュウムラサキ（迷蝶）

- ・都城では、採集したことはないが、3年前に三股町で1♂採集した。採集時、思いっきり網を振ったので、スプリングネットを壊してしまった。



《データ》2004年7月11日、1♂（赤斑型）、北諸県郡三股町大字樺山：山元修成：写真

17.コムラサキ

- ・都城では、あまり目にしない蝶である。今までに6～8頭採集しただけである。

《データ》2003年7月21日、1♀、北諸県郡三股町大字樺山：山元修成

2003年7月24日、2♀、北諸県郡三股町大字樺山：山元修成

2004年7月11日、1♀、北諸県郡三股町大字樺山：山元修成

2004 年 9 月 3 日、1 ♂ (クロコムラサキ)、北諸県郡三股町大字樺山：山元修成

2006 年 7 月 28 日、1 ♀、北諸県郡三股町大字樺山：山元修成

2006 年 7 月 18 日、1 ♀、都城市下長飯町：山元修成

2006 年 9 月 31 日、1 ♂・1 ♀、都城市下長飯町：山元修成

18.ゴマダラチョウ

- ・夏になると、クヌギの樹液に毎日のように飛来している蝶である。しかし、『エノキ』を探しても幼虫を見つけることは出来ない。

テングチョウ科

1. テングチョウ

- ・よく見る蝶で、林道などの地面ぎりぎりを飛ぶことが多い。

ジャノメチョウ科

1. ヒメウラナミジャノメ

- ・都城では、かなりの量が生息している種である。飛んでいるとき、ウラナミジャノメと見間違えることがたびたびある。

2. ウラナミジャノメ

- ・僕は、まだ採集したことは無いが、先日タイワンツバメシジミのポイントを教えていただいたときに、中尾先生に目の前で 1 頭採集されて悔しい思いをした。

3. ヒメジャノメ

- ・都城では、ヒメウラナミジャノメの次に多い種ではないだろうか？夏から秋にかけて、個体数が多くなってくる。

4. コジャノメ

- ・ヒメジャノメと混じって飛んでいることがある。あまり多くはない。

5. クロヒカゲ

- ・暗いところによく入っていつてしまう蝶である。都城では良く見かける蝶の一種である。

6. ジャノメチョウ

- ・今年初めて都城で確認した蝶の一種である。数は、多くなかった。

《データ》2007 年 7 月 24 日、少数目撃、都城市山之口町榊安森林公園：山元修成

7. サトキマダラヒカゲ

- ・午前中や夕方に樹液によく集まっていることが多い。

8. クロコノマチョウ

- ・夏型より秋型をよく見る。街中より山が多い。

9. ウスイロコノマチョウ (迷蝶)

- ・毎年秋になると、迷蝶として入ってくる蝶である。本種は、クロコノマチョウとは違い、街中でよく見かける。今年は、今町の大型店の中を走り回って 1 雌採集した。

《データ》2007 年 10 月 7 日、1 ♀、都城市今町ナフコ店：山元修成

セセリチョウ科

1.アオバセセリ

- ・都城では、山に行くと採集することが出来るが、数は少ない。

2.ミヤマセセリ

- ・都城では、今のところ 2 頭しか見ていないので、少ない蝶なのではないかと思う。しかし、金御岳の山の奥に入ると、コナラの細木が沢山あるので、観察に行く時期が遅いだけなのかもしれない。

《データ》2007 年 4 月 9 日、1 ♀採集 1 頭目撃、都城市安久町金御岳頂上：山元修成

3.イチモンジセセリ

- ・毎日のように見る蝶である。市街地や住宅地の、庭に飛来するセセリの殆どが本種である。

4.チャバネセセリ

- ・イチモンジセセリの中に、混じって庭に飛来することがある。

5.オオチャバネセセリ

- ・イチモンジセセリの中に、混じって庭に飛来することがある。

6.ミヤマチャバネセセリ

- ・都城ではまだ見ていない。三股町では、春に 1 頭見つけたが、ネットに入らず逃がしてしまった。

《データ》2007 年 4 月 7 日、1 頭目撃、北諸県郡三股町大八重谷：山元修成

7.ホソバセセリ

- ・夏に、山に行くと飛んでいるセセリの殆どが本種である。

8.コチャバネセセリ

- ・イチモンジセセリや、チャバネセセリと一緒に飛来することが多い。

9.ギンイチモンジセセリ

- ・河川敷で、採集することが出来る。今年初めて採集した。

10.ヒメキマダラセセリ

- ・山に入ると、目にすることがある。時々庭に飛来する。

11.キマダラセセリ

- ・ヒメキマダラセセリの中に、稀に混じって飛んでいることがある。

12.ダイミョウセセリ

- ・春、金御岳などで採集することがある。初夏には、庭にも飛来することが時々ある。

13.クロセセリ

- ・よく採集することが出来る。林道などの薄暗いところから、急に飛び出してきたりするので、よく驚かされる。

以上、都城・北諸県郡の蝶についてまとめたが、その種類数を、九州本土および、宮崎県の分布数と比較したのが次の表である。

科 名	都城・北諸県郡	宮崎	九州本土
アゲハチョウ科	11種	11種	12種
シロチョウ科	7種(迷蝶1種)	10種(迷蝶1種)	10種(迷蝶1種)
シジミチョウ科	16種	39種(迷蝶2種)	46種(迷蝶2種)
マダラチョウ科	3種(迷蝶2種)	5種(迷蝶4種)	6種(迷蝶5種)
タテハチョウ科	18種(迷蝶2種)	29種(迷蝶4種)	30種(迷蝶4種)
テングチョウ科	1種	1種	1種
ジャノメチョウ科	9種(迷蝶1種)	12種(迷蝶1種)	14種(迷蝶1種)
セセリチョウ科	13種	16種	16種
合計種数	77種	121種	133種

※注 (迷蝶1種)とは、迷蝶を1種含むとの意味。

(参考文献)

- ・ 宮崎昆虫同好会 2004・2005・2006 タテハモドキ
- ・ 福田 晴夫氏ほか 2005 昆虫図鑑 採集と標本の作り方
- ・ 白水 隆氏 2006 日本産蝶類標準図鑑
- ・ 1932 鹿児島高等農林学校 博物同志会会報 (都城地方の蝶目録 佐保 護氏)
(やまもと しゅうせい：都城市姫城町31街区13号)

アサギマダラの特異な移動例

中 尾 景 吉

秋のアサギマダラは、通常、南下することで知られているが、今年、宮崎県で再捕獲されたマーキング個体で、南下とはむしろ逆に移動をした例が確認されたので報告する。

標識日：2007年11月2日	⇒	再捕獲日：2007年11月12日
標識地：鹿児島県指宿市山川フラワーパーク		再捕獲地：宮崎県児湯郡新富町
標識者：伊藤信雄		再捕獲者：武田順市

標識：ITOU 159 FRK 11/2

性別：♂

移動：移動方向：北東 移動距離：約123km 移動日数：10日

(なかお けいきち)

宮崎県におけるアマミウラナミシジミの食草について

岩崎郁雄

アマミウラナミシジミ *Nacaduba kurava septentrionalis* Shirozu,1953 は、宮崎県内において冬季～春季の生息が未だ確認出来ておらず、いわゆる迷チョウとなっている一種である。初夏以降では、新鮮個体が見られることが多く、発生していることは確かである。これまで、筆者は卵や卵殻の確認やそれからの飼育はしていたが、2004 ～ 2007 年にかけて幼虫の確認が出来、2種類の植物が食草になっていることが判明した。植物の同定に関しては、南谷忠志氏にお願いした。改めて感謝申し上げる。

1 モクタチバナ *Ardisia sieboldii* (ヤブコウジ科)

2004 年 10 月 23 日、串間市の都井岬の西海岸斜面で、成虫が多数目撃された。樹高数mのやや葉が少なくなっているモクタチバナに固執する本種があり、観察していると産卵し始めた。新芽だけでなく、枝に静止し、腹部を曲げて産卵している。何回か同じようなポーズをとっていた(写真1、2)。その付近の枝を採集し、産卵位置を見ていたところ、新芽の間に3齢と終齢幼虫(写真3、4)を発見した。この個体は、後日羽化に至った。

2 シマイズセンリョウ *Maesa tenera* (ヤブコウジ科) 同定：南谷忠志

2007 年 9 月 29 日、同じ串間市都井岬の通称ニシ谷と呼ばれる場所で、多数の♂が日溜まりの小空間で占有、追飛をしていた。その中で、低木に♀が産卵行動をしていた。直ぐに、食草と知られるシマイズセンリョウが頭に浮かんだが、種同定に自信がない。また、この植物は、花蕾を食べると記されていることを思いだしたが、花蕾はない。既に実となっている。しかしながら、よく見ると、花芽に似た小さな新芽が数多くついている。♀は枝の中に潜り込んだりしてこれに産卵しているようだ(写真4)。♀が産卵したあたりの枝を採集し、卵を確認する(写真5)。自宅に帰ってからさらに精査すると2齢幼虫を見つけることが出来た(写真6)。

卵も幼虫も小さな新芽についていて、柔らかいこの葉を摂食していた、その後の飼育でも、この小葉を大変好んでいる。南谷氏によると、サグラなどで見られるテングス病に似たものであるとの見解である。なるほど、メスアカミドリシジミの卵はテングス病の枝で見つかることが多いことも同じような現象ではないかと考える次第である。

アマミウラナミシジミ		産地：串間市都井(ニシ谷) 採集日：2007年9月29日 採集者 岩嶋郁雄												
No.	採集時状態	孵化	幼虫状態	前蛹化	蛹化	羽化	性	卵 期	幼虫期	蛹 期	全 期	備考		
1	2齢幼虫	—	10/3 3齢幼虫 10/8 終齢幼虫 10/10 少し繭んできた	10/11 10/12 7:00	10/12曇	10月20日	♂	—	—	8日	—	9/29 5D、F11撮影 10/9 E-1撮影 10/20 羽化小形		
5	不明	—	10/3 3齢幼虫 10/9 3齢幼虫死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	10/31に発見する。		
6	不明	—	10/3 2齢幼虫 10/8 2齢幼虫死亡	—	—	—	—	—	—	—	—	10/8死亡。		
2	卵(白色)	—	10/5 2齢幼虫確認 10/9 2齢幼虫 10/11 2齢幼虫モクタチバナの新芽を与える。よく摂食している。 10/16 脱皮。終齢となる。	—	10月27日	11月7日	♀	—	—	10日	—	生卵 9/29 5D、F11撮影		
3	卵(白色)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	かじられ卵 9/29 5D、F11撮影		
4	卵(白色)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	かじられ卵		



写真1 モクダチバナの枝に産卵



写真2 同左の拡大

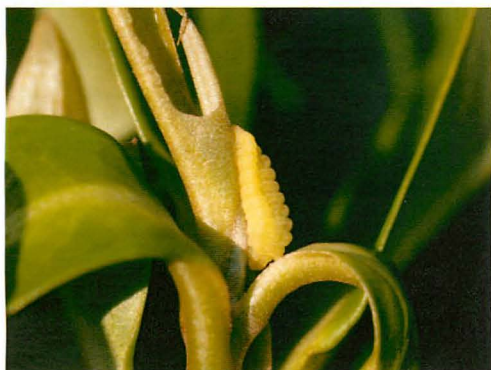


写真3 モクダチバナの新芽上の終齢幼虫



写真4 卵・幼虫発見のシマイズセンリョウ



写真5 シマイズセンリョウの幼虫



写真6 産卵位置

(いわさき いくお)

延岡市北浦町（旧北浦町）のアカシジミの記録

安本 潤一

県北部では、アカシジミ *Japonica lutea* が延岡市上伊形町等の内陸部に生息することは以前より知られているが、近年、延岡市南部の鯛名町、妙見町、愛宕山等の海岸付近の低標高地でも目撃、採集された。

さらに、中野(2005)は延岡市の南に隣接する門川町で本種を採集、目撃している。

市の北部では、安本(2003)が、海岸に近い熊野江町鏡山東南麓で本種を目撃している。今回、筆者らは、熊野江町のさらに北に位置する延岡市北浦町森山林道にて本種を採集しているので報告する。森山林道では、本種は数ヶ所で見られ、北浦町、南浦地区には広く分布している可能性がある。また、採集された個体は、新鮮な個体であった。

《データ》 アカシジミ *Japonica lutea*

4 ♀ 2 ♂	2007 年 5 月 26 日	延岡市北浦町森山林道	安本潤一採集
1 ♀	2007 年 5 月 26 日	延岡市北浦町森山林道	安本千佳採集

《参考文献》

中野 淳 (2005) 門川町のアカシジミ採集記録 タテハモドキ No.41

怒和貞賞 (1999) 延岡市鯛名でアカシジミ目撃 宮崎の蝶 61 号

安本潤一 (2000) VII. 昆虫 iii) チョウ, 延岡市環境基本計画 自然環境調査報告書, 延岡市

安本潤一 (2000) 6-1 チョウ類データ, 延岡市環境基本計画 自然環境調査データ集, 延岡市

安本潤一 (2001) IV. 昆虫補足調査 ii) チョウ, 延岡市環境基本計画 自然環境補足調査報告書
及びデータ集, 延岡市

安本潤一(2001) 延岡市のチョウ, 宮崎の蝶 64 号

山本久男(1999) 延岡市内における最近の「アカシジミ」採集記録, 宮崎の蝶 61 号

(やすもと じゅんいち: 延岡市野田町 5125-1)

高千穂町秋元のウラキンシジミの記録

安本 潤一

高崎(1985)は、ウラキンシジミ *Ussuriana stygiana* が、宮崎県内では北西部型の分布をし、シオジやコバノトネリコなどの自生する標高 300 ~ 1,500 m までの広い垂直分布をしていると述べた。それによると、高千穂町では、祖母山、岩戸、上岩戸、押方二上山、上野親父山に、日之影町では、見立、大崩山下小積谷、鹿川林道等に分布している。筆者は、高千穂町秋元でシオジのパラシュートで終令幼虫を採集しているので、新産地として報告する。

2007 年 5 月 3 日、シオジのパラシュートで終令幼虫を 1 頭採集したが、時期が早すぎると考え、12 日に再び訪れたが、4 幼虫採集に終わった。沢筋に数本のシオジが見られるが、本種の個体数はあま

り多くないようである。

発表にあたり、アドバイスを頂いた阿部祐侍氏に厚くお礼申し上げる。

《データ》

ウラキンシジミ 終令幼虫 1頭 2007年5月3日 高千穂町秋元 安本潤一

終令幼虫 4頭 2007年5月12日 高千穂町秋元 安本潤一

(いずれもシオジのパラシュート)

オナガシジミ 幼虫1頭(オニグルミより) 2007年5月3日 高千穂町秋元 安本潤一

スジグロシロチョウ 1♀4♂ 2007年5月12日 高千穂町秋元 安本潤一

ヤマトスジグロシロチョウ 1♀4♂ 2007年5月12日 高千穂町秋元 安本潤一

《参考文献》

高崎浩一朗(1985)宮崎県の *Zephyrus* (その2) 分布の概要 宮崎の蝶 No.33

(やすもと じゅんいち: 延岡市野田町5 1 2 5 - 1)

延岡市のメスアカムラサキの記録

安本 潤一 川野雅喜

県北部では、メスアカムラサキ *Hypolimnas misippus* は、過去を目撃・採集記録が20例以上あり、数年に1度の割合で記録されている。最近では、2006年8月に日向市米ノ山1♂採集、2000年9月に門川町遠見山と延岡市天下町で各1♂採集の記録がある。

筆者らは、2007年9月、延岡市の南部 下伊形町において、本種の成虫、幼虫を観察、採集しているのを報告する。

川野は、9月1日、下伊形町にて産卵を繰り返している本種♀を確認した。ここは、スベリヒユが畳十畳ほどの所にびっしり生えていて、そこに産卵を繰り返していたため2次的な発生が期待された。その後、9月23日に再び当地を訪れると、スベリヒユは完全に除草されていたが、交尾中の個体を含む数頭が観察され、29日にも2♂が見られた。

《データ1》 メスアカムラサキ *Hypolimnas misippus*

1♀目撃 2007年9月1日 延岡市下伊形町 川野雅喜

1♀3♂目撃(うち1♀1♂は交尾中) 2007年9月23日 延岡市下伊形町 川野雅喜

2♂目撃 2007年9月29日 延岡市下伊形町 川野雅喜

安本は、川野の情報をもとに9月30日に下伊形町周辺の調査を行った。成虫は発見できなかったが、スベリヒユより中令幼虫2頭を採集した。なお、その後10月23日にも調査を行ったが、成虫、幼虫共に未発見に終わった。

《データ2》 メスアカムラサキ *Hypolimnas misippus*

2幼虫採集(スベリヒユより) 2007年9月30日 延岡市下伊形町 安本潤一

この幼虫は、10月21日、同26日に各1♀合計2♀が羽化した。

《参考文献》

中野 淳 (2006) 日向市米ノ山での迷蝶採集記録 タテハモドキ No.42

安本潤一 (2000) VII. 昆虫 iii) チョウ, 延岡市環境基本計画 自然環境調査報告書, 延岡市

安本潤一 (2000) 6-1 チョウ類データ, 延岡市環境基本計画 自然環境調査データ集, 延岡市

安本潤一 (2001) IV. 昆虫補足調査 ii) チョウ, 延岡市環境基本計画 自然環境補足調査報告書
及びデータ集, 延岡市

安本潤一 (2001) 延岡市のチョウ, 宮崎の蝶 64 号

(やすもと じゅんいち: 宮崎県延岡市野田町 5 1 2 5-1)

(かわの まさき: 大分県大分市葛木 9 8 2-5)

ウラキシジミ3令幼虫のパラシュート

安本 潤一

ウラキシジミ *Ussuriana stygiana* は、蛹化前の終令幼虫が、食樹の葉の主脈をかみ切って、これと共に落下して地上に降りる（パラシュート）ことはよく知られているが、筆者は、終令幼虫に混じって3令幼虫が落下していたのを採集したので報告する。この幼虫は、採集後も餌を食べ、3日後に終令となり順調に成長を続け、最終的に羽化した。

《データ》

3令幼虫採集 2006年5月4日 熊本県山江村宇那川林道 安本潤一

シオジの樹下に落ちていた小葉についていた。

この幼虫は、5月7日に終令幼虫となり、その後蛹化、羽化した。

(やすもと じゅんいち: 延岡市野田町 5 1 2 5-1)

ウラキシジミパラシュート落下直後の観察

安本 潤一

筆者は、ウラキシジミ *Ussuriana stygiana* の幼虫を採集していた際、たまたまシオジの小葉（3枚葉）が目の前に落ち、それに終令幼虫がついていた。その3枚葉の小葉は、葉裏が上になって落ち、幼虫は真ん中の小葉の葉先と反対側に頭を向け静止していた。切り口は新鮮であったが、幼虫までの距離は数cmあった。また、3枚の小葉には食痕はなかった。試しに、この3枚葉を何回か空中に放り投げてみたが、いずれも幼虫が静止している葉裏が上になって落ちてきた。

パラシュート落下直後の幼虫が、切り口から少し離れた位置に静止していたことから（落下中に数cmは移動できないのではと推測）、幼虫が最後まで主脈をかみ切って落ちるのではなく、ある程度かみ切った葉の先に幼虫がいる状態で、風など何かの拍子に主脈が切れて幼虫が落下するのではないかと推測してみた。いかがでしょうか。

《データ》

ウラキシジミ終令幼虫 1 頭

2006 年 5 月 14 日 13 時 30 分落下

熊本県八代市（旧泉村）八軒谷 シオジ樹下にて

（やすもと じゅんいち：延岡市野田町 5 1 2 5 - 1）

オオルリシジミの興味深い観察例

川越 健一

オオルリシジミの幼虫、蛹はアリとの共生関係があることは知られているが、筆者は今回成虫にも数頭のアリがまとわり付いているのを観察したので報告しておきたい。

《データ》

オオルリシジミ *Shijimiaeoides divina (asonis Matsumura)*

調査地 : 熊本県阿蘇郡高森町

調査日 : 2007 年 5 月 4 日

写真で見ると羽化したばかりの新鮮な個体であった。おそらく蛹に付いていたアリが羽化により這い上がった成虫にそのままついて来たものであろう。アリは成虫の体を盛んになめ回していた。

撮影後死んでいるのではと思い刺激を与えたらア리를振り払い飛び去ったため雌雄の確認はできていない。



（かわごえ けんいち）

延岡市のアオマツムシの記録

安本 潤一

筆者は、延岡市においてアオマツムシ *Triljalina hibinonis* を 2006 年 8 ～ 9 月に採集しているので報告する。

《データ》

種名：アオマツムシ *Triljalina hibinonis*

1 頭写真撮影、2006 年 8 月 5 日、延岡市野地町 6 丁目：安本潤一；アパートの門灯に来ていた。

1 頭採集、2006 年 8 月 21 日、延岡市野田町：安本潤一；コンビニの灯りに来ていた。

1 早採集、2006 年 9 月 1 日、延岡市野田町：安本潤一；民家の門灯に来ていた。

（やすもと じゅんいち：延岡市野田町 5 1 2 5 - 1）

宮崎市におけるタイワンオオテントウダマシの採集記録

岩切康二・笹岡康則

タイワンオオテントウダマシ *Eumorphus quadriquittatus pulchipes* Gestaecker は、テントウダマシ科の日本産最大種で、国内では対馬、国外では台湾・中国・インド・スリランカに分布している。本種は1980年に宮崎県南那珂郡北郷町で採集され記録されているが(玉嶋, 1981)、国内ではこの記録を除いて、対馬以外に記録されている地域は知られていない。筆者の一人である笹岡は、2007年5月7日に宮崎市高岡町内ノ八重で本種を採集したので、ここに報告する。

1ex, 7. V. 2007, 宮崎県宮崎市高岡町内ノ八重, 笹岡康則採集, 岩切康二標本保管

畑と林の間に細い道路が走っており、その道路脇に積まれた広葉樹の伐採木上で本種を発見した(図1)。道路横の林は主にスギ植林で、道路沿いの林縁にコナラやアラカシの広葉樹が見られる(図3)。また、標高は約100mである。本種の分布状況から考えると、何らかの人為的な行為により対馬もしくは台湾より侵入したのではないかと考えられるが、周囲の状況からはその原因を特定できなかった。この地域に定着しているかどうかはまだ不明なので、今後継続的に観察していきたい。末筆ながら、本種の記録についての質問に対応してくださった今坂正一氏、木野田毅氏にお礼申し上げる。

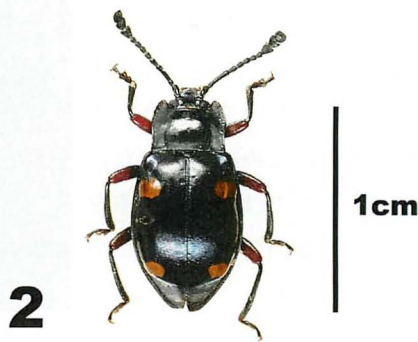


図1-4 1. 発見した時の様子 2. 保管標本 3. 生息環境 4. 採集地点

参考文献

玉嶋勝範, 1981. タイワンオオテントウダマシ宮崎県に産す. タテハモドキ, (16):27

森本桂監修, 2007. 新訂原色昆虫大図鑑Ⅱ (甲虫篇). 北隆館, 東京

(いわきり こうじ・ささおか やすのり)

宮崎県内でオオゲンゴロウを採集

岩崎郁雄・末永英規

オオゲンゴロウ（別名：ゲンゴロウ、ダダゲン）*Cybister (Cybister) japonicus* Sharp, 1873 は、確実に標本が確認されているものは、宮崎市で採集された戦前のものしかない。しかしながら、近年、鹿児島県境での記録や宮崎県のものと思われる個体が販売されていたなど、現在でも少数ながら県内に生息するものと見られていた。筆者は、山間部に生息しているとの予測から探していたが、2007 年 5 月に確認することができたので報告する。

なお、本種は乱獲の恐れがあるため詳細な産地や状況についての公表は避けることにする。

《データ》

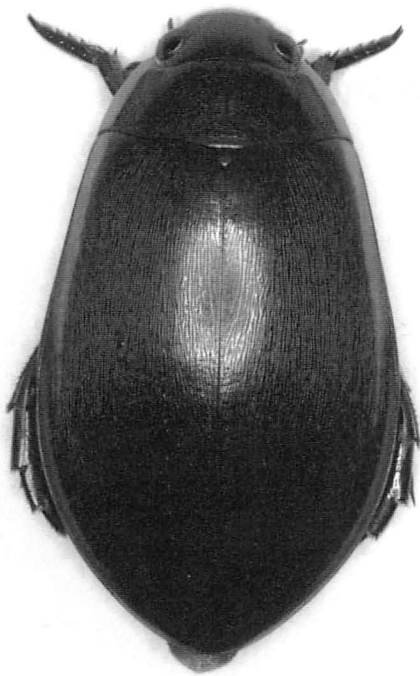
オオゲンゴロウ 1 ♀ 採集

採集日 2007 年 5 月 4 日

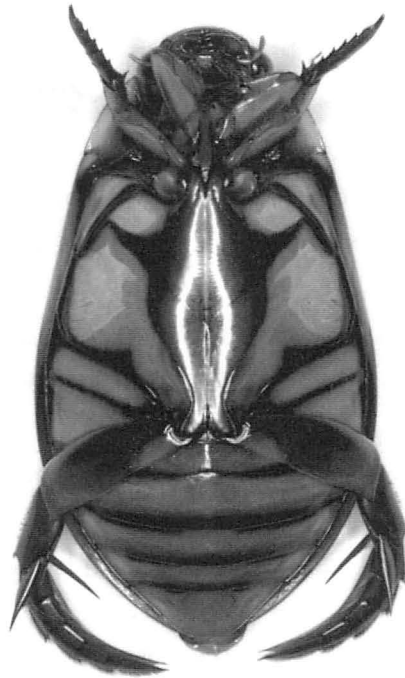
採集地 宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町

採集者 末永英規

標本保管 岩崎郁雄



背 面



腹 面

(いわさき いくお：宮崎市本郷北方 4353-31)

(すえなが ひでき：宮崎市小松台北町 33-5)

アカハネムシがツチハンミョウの死骸を摂食

末永 英規

3月に美郷町南郷区へ行った折り、興味深いものを見たのでここに報告する。畑のあぜ道で、アカハネムシが集まり、何かを摂食していたのでよく見てみると、踏みつぶされたツチハンミョウの死骸を摂食していた。数匹が集まり摂食していたが、しばらく摂食しては離れた場所へ移動し、再びツチハンミョウを摂食しはじめるなど、何かに引き寄せられるように集まっていた。ツチハンミョウの成分に、アカハネムシを引き寄せるようなものが含まれているのかは分からないが、面白い現象に思えたので記録する。



(すえなが ひでき : 宮崎市郡司分甲 888)

タカハシトゲゾウムシの記録

木野田 毅

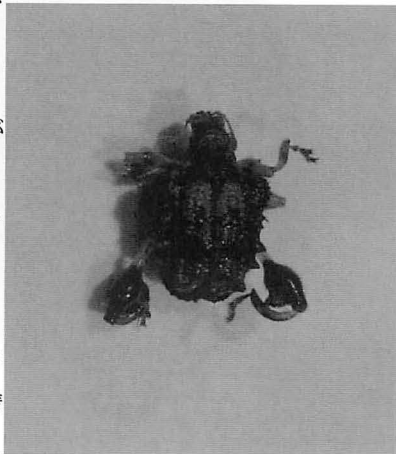
筆者は、2007年3月31日の午後、都農町の尾鈴山キャンプ場にて、サクラ(ソメイヨシノ)の花のスィーピングで、タカハシトゲゾウムシを1頭採集しているので、ここに報告します。

本種は、宮崎県初記録。大分昆虫同好会の三宅武氏によると、九州では対馬・福岡・大分(二豊のむしNo. 45に発表)に記録があるとのこと。

いずれも個体数が少なく、福岡・大分ではレッドデータブック掲載種となっています。

ホストはサクラ類、モモ(?), 潜葉虫とされています。

早春のサクラの花のスィーピングについて、アドバイスを下さいました、大分昆虫同好会 堤内雄二様、本種について貴重な情報をいただきました三宅武氏に、紙面を借りてお礼申し上げます。



タカハシトゲゾウムシ *Dinorhopala takashii* (Kôno)

1 ex. 31. III. 2007 都農町尾鈴山キャンプ場 4831-3347

(きのだ たけし : 日向市比良町3丁目90)

宮崎県内甲虫類の記録

木野田 毅

県内で採集した甲虫で、ついつい報告せずたまっていた甲虫や 2007 年に採集した甲虫を報告します。20 年ほど前の記録等もあり心苦しいのですが、ご容赦下さい。

メッシュコード後の*は、日向市史の調査の際、分布記録として提出しています。

ハンミョウ科の学名については、芦田久氏(京都大学大学院生命科学研究科)のチェックリスト(昆虫と自然 42(8), 2007)に従っています。

ミヤマルリハナカミキリは、堤内雄二氏採集のもので、この紙面への発表の許可をいただき、標本も私が保管させていただいています。宮崎県初記録です。

また、ケシキスイ科は 1994 年前後に、秋田勝巳氏に同定をしていただいています。タテハモドキ 33 号にも一部報告していますが、その続きとしては大変遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。

リングカミキリ類については、日下部良康氏に同定をしていただいています。大変遅い報告ですが改めて感謝申し上げます。

ヒメハナカミキリ類については、水野弘造氏に同定をしていただきました。改めて感謝申し上げます。また、今坂正一氏には、同定や分布について多くのことをご教授頂きました。ありがとうございました。

採集者としての、酒井健太君(当時、日向市立富島中学校生徒)、石本雄太君、伊藤理恵さん、小野貴嗣君、高山慎吾君、松本 聡君(当時、北川町立祝子川小学校児童)、田村祐貴君(現日向中学校 2 年生)、黒木重吉祝子川小学校教諭、延岡市でお世話になっていた児玉重信氏、本同好会の朝日延太郎氏、安本潤一氏、岩崎郁雄氏に感謝申し上げます。そして、職場で出会った甲虫をせっせと自宅に持ち帰ってくれた妻の利子、時々採集をして一緒に標本づくりを楽しんだ長女の絢子と長男の保宏にも、心から感謝しています。

(訂正) タテハモドキ 32 号(1996 年)にアオハナムグリとして報告した以下の個体は、ナミハナムグリ *Cetonia pilifera* (Motschulsky, 1860) の間違いでした。ここにお詫びして訂正いたします。

北川町上祝子 小岩屋 : 1 ex. (→♂) 6. IX. 1993 ; 1 ♂, 2 ♀. V. 1995 ; 1 ♀ (→♂) 5. VI. 1995

- 1 アイヌハンミョウ *Cicindela gemmata aino* Lewis, 1891

北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♀, 1 ♀. VI. 1994

- 2 ニワハンミョウ *Cicindela japana* Motschulsky, 1857

延岡市桧山林道 4931-0417 : 1 ♂, 3. V. 1994

北川町落水の滝 4931-0444 : 1 ♂, 3. VII. 1994

- 宮崎市市民の森 4730-7357 : 1 ex. 25. VII. 1996 (甲虫メモNo.1 より再掲)
- 日向市不動寺 4831-5429 : 1 ex. 22. IV. 2001
- 日向市西川内 4831-5428 : 1 ex. 3. V. 2001
- 3 ハンミョウ *Cicindela japonica* Thunberg, 1781
- 北川町下赤・下赤中学校 4931-0590 : 1 ♂, 21. VII. 1993
- 日向市日知屋・富島中学校 4831-4591 : 1 ex. 26. VIII. 1999 酒井健太 leg.
- 日向市西川内 4831-5417 * : 1 ex. 6. V. 2001
- 日向市日の平 4831-4436 * : 1 ex. 3. VI. 2001
- 日向市櫛ノ山 4831-4591 : 1 ex. 28. IX. 2001
- 西郷村田代・森の科学館 4831-5314 : 1 ♂, 3. VII. 2002
- 4 ハラビロハンミョウ *Calomera angulata* (Fabricius, 1798)
- 日向市小倉ヶ浜 4831-4560 : 2 exs. 1. V. 1999 ; 6 exs. 2. V. 1999
- 5 イカリモンハンミョウ *Abroscelis anchoralis punctatissima* (Schaum, 1863)
- 日向市宮ノ上 平岩 4831-4540 : 9 exs. 6. VII. 1997
- 日向市小倉ヶ浜 4831-4581 : 2 ♂ 1 ♀, 17. VII. 2006
- 日向市小倉ヶ浜 4831-4571 : 1 ♂ 3 ♀, 17. VII. 2006
- 6 ヒメオサムシ *Carabus japonicus japonicus* Motschulsky
- 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 2 ♀, 13. VI. 1994 ; 1 ♂ 8 ♀, 15. IX. 1995
- 北川町上祝子 大野原谷 4931-0483 : 1 ♂, 29. VI. 1995
- えびの市上江小学校・霧島分校 4730-7699 : 1 ♂, 25. XII. 2005
- 7 オオオサムシ *Carabus dehaanii dehaanii* Chaudoir
- 北川町上祝子 巣野津屋 4931-0474 : 1 ♀, 16. V. 1994 石本雄太 leg.
- 8 ホソムネクロナガオサムシ *Leptocarabus procerulus miyakei* (Nakane)
- 延岡市上祝子 大崩山登山口 4931-0483 : 3 ♂ 3 ♀, 17. X. 2007
- 北川町上祝子 三里河原 4931-0493 : 1 ♀, 5. V. 1994
- 9 キュウシュウクロナガオサムシ *Leptocarabus kyushuensis kyushuensis* (Nakane)
- 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♀, 15. VI. 1995 木野田利子 leg. ; 1 ♂, 26. IX. 1995
- 延岡市上祝子 大崩山登山口 4931-0483 : 1 ♀. 4. XI. 2007
- ; 1 ♂, 30. IX. 1995
- 延岡市行藤町 行藤神社付近 4831-7436 : 1 ♂ 1 ♀, 24. X. 2006
- 延岡市上祝子 大崩山登山口 4931-0483 : 1 ♀, 17. X. 2007 ; 1 ♂ 3 ♀. 4. XI. 2007
- 10 マイマイカブリ *Damaster blaptoides blaptoides* Kollar
- 西郷村田代・森の科学館 4831-5314 : 1 ex. 4. VII. 2002
- 11 ヒメガムシ *Sternolophus rufipes* (Fabricius)
- 延岡市上祝子・旧祝子川小中学校プール 4931-0465 : 1 ex. 4. XI. 2007

- 1 2 ルリエンマムシ *Saprinus splendens* (Paykull)
宮崎市市民の森 4730-7357 : 3 exs. 25. VII. 1996(甲虫メモNo.1より再掲)
- 1 3 コエンマムシ *Margarinotus niponicus* (Lewis)
宮崎市市民の森 4730-7357 : 3 exs. 25. VII. 1996(甲虫メモNo.1より再掲)
- 1 4 ハイイロハネカクシ *Eucibdelus japonicus* Sharp
宮崎市市民の森 4730-7357 : 1 ex. 25. VII. 1996(甲虫メモNo.1より再掲)
- 1 5 ノコリギクワガタ *Prosopocoilus inclinatus inclinatus* (Motschulsky)
日向市日の平 4831-4446 : 2♂, 27. VII. 2001
えびの市上江・上江中学校 4830-0637 : 1♂, 7. VII. 2005
- 1 6 コクワガタ *Dorcus rectus rectus* (Motschulsky)
日向市日知屋・富島中学校 4831-4591 : 1♂. 8. VII. 1997
日向市美砂 4831-4560 : 1♂, 11. VII. 1999
- 1 7 ヒラタクワガタ *Dorcus titanus pilifer* (Vollenhoven)
田野町片井野 7431-5260 : 1♂, 18. VIII. 1996
えびの市上江・上江中学校 4830-0637 : 1♂, 30. VIII. 2005
- 1 8 オオセンチコガネ *Phelotrupes auratus auratus* (Motschulsky, 1857)
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1♂, 1. VII. 1994
北川町大崩山 ワク塚登山道 4931-1401 : 1♂1♀, 5. VIII. 1994 (♂は金緑色の金属光沢)
日之影町杉ヶ越峠 4931-1470 : 4♂3♀, 21. X. 2006
日向市田口原・越表小学校 4831-4311 : 1♂1♀, 25. VII. 2007 木野田利子 leg.; 1♀,
17. VIII. 2007 利子 leg.; 1♀, 27. VIII. 2007 利子 leg.; 2♂, 12. IX. 2007 利子 leg.;
1♂1♀, 23. X. 2007 利子 leg.
- 1 9 センチコガネ *Phelotrupes laevistriatus* (Motschulsky, 1857)
延岡市無鹿町 4831-7525 : 1♀, 6. X. 1990(濃紫色); 1♀, 1. X. 1991(薄い緑色)
延岡市大峽町 4831-7553 : 1♀, 6. X. 1991(深青色)
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1♂, 21. X. 1993 黒木重吉 leg.; 1♀, 23. X. 1993
; 1♀, 4. XI. 1993; 2♀, 6. XI. 1993; 1♀, 15. V. 1994; 1♂1♀, 3. VI. 1994
; 2♂1♀, 13. VI. 1994; 1♀, 15. IX. 1995
北川町大崩山 上ワク塚 4931-0491 : 2♂1♀, 3. XI. 1993
北川町上祝子 大崩山荘 4931-0492 : 1♂, 11. VII. 1994
えびの市大字上江・上江中学校 4830-0637 : 1♀, 28. IX. 2004
延岡市行藤町 行藤神社付近 4831-7436 : 1♂, 9. IX. 2006
日之影町杉ヶ越峠 4931-1470 : 3♂1♀, 15. X. 2006; 1♀, 13. X. 2007
日向市大字富高・日向中学校 4831-5409 : 1♀, 24. VI. 2007
延岡市行藤町 むかばき青少年自然の家 4831-7436 : 1♀, 1. VII. 2007

延岡市(旧北川町)上祝子 巢ノ津屋 4931-0474 : 1 ♀, 1 7. VIII. 2007

日向市田口原・越表小学校 4831-4311 : 1 ♂ 1 ♀, 1 2. IX. 2007 木野田利子 leg. ; 1 ♂,
1 4. IX. 2007 利子 leg. ; 2 ♀, 1 5. X. 2007 利子 leg. ; 1 ♂, 2 3. X. 2007 利子 leg.
; 1 ♀, 3 1. X. 2007 利子 leg. ; 1 ♂ 1 ♀, 1 6. XI. 2007 利子 leg. ; 1 ♂. 1 9.
XI. 2007 利子 leg.

延岡市上祝子 大崩山登山口 4931-0483 4 ♂ 3 ♀ 1 7. X. 2007 ; 1 7 ♂ 1 1 ♀, 4. XI.
2007

2 0 ゴホンダイコクコガネ *Copris acutidens* Motschulsky

北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♀, 1 7. IX. 1993 ; 1 ♀, 3 0. VIII. 1995 ; 1 ♀,
2 6. IX. 1995

日之影町見立溪谷 見立谷入口 4931-1364 : 1 ♂ 1 ♀, 2 1. X. 2006

2 1 コブマルエンマコガネ *Onthophagus atripennis* Waterhouse

宮崎市市民の森 4730-7357 : 1 ♂, 2 5. VII. 1996(甲虫メモNo.1 より再掲)

2 2 セマダラマグソコガネ *Aphodius nigrotessellatus* Motschulsky

宮崎市大塚町 4731-6392 : 1 ♀, 1 7. I. 1997 利子 leg.

2 3 クロコガネ *Holotrichia kiotoensis* Brenske

日向市富高・日向中学校 4831-5409 : 1 ♂, 2 9. V. 2007

2 4 コイチャコガネ *Adoretus tenuimaculatus* Waterhouse,1875

日向市比良町3丁目 4831-4499 : 1 ex. 2 0. VI. 1997

2 5 セマダラコガネ *Blitopertha orientalis* Waterhouse

日向市比良町3丁目 4831-4499 : 1 ex. 18. VI. 1997

2 6 オオスジコガネ *Mimela costata* Hope

宮崎市市民の森 4730-7357 : 1 ♂, 2 5. VII. 1996(甲虫メモNo.1 より再掲)

2 7 ヤマトアオドウガネ *Anomala japonica* Arrow

宮崎市市民の森 4730-7357 : 1 ♂, 2 5. VII. 1996(甲虫メモNo.1 より再掲)

2 8 ジュウシチホシハナムグリ *Paratrichius septemdecimaguttatus* (Snellen van Vollenhoven,1864)

延岡市柚の木田町 4831-7515 : 1 ♂, 2 5. VI. 1992

田野町堀口 4731-6245 : 1 ♂ 1 ♀, 2 3. V. 1993

宮崎市市民の森 4730-7357 : 1 ♀, 2 5. VII. 1996(甲虫メモNo.1 より再掲)

2 9 ヒメトラハナムグリ *Trichius succinctus* Pallas

延岡市桧山林道 4931-0417 : 1 ♀, 2 0. VIII. 2003

3 0 カナブン *Rhomborrhina japonica* Hope

田野町鰐塚山 4731-5211 : 1 ex. 2 5. VII. 1992

3 1 ナミハナムグリ *Cetonia pilifera* (Motschulsky,1860)

延岡市追内町 4831-7528 : 1 ♂, 4. V. 1992

- 田野町鰐塚山 4731-5211 : 1 ♀, 25. VII. 1992
- 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂ 1 ♀, 7. VI. 1993 ; 1 ♀, 22. VIII. 1993 ; 1 ♂, 17. VII. 1994 ; 2 ♀, 2. VI. 1995
- 宮崎市市民の森 4730-7357 : 1 ♂, 23. V. 1996
- 日向市富高 西川内 4831-5428 : 1 ♂, 3. V. 2001
- 日向市富高・日向中学校 4831-5409 : 2 ♂ 3 ♀, 11. IV. 2007
- 32 カブトムシ *Allomyrina dichotoma septentrionalis* (K no)
- 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♀, 4. VIII. 1994 ; 1 ♀, 6. VIII. 1994 ; 1 ♀, 6. VIII. 1995
- 田野町片井野林道 7431-5260 : 1 ♂. 18. VIII. 1996
- 東郷町牧水公園 4831-4337 : 1 ♂. 21. VII. 1997
- 日向市日の平 4831-4446 : 1 ♂ 1 ♀, 27. VII. 2001
- 33 コアオハナムグリ *Oxycetonia jucunda jucunda* Faldermann
- 延岡市行藤町 : 1 ♀, 8. V. 1989
- 延岡市高平山 4831-7510 : 1 ♀, 14. V. 1989
- 延岡市柚の木田町 4831-7515 : 1 ♀, 7. V. 1992
- 田野町八重 4731-6221 : 1 ♀, 23. V. 1993
- 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 21. X. 1993 黒木重吉 leg.
- 綾町北俣 4831-0201 : 1 ♀, 20. V. 1994
- 田野町片井野林道 7431-5260 : 1 ♀, 17. VIII. 1996
- 日向市不動寺 4831-5429 : 2 ♀, 22. IV. 2001
- 34 ムネクリイロボタル *Cyphonocerus ruficollis* Kiesenwetter
- 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 24. V. 1993
- えびの市上江・上江中学校 4830-0637 : 1 ♀, 21. V. 2005
- えびの市上江・上江中学校 4830-0637 : 1 ♂, 25. V. 2005
- 35 ゲンジボタル *Luciola cruciata* Motschulsky
- 日向市富高 4831-5419 : 2 ♀, 15. V. 1997 木野田絢子 leg. ; 2 ♀, 15. V. 1997 木野田保宏 leg. ; 1 ♀, 17. VI. 1999
- えびの市上江・上江中学校 4830-0637 : 1 ♂, 27. V. 2005
- えびの市末永 田代 4830-0619 : 6 ♂, 25. V. 2005 ; 4 ♂, 6. VI. 2005 ; 2 ♀, 14. VI. 2005
- 36 ヘイケボタル *Luciola lateralis* Motschulsky
- 延岡市差木野町 : 1 ♀, 19. VII. 1992
- 日向市富高 : 3 ♂ 4 ♀, 17. VI. 1999
- 日向市塩見 4831-5408 : 1 ♂, 2. VI. 2001
- えびの市末永 田代 4830-0619 : 2 ♂, 6. VI. 2005

- 3 7 ヒメボタル *Hotaria parvula* (Kiesenwetter)
北川町上祝子 巢ノ津屋 4931-0474 : 5 ♂, 2 ♀. VI. 1993
- 3 8 オオオバボタル *Lucidina accensa* Gorham
延岡市宮ヶ谷 4831-7499 : 1 ♂, 1 ♀. V. 1987
北川町上祝子 三里河原 4931-1401 : 1 ♂, 1 ♀. VII. 1994
- 3 9 オバボタル *Lucidina biplagiata* (Motschulsky)
延岡市追内町 4831-7528 : 1 ♂, 4 ♀. V. 1992
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 1 ♀. VII. 1994
日向市富高 西川内 4831-5428 : 1 ♀, 3 ♀. V. 2001 ; 3 ♂, 6 ♀. V. 2001 ; 1 ♂ 1 ♀, 3 ♀. VI. 2001
- えびの市上江・上江中学校 4830-0637 : 1 ♂, 2 ♀. V. 2005
日向市田口原・越表小学校 4831-4311 : 1 ♀, 1 ♀. V. 2007 利子 leg.
- 4 0 シロオビマルカツオブシムシ *Anthrenus nipponensis* Kalik et N.Ohbayashi
延岡市大貫町 : 1 ex. 1 ♀. X. 1990
- 4 1 ヒメマルカツオブシムシ *Anthrenus verbasci* (Linn)
延岡市古城町 : 6 exs. 9 ♀. V. 1986
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 2 exs. 1 ♀. V. 1995
- 4 2 チビケカツオブシムシ *Trinodes rufescens* Reitter
日向市田口原・越表小学校 4831-4311 : 1 ♀, 2 ♀. V. 2007 利子 leg.
- 4 3 セマダラナガシンクイ *Lichenophanes carinipennis* Lesne
延岡市大貫町 : 2 exs. 2 ♀. VI. 1987
延岡市西階町 金堂ヶ池 4831-6571 : 1 ex. 1 ♀. VII. 1988
- 4 4 ナガヒョウホシムシ *Ptinus japonicus* Reitter
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 8 ♀. III. 1996
日向市比良町3丁目 4831-4499 : 1 ♂, 1 ♀. II. 2007
- 4 5 イガラシカッコウムシ *Falsotillus igarashii* (K no,1930)
北川町上祝子 大野原林道 4931-0483 : 2 exs. 2 ♀. VI. 1995
田野町神田 鰐塚山 4731-5211 : 2 exs. 1 ♀. VII. 1996
- 4 6 ツマグロツツカッコウムシ *Tenerus hilleri* Harold
日向市富高・日向中学校 4831-5409 : 1 ex. 4 ♀. VIII. 2007
- 4 7 マルヒラタケシキスイ *Parametopia x-rubrum* Reitter
都城市荒襲 4730-6712 : 2 ♀. II. 1982 材より羽化
- 4 8 キマダラケシキスイ *Soronia japonica* Reitter
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 2 ♀. VI. 1993
- 4 9 キノコヒラタケシキスイ *Physoronia explanata* Reitter

- 日之影町見立溪谷：1 ex. 17. V. 1987
- 5 0 キベリチビケシキスイ *Meligethes violaceus* Reitter
 三股町：1 ex. 13. IV. 1980
 北川町上祝子：1 ex. 3. V. 1987
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475：1 ex. 13. V. 1993；1 ex. 2. V. 1995
- 5 1 ヨツボシオオキスイ *Helota gemmata* Gorham
 北川町上祝子 巣ノ津屋 4931-0474：1 ♀, 15. VI. 1994 石本雄太 leg.
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475：3 ♂, 17. VII. 1994；1 ♀, 20. VII. 1995
 田野町片井野林道 4731-5251：2 ♂, 17. VII. 1996
- 5 2 オオテントウ *Synonycha grandis* (Thunberg)
 日向市富高・日向中学校 4831-5409：1 ex. 8. V. 2006 田村祐貴 leg.
- 5 3 オオヒメツノゴミムシダマシ *Cryphaeus duellius* (Lewis,1894)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475：1 ex. 4. VIII. 1994；1 ex. 6. VIII. 1994
- 5 4 ユミアシゴミムシダマシ *Promethis valgipes* (Marseul)
 延岡市南方：1 ♂, 5. VII. 1984
 延岡市大貫町：1 ♂, 26. VI. 1985
 延岡市愛宕山：1 ♀, 5. X. 1986 羽化
 日向市富高・日向中学校 4831-5409：1 ♀, 29. V. 2007
- 5 5 ニシアオハムシダマシ *Arthromacra kyushuensis* Nakane,1997
 延岡市桧山谷 4931-0417：1 ♀, 23. V. 1985
 木城町板矢谷 尾鈴山：4 ♂2 ♀, 23. IV. 1987 児玉重信 leg.
 (内、1 ♂は Paratype)
 北川町上祝子：10 ♂2 ♀, 3. V. 1987
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475：1 ♂, 15. V. 1993；2 ♀, 5. VI. 1995
 北川町上祝子 大野原谷 4931-0483：3 ♂, 16. V. 1993
 北川町上祝子 巣ノ津屋 4931-0474：1 ♀, 8. V. 1994
 北川町上祝子 水流 4931-0465：1 ♀, 3. VI. 1994
 北川町上祝子 大野原林道 4931-0483：1 ♀, 5. VI. 1994
 北川町上祝子 大藪 4931-0464：2 ♂2 ♀, 5. V. 1995
 北川町上祝子 落水の滝 4931-0444：3 ♂12 ♀, 5. V. 2004
 日向市日田尾 4831-4403：3 ♂1 ♀, 30. IV. 2007
- 5 6 アカハムシダマシ *Arthromacra sumptuosa* Lewis,1895
 日向市田口原・越表小学校 4831-4311：1 ♂2 ♀, 27. V. 2007 利子 leg.
- 5 7 アトコブゴミムシダマシ *Phellopsis suberea* Lewis
 北川町上祝子 落水林道 4931-0444：6 exs. 2. VIII. 1994

- 5 8 キイロクチキムシ *Cteniopinus hypocrita* (Marseul)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 3 exs. 1 5. VI. 1985
 田野町八重 4731-6221 : 3 exs. 2 3. V. 1993
- 5 9 アオオビナガクチキ *Osphyra orientalis* (Lewis)
 北川町上祝子 : 6 exs. 1 5. VI. 1985
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 1 6. V. 1993 ; 1 ex. 2 1. V. 1995
- 6 0 ヤマトニセクビボソムシ *Pseudolotulus japonicus* (Champion)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 9. IX. 1995
- 6 1 ウスバカミキリ *Megopis sinica sinica* (White)
 北川町上祝子 小岩屋 493-0475 : 1 ♂, 3 0. VII. 1995
- 6 2 ノコギリカミキリ *Prionus insularis insularis* Motschulsky, 1857
 延岡市無鹿町 4831-7525 : 1 ♂, 1 6. VI. 1988
 椎葉村松尾 4831-5280 : 1 ♀, 1 0. VIII. 1992
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 2 3. VI. 1994 ; 1 ♀, 1 8. VII. 1995 ; 1 ♂,
 2 8. VII. 1995 ; 1 ♂, 2 9. VII. 1995
 宮崎市椿山峠 4731-5239 : 1 ♂, 1 4. VII. 1996
 日向市日の平 4831-4436 : 3 ♂, 2 7. VII. 2001
 日向市富高・日向中学校 4831-5409 : 1 ♂, 2 5. VI. 2006
- 6 3 ニセノコギリカミキリ *Prionus sejunctus* Hayashi
 延岡市大貫町 : 1 ♀, 2 5. VI. 1985
 延岡市小野町 4831-6459 : 1 ♂ 1 ♀, 2 8. VII. 1987
 延岡市西階町 金堂ヶ池 4831-6571 : 1 ♂ 1 ♀, 1 2. VII. 1988
 田野町鰐塚山 4731-5211 : 1 ♂, 2 5. VII. 1992
 椎葉村松尾 4831-5280 : 2 ♂, 1 0. VIII. 1992
- 6 4 コバネカミキリ *Psephactus remiger remiger* Harold, 1879
 延岡市小野町 4831-6459 : 1 ♀, 2 8. VII. 1987
 延岡市無鹿町 4831-7525 : 1 ♀, 8. VII. 1992
 椎葉村松尾 4831-5280 : 1 ♂, 1 0. VIII. 1992
 田野町持田 鰐塚山 4731-5211 : 1 ♀, 2 1. VII. 1996
 日向市美砂 4831-4560 : 5 ♂ 6 ♀, 1 1. VII. 1999
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 2 8. VII. 1995
- 6 5 ツシマムナクボカミキリ *Cephalallus unicolor* (Gahan, 1906)
 野尻町西角内 三ヶ野山 4731-7085 : 1 ♀, 5. VII. 1992
 延岡市西階町 金堂ヶ池 4831-6571 : 1 ♂ 1 ♀, 1 2. VII. 1992
 椎葉村松尾 4831-5280 : 1 ♂, 1 0. VIII. 1992

- 北川町上祝子 落水林道入口 4931-0465 : 1 ♂ 1 ♀, 27. VII. 1995
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 28. VII. 1995
- 66 キバネニセハムシハナカミキリ *Lemula decipiens* Bates, 1884
 延岡市稲葉崎町 4831-7544 : 1 ex. 24. IV. 1988 ; 1 ex. 25. IV. 1988
 日向市富高・日向中学校 4831-5409 : 1 ex. 11. IV. 2007
- 67 ヒナルリハナカミキリ *Dinoptera minuta* (Gebler, 1832)
 都農町尾鈴山キャンプ場 4831-3347 : 5 ♂ 6 ♀, 31. III. 2007
- 68 マルガタハナカミキリ *Judolia cometes* Bates
 日之影町日隠林道 五葉岳登山口 4931-1317 : 1 ♀, 24. VII. 1989
- 69 チャボハナカミキリ *Anoplodera misella* (Bates)
 日之影町見立溪谷 : 1 ♀, 16. V. 1987
- 70 ミヤマルリハナカミキリ *Kanekoa azumensis* (Matsushita et Tamanuki, 1942)
 都農町尾鈴山キャンプ場 4831-3347 : 1 ♀, 8. IV. 2000 堤内雄二 leg.
 (宮崎県初記録)
- 71 セスジヒメハナカミキリ *Pidonia amentata amentata*
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♀, 6. V. 1995, 小野貴嗣 leg.
- 72 フタオビノミハナカミキリ *Pidonia puziloi*
 北川町落水谷 4831-0444 : 1 ♂, 4. V. 1993
 北川町大崩山 : 1 ♀, 13. V. 1995
- 73 トサヒメハナカミキリ *Pidonia approximata*
 北川町上祝子 : 2 ♀, 3. V. 1987
 北川町上祝子 大野原林道 4931-0483 : 1 ♀, 5. VI. 1994
- 74 ニセヨコモヒメハナカミキリ *Pidonia simillima*
 北川町上祝子 : 5 ♂, 3. V. 1987 (1 ♂黒紋発達, モモグロ, 1 ♂中間型)
 北川町落水谷 4931-0444 : 1 ♂ 2 ♀, 4. V. 1993
 北川町上祝子大野原林道 4931-0483 : 5 ♂ 1 ♀, 5. VI. 1994
- 75 ツヤケシハナカミキリ *Anastrangalia scotodes scotodes* (Bates)
 北川町鏡山 4931-0630 : 1 ♂, 14. V. 1989
- 76 アカハナカミキリ *Corymbia succedanea* (Lewis)
 北郷村中小屋 4831-6371 : 1 ♀, 24. VII. 1987
 北川町鏡山 4931-0630 : 1 ♀, 29. VII. 1992
- 77 ムネアカクロハナカミキリ *Leptura dimorpha* Bates
 高千穂町 : 1 ♀, 17. VI. 1979
 延岡市行藤山 : 1 ♂, 2. IV. 1989 朝日延太郎 leg. ; 1 ♀, 8. V. 1989
- 78 ヨツスジハナカミキリ *Leptura ochraceofasciata ochrotela* Bates

- 北方町大崩山：1 ♀, 2 1. V. 1985 羽化
- 延岡市大貫町：1 ♀, 2 8. VI. 1985
- 北郷村中小屋 4831-6371：1 ♀, 2 4. VII. 1987
- 延岡市西階町：1 ♂ 1 ♀, 5. VII. 1988 羽化
- 延岡市無鹿町 4831-7525：1 ♀, 5. VII. 1992
- 日之影町日隠林道 五葉岳登山口 4931-1317：1 ♂ 1 ♀, 2 4. VII. 1989
- 田野町鰐塚山 4731-5211：1 ♀, 2 5. VII. 1992
- 宮崎市市民の森 4730-7357：1 ♂ 1 ♀, 2 5. VII. 1996(甲虫メモNo.1より再掲)
- 7 9 フタスジハナカミキリ *Nakanea vicaria vicaria* Bates
 田野町・北郷町 鰐塚山山頂 4731-5211：1 ♂, 1 1. VII. 1993 岩崎郁雄 leg.
- 8 0 オオヨツスジハナカミキリ *Macroleptura regalis* (Bates)
 田野町鰐塚山 4731-5211：1 ♂, 2 5. VII. 1992
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475：1 ♀, 2. VII. 1994；1 ♀, 9. VII. 1995
 北川町上祝子 落水林道入口 4931-0465：1 ♂, 2 7. VII. 1995
- 8 1 ジャコウホソハナカミキリ *Mimotrangalia dulcis* (Bates, 1884)
 高原町皇子ヶ原：1 ♂, 1 4. IV. 1979 羽化
- 8 2 アオスジカミキリ *Xystrocera globosa* (Olivier)
 延岡市小野町 4831-6459：1 ♀, 2 8. VII. 1987
 北川町上祝子 小岩屋 4891-0475：1 ♀, 2 5. VII. 1995；1 ♂, 3 0. VIII. 1995
- 8 3 キマダラヤマカミキリ *Aerolesthes chrysothrix chrysothrix* (Blessig)
 延岡市無鹿町 4831-7525：1 ♂, 2 2. IV. 1980
- 8 4 トゲヒゲトビイロカミキリ *Allotraeus rufescens* (Pic)
 北方町：1 ♂, 2 4. VIII. 1985
 延岡市大貫町：1 ♂, 3. VII. 1987
 延岡市西階町 金堂ヶ池 4831-6571：1 ♂ 1 ♀, 1 2. VII. 1988
 椎葉村松尾 4831-5280：1 ♀, 1 0. VIII. 1992
 北川町上祝子 小岩屋 4831-0475：1 ♀, 1 7. IX. 1993；1 ♂, 2 8. VII. 1995
- 8 5 アメイロカミキリ *Stenodryas clavigera* Bates
 延岡市大貫町：1 ♂, 2 4. V. 1987
- 8 6 カエデヒゲナガコバネカミキリ *Molorchus ishiharai* Ohbayashi
 延岡市大峽町：1 ♀, 2 3. IV. 1988
- 8 7 ヒメスギカミキリ *Palaeocallidium rufipenne* (Motschulsky)
 延岡市大峽町：1 ♀, 2 3. IV. 1988
 延岡市行簾山：1 ♂, 2 1. IV. 1989 朝日延太郎 leg.；1 ♀, 6. V. 1989
- 8 8 トラフカミキリ *Xylotrechus chinensis* (Chevrolat)

- 北川町上祝子 小岩屋 4831-0475 : 1 ex. 1 1. VII. 1993 ; 1 ex. 6. VII. 1994
- 8 9 ニイジマトラカミキリ *Xylotrechus emaciatu*s Bates
北川町上祝子 小岩屋 4831-0475 : 1 ex. 1 7. VII. 1994
- 9 0 ウスイロトラカミキリ *Xylotrechus cuneipennis* (Kraatz)
北郷村中小屋 4831-6371 : 1 ex. 2 4. VII. 1987 ; 1 ex. 1 6. VII. 1988 ; 1 ex. 2 4.
- VII. 1988
- 日之影町日隠林道 五葉岳登山口 4931-1317 : 4 exs. 2 4. VII. 1989
- 9 1 シラケトラカミキリ *Crytus melaenus* Bates
椎葉村 : 2 ♀, 1 7. VI. 1979
- 9 2 エグリトラカミキリ *Chlorophorus japonicus* (Chevrolat, 1863)
椎葉村 : 2 exs. 1 7. VI. 1979
延岡市大貫町 : 1 ex. 2 4. V. 1987
日之影町日隠林道 五葉岳登山口 4931-1317 : 6 exs. 2 4. VII. 1989
田野町鰐塚山 4731-5211 : 3 exs. 2 5. VII. 1992
日向市田口原 越表小学校 4831-4311 : 1 ex. 1 6. V. 2007 利子 leg.
- 9 3 ヨツスジトラカミキリ *Chlorophorus quinquefasciatus* (Castelnau et Gory)
延岡市大貫町 : 1 ex. 2. VII. 1986
- 9 4 タケトラカミキリ *Chlorophorus annularis* (Fabricius)
延岡市古城町・恒富中学校 4831-6572 : 1 ex. 2 1. VII. 1984
- 9 5 ヒメクロトラカミキリ *Chlorophorus diminutus* (Bates)
北川町上祝子 : 2 exs. 3. V. 1987
延岡市二ツ島 4831-7526 : 1 ex. 1 5. IV. 1988
延岡市大峽町 : 1 ex. 2 3. IV. 1988
延岡市稲葉崎町 4831-7544 : 2 exs. 2 4. IV. 1988 ; 2 exs. 2 5. IV. 1988
延岡市可愛岳 : 1 ex. 1 2. IV. 1989
- 9 6 トゲヒゲトラカミキリ *Demonax transilis* Bates
日之影町見立溪谷 : 1 ex. 1 6. V. 1987
延岡市大峽町 : 1 ♀, 2 3. IV. 1988
日之影町日隠林道 五葉岳登山口 4931-1317 : 1 ♀, 2 4. VII. 1989
- 9 7 シロトラカミキリ *Paraclytus excultus* Bates
木城町板矢谷 : 1 ex. 2 3. IV. 1987 児玉重信 leg.
- 9 8 ベニカミキリ *Purpuricenus temminckii* (Guerin-Meneville)
延岡市天下植物園 4831-6479 : 2 ♂, 1 5. V. 1987
日向市田口原・越表小学校 4831-4311 : 1 ♀, 1 6. V. 2007 利子 leg.
日向市富高・日向中学校 4831-5409 : 1 ♀, 2 7. VI. 2007

- 99 ナガゴマフカミキリ *Mesosa longipennis* Bates
 北郷村中小屋 4831-6371 : 1♂ 1♀, 24. VII. 1987 ; 1♂, 1. VI. 1988 羽化
 延岡市小野町 4831-6459 : 1♀, 28. VII. 1987
 延岡市柚ノ木田町 4831-7615 : 1♂, 2. VII. 1992
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1♂, 29. VII. 1995
- 100 アトジロサビカミキリ *Perolophia zonata* (Bates)
 延岡市大貫町 : 1♀, 25. V. 1989
- 101 トガリシロオビサビカミキリ *Perolophia caudata* (Bates)
 田野町鰐塚山 4731-5211 : 1♀, 30. V. 1987 羽化(カラスザンショウの材より)
 三股町長田 : 1♂, 20. IV. 1988 羽化(フジの蔓より) ; 1♀, 29. V. 1988 羽化(同)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1♂, 23. VI. 1994
- 102 ワモンサビカミキリ *Perolophia annulata* (Chevrolat)
 延岡市大貫町 : 1 ex. 26. V. 1987
- 103 セダカコブヤハズカミキリ *Parechthistatus gibber gibber* (Bates)
 北郷村中小屋 4831-6371 : 1♂, IV. 1989 羽化 ; 1♀, V. 1989 羽化
- 104 マツノマダラカミキリ *Monochamus alternatus* Hope
 延岡市小野町 4831-6459 : 1♂, 28. VII. 1987
- 105 ヒメヒゲナガカミキリ *Monochamus subfasciatus meridianus* Hayashi
 三股町 : 2♀, 3. VI. 1979
 延岡市無鹿町 4831-7525 : 1♀, 4. VI. 1991 ; 1♀, 16. VI. 1992
 須木村上長谷 : 1♀, 11. VII. 1993 岩崎郁雄 leg.
 北郷村中小屋 4831-6371 : 1♀, 26. V. 1988 羽化
- 106 ゴマダラカミキリ *Anoplophora malasiaca* (Thomson)
 延岡市無鹿町 4831-7525 : 1♀, 27. VI. 1987 ; 1♀, 6. VII. 1992
 北浦町三川内 4931-1613 : 1♂, 2. VIII. 1984
- 107 センノカミキリ *Acalolepta luxuriosa* (Bates)
 田野町鰐塚山 4731-5211 : 1♀, 25. VII. 1992
- 108 ビロウドカミキリ *Acalolepta fraudatorix* (Bates)
 田野町鰐塚山 4731-5211 : 2♀, 25. VII. 1992
 椎葉村松尾 4831-5280 : 1♂ 1♀, 10. VIII. 1992
- 109 ヤハズカミキリ *Uraecha bimaculata* Thomson
 延岡市西階町 : 1♀, 6. VI. 1993
- 110 キボシカミキリ *Psacotha hilaris hilaris* (Pascoe)
 北川町家田 4831-7598 : 3♀, V. 1988
 北川町上祝子 小岩屋 4831-0475 : 1♀, 6. VII. 1994 ; 1♀, 21. IX. 1995

- 1 1 1 ホシベニカミキリ *Eupromus ruber* (Dalman)
延岡市古城町 天守山 4831-6572 : 1 ♂, 2 7. VI. 1986
延岡市無鹿町 4831-7525 : 1 ♀, 1 6. V. 1992
日向市幸脇・日向サンパーク 4831-4510 : 1 ♂, 2 3. V. 1992
- 1 1 2 ヨコヤマヒゲナガカミキリ *Dolichoprosopus yokoyamai* (Gressitt, 1937)
北川町上祝子 大崩山 : 1 ♀, 4. VIII. 1994
- 1 1 3 クワカミキリ *Apriona japonica* Thomson
北川町上祝子 落水林道入口 4931-0465 : 1 ♀, 2 7. VII. 1995
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♀, 2 5. IX. 1995
- 1 1 4 シロスジカミキリ *Batocera lineolata* Chevrolat
延岡市無鹿町 4831-7525 : 1 ♀, 1 5. VII. 1979
- 1 1 5 ハラアカコブカミキリ *Moechotypa diphysis* (Pascoe)
延岡市下祝子 4931-0457 : 1 ♂ 1 ♀, 4. X I. 2007
- 1 1 6 オオシロカミキリ *Olenecamptus cretaceus* Bates
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 2 8. VII. 1995
- 1 1 7 セミスジコブヒゲカミキリ *Rhodopina lewisii lewisii* (Bates)
北郷村中小屋 4831-6371 : 1 ♀, 1 9. VII. 1988 羽化
延岡市行藤山 : 1 ♀, 1 9. VII. 1991
- 1 1 8 ヒゲナガモモブトカミキリ *Acanthocinus griseus orientalis* (Fabricius)
北川町上祝子 落水林道 4931-0465 : 1 ♂, 2 7. VII. 1995
- 1 1 9 ルリカミキリ *Bacchisa fortunei japonica* (Gohan)
延岡市天下植物園 4831-6479 : 1 ♂, 1 5. V. 1987
延岡市大貫町 : 4 ♂ 1 ♀, 4. V. 1989
- 1 2 0 ニセシラホシカミキリ *Pareutetrappa simulans* (Bates)
北川町大崩山 : 2 ♂ 6 ♀, 1 3. VII. 1985
日向市田口原・越表小学校 4831-4311 : 1 ♀, 2 8. V. 2007 利子 leg.
- 1 2 1 ラミーカミキリ *Paraglenea fortunei* (Saunders)
延岡市桧山谷 4931-0417 : 1 ♀, 2. VII. 1986
延岡市大貫町 : 1 ♂, 2 6. V. 1987
延岡市行藤山 : 1 ♂, 5. VII. 1987 ; 1 ♂, 8. V. 1989
延岡市無鹿町 4831-7525 : 1 ♂, 5. VI. 1991
延岡市柚ノ木田町 4831-7515 : 1 ♂, 1 5. VI. 1992
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 3 ♂, 2 9. V. 1994 ; 1 ♂, 3 0. V. 1994
- 1 2 2 キクスイカミキリ *Phytoecia rufiventris* Gautier des Cottes
延岡市無鹿町 4831-7525 : 1 ♀, 1 2. V. 1988

- 1 2 3 ヨツキボシカミキリ *Epiglenea comes* Bates
延岡市無鹿町 4831-7525 : 1 ♂, 2 6. V. 1988
- 1 2 4 ヒメリンゴカミキリ *Oberea hebesceus* Bates
延岡市大貫町 : 1 ♂, 2 6. V. 1987
田野町鰐塚山 4731-5211 : 1 ♂, 2 5. VII. 1992
- 1 2 5 リンゴカミキリ *Oberea japonica* (Thunberg)
延岡市行藤山 : 1 ♂, 5. VII. 1987
- 1 2 6 ホソキリンゴカミキリ *Oberea inclusa infranigrescens* Breuning
延岡市天下植物園 4831-6479 : 1 ♀, 1 5. V. 1987 (日下部良康同定)
延岡市無鹿町 4831-07525 : 1 ♀, 2 5. V. 1989 (日下部良康同定)
- 1 2 7 キイロクビナガハムシ *Lilioceris rugata* (Baly)
延岡市無鹿町 4831-07525 : 1 ex. 1 8. VII. 1991
- 1 2 8 アカクビナガハムシ *Lilioceris subpolita* (Motschulsky)
北川町上祝子 大野原谷 4931-04 : 1 ex. 2 3. IV. 1993
- 1 2 9 *Lema formosana formosana* Kuwayama
宮崎市堤内溜池群 : 1 ex. 2 1. V. 1994
Lema coronata は、中肢脛節内側に歯突起があり、区別できます。
- 1 3 0 アカクビボソハムシ *Lema diversa* Baly
田野町堀口 4731-6245 : 1 ex. 2 3. V. 1993
- 1 3 1 トホシクビボソハムシ *Lema decempunctata* Gebler
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex 2 3. X. 1994
- 1 3 2 ムナキルリハムシ *Smaragdina semiaurantiaca* (Fairmaire)
北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ex. 4. V. 1993
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 2 exs. 1 3. V. 1993
- 1 3 3 キイロナガツツハムシ *Smaragdina nipponensis* (Ch j)
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 7. V. 1995
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 2 exs. 2 1. V. 1995
- 1 3 4 バラルリツツハムシ *Cryptocephalus approximatus* Baly
北川町大崩山 : 1 ♂, 1 3. VII. 1985
北川町上祝子 : 2 ♀, 3. V. 1987
延岡市天下植物園 4831-6479 : 1 ♂, 4. V. 1987 ; 1 ♂, 1 5. V. 1987
延岡市宮ヶ谷 4831-7499 : 1 ♂ 1 ♀, 1 8. V. 1987
延岡市大峽町 : 1 ♀, 2 3. IV. 1988
延岡市大貫町 : 5 ♂ 3 ♀, 1. V. 1988 ; 1 ♂ 1 ♀, 4. V. 1989
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 1 3. IV. 1993 ; 4 ♂ 3 ♀, 2 2. IV. 1993 ; 1 ♂

2 ♀、1 1. V. 1993 ; 1 ♀, 1 3. V. 1993 ; 1 ♂, 2 4. V. 1993 ; ; 1 ♀, 6. VI. 1993
1 ♂, 8. VI. 1993 伊藤理恵 leg. ; 1 ♀, 2 9. IV. 1994 ; 1 ♂, 6. VI. 1994 ; 2 ♂ 2 ♀,
1 7. V. 1995 ; 1 ♂, 2 5. VI. 1995

北川町上祝子 矢立川谷 4931-0475 : 1 ♀, 4. V. 1993

北川町上祝子 巣ノ津屋 4931-0474 : 1 ♂, 9. VI. 1993 石本雄太 leg.

綾町北俣 : 1 ♂, 2 0. V. 1994

北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ♂, 4. V. 1993 ; 2 ♂ 4 ♀, 3. V. 1995 ; 1 ♂, 5.
V. 1995

日向市富高 西川内 4831-5428 : 4 ♂ 1 ♀, 3. V. 2001

1 3 5 キアシルリツツハムシ *Cryptocephalus fortunatus* Baly

北川町大崩山 : 1 ♂ 1 ♀, 1 3. VII. 1985

上翅の色に関して、この 1 ♂は、バラルリツツハムシのどの♂よりも青がより黒紺色。この 1
♀は、バラルリツツハムシのどの♀よりも緑色である。それ以外のバラルリツツハムシとの相違
点は、足が黄色、前胸側縁が黄色、の 2 点のみである。さらに、前述のバラルリツツハムシの（北
川町大崩山 : 1 ♂, 1 3. VII. 1985）とは、同所で同時に採れている。

以上から、筆者は *C. approximatus* と、*C. fortunatus* は、同種ではないかと想像する。

1 3 6 クロボシツツハムシ *Cryptocephalus signaticeps* Baly

延岡市大峽町 : 3 exs. 2 3. IV. 1988

延岡市追内町 4831-7528 : 1 ex. 4. V. 1992

延岡市柚ノ木田町 4831-7515 : 1 ex. 2 3. III. 1993

北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 1 7. V. 1995

1 3 7 ヨツモンクロツツハムシ *Cryptocephalus nobilis* Kraatz

北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 1. VI. 1993

1 3 8 アオバネサルハムシ *Basilepta fulvipes* (Motschulsky)

日向市比良町 4831-4499 : 2 exs. 1 7. VI. 1997

1 3 9 アカガネサルハムシ *Acrothinium gaschkevitchii* (Motschulsky)

北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 1 8. VI. 1995

1 4 0 ミドリサルハムシ *Colaspoides japanus* (Ch j)

佐土原町那珂 : 2 exs. 2 0. V. 1994

宮崎市堤内溜池群 : 1 ex. 2 1. V. 1994

佐土原町仲間原 : 1 ex. 2 1. V. 1994

1 4 1 コガタリハムシ *Gastrophysa atrocyanea* Motschulsky

延岡市大貫町 : 1 ex. 1 0. III. 1991

北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 1 6. IV. 1995 ; 1 ex. 2. V. 1995 ; 2 exs.

2. VI. 1995 ; 1 ex. 5. VI. 1995

- 北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 5 exs. 14. IV. 1994
- 142 ヨモギハムシ *Chrysolina aurichalcea* (Mannerheim)
 北川町上祝子 : 1 ex. 5. V. 1987
 延岡市柚ノ木田町 4831-7515 : 1 ex. 8. V. 1992 ; 1 ex. 14. VI. 1992 ; 2 exs. 16. VI. 1992 ; 1 ex. 16. X. 1992 木野田絢子 leg.
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 20. X. 1993 松本 聡 leg.
 日向市比良町3丁目 4831-5599 : 1 ex. 15. V. 1997 利子 leg.
- 143 ハッカハムシ *Chrysolina exanthematica* (Wiedemann)
 延岡市大貫町 : 1 ex. 12. X. 1986
- 144 ドロノキハムシ *Chrysomela populi* Linn
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 2. VI. 1995
- 145 ヤナギハムシ *Chrysomela vigintipunctata* (Scopoli)
 延岡市柚ノ木田町 4831-7515 : 2 exs. 7. V. 1992 ; 1 ex. 8. V. 1992 ; 2 exs. 10. V. 1992
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 11. V. 1993 ; 1 ex. 4. VI. 1993 伊藤理恵 leg.
 北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 3 exs. 3. V. 1995
- 146 フジハムシ *Gonioctena rubripennis* Bary
 宮崎市堤内溜池群 : 1 ex. 21. V. 1994
 北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 2 exs. 5. V. 1995
- 147 イチゴハムシ *Galerucella grisea* (Joannis)
 佐土原町仲間原 : 1 ex. 21. V. 1994
- 148 アカタデハムシ *Pyrrhalta semifulva* (Jacoby)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 4. IV. 1994
- 149 ウリハムシ *Aulacophora femoralis* (Motschulsky)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 11. V. 1993 ; 1 ex. 31. V. 1993
- 150 クロウリハムシ *Aulacophora nigripennis* Motschulsky
 延岡市大峽町 : 1 ex. 23. IV. 1988
 延岡市野田町 : 1 ex. 24. VIII. 1993
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 16. IV. 1993 ; 1 ex. 16. IV. 1995 ; 1 ex. 17. III. 1996
- 151 アトボシハムシ *Paridea angulicollis* (Motschulsky)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 17. VI. 1995
- 152 イチモンジハムシ *Morphosphaera japonica* (Hornstedt)
 延岡市桧山谷 4931-0417 : 1 ex. 2. VII. 1986
- 153 ムナグロツヤハムシ *Arthrotus niger* Motschulsky

- 北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ex. 5. V. 1995
- 154 イタドリハムシ *Gallerucida bifasciata* Motschulsky
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 29. III. 1993 ; 1 ex. 13. IV. 1993 ; 1 ex.
 8. VII. 1993 ; 1 ex. 8. III. 1994 松本 聡 leg. ; 1 ex. 9. III. 1994 高山慎吾 leg. ; 1 ex.
 19. III. 1994 石本雄太 leg. ; 1 ex. 6. IV. 1994 利子 leg. ; 1 ex. 20. III. 1995 ; 2 exs.
 27. III. 1995 ; 1 ex. 16. IV. 1995 ; 2 exs. 2. V. 1995 ; 1 ex. 12. III. 1996 小
 野貴嗣 leg.
- 北川町上祝子 水流 4931-0464 : 1 ex. 30. III. 1994
- 北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ex. 14. IV. 1994
- 155 ヒゴトゲハムシ *Dactylispa higonae* (Lewis)
 延岡市愛宕山 4831-6563 : 3 exs. 23. IV. 1987
- 156 クロルリトゲハムシ *Rhadinosa nigrocyanea* Motschulsky
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 4. VI. 1993 伊藤理恵 leg.
- 157 カメノコハムシ *Cassida nebulosa* Linn
 延岡市無鹿町 4831-7525 : 1 ex. 5. VI. 1991
- 158 ヒメジンガサハムシ *Cassida fusciorufa* Motschulsky
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 3 exs. 13. V. 1993
- 159 セモンジンガサハムシ *Cassida versicolor* (Boheman)
 延岡市無鹿町 4831-7525 : 1 ex. 22. IV. 1988
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 6. VII. 1993
- 160 コガタカメノコハムシ *Cassida vespertina* Boheman
 延岡市大峽町 : 1 ex. 23. IV. 1988
- 161 ルイスジンガサハムシ *Thlaspidia lewisii* (Baly)
 北川町上祝子 水流 4931-0464 : 1 ex. 16. V. 1993
- 162 イチモンジカメノコハムシ *Thlaspidia cribrata* (Boheman)
 田野町八重 4731-6231 : 1 ex. 23. V. 1993
- 163 クロオビヒゲナガゾウムシ *Apolecta lewisii* Sharp
 北郷村中小屋 4831-6371 : 1 ex. 24. VII. 1987
- 164 キノコヒゲナガゾウムシ *Euparius oculatus* (Sharp)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 17. IX. 1993
- 165 カオジロヒゲナガゾウムシ *Litocerus laxus* Sharp
 北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ♂, 3. V. 1995
- 166 コナライクビチョッキリ *Deporaus unicolor* (Roelofs)
 北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ex. 3. V. 1995
- 167 マルムネチョッキリ *Chonostropheus chujo* Voss

- 北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ♂ 1 ♀, 5. V. 1995
- 168 クチブトチョッキリ *Lasiornychites brevirostris* (Roelofs)
北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ex. 5. V. 1995
- 169 キイロクビナガオトシブミ *Paracynotrachelus fulvus* Roelofs
田野町鰐塚山 4731-5211 : 1 ♀, 25. VII. 1992
ウスモンオトシブミに似るが上翅中央後の横帯の暗色部がない。
- 170 ヒメクロオトシブミ *Apoderus erythrogaster* Vollenhoven
北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 7 exs. 3. V. 1995 ; 1 ex. 5. V. 1995
- 171 カシルリオトシブミ *Euops splendidus* Voss
延岡市古城町 : 8 exs. 9. V. 1987
日向市グリーンパーク 4831-45934381-4500 : 3 exs. 27. IV. 2001
日向市日の平 4831-4446 : 2 exs. 3. VI. 2001
- 172 ナラルリオトシブミ *Euops konoii* Sawada et Morimoto
北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ♂ 1 ♀, 3. V. 1995 ; 1 ♂ 1 ♀, 5. V. 1995
- 173 アカアシホソクチゾウムシ *Apion viciae* (Paykull)
宮崎市堤内 : 1 ex. V. 1994
- 174 ヒシチビゾウムシ *Nanophyes japonicus* Roelofs
宮崎市堤内溜池群 : 1 ex. 21. V. 1994
- 175 キュウシュウヒゲボソゾウムシ *Rhyllobius rotundicollis* Roelofs
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 16. VI. 1993 ; 1 ♂, 3. VII. 1993 ; 3 ♂ 2 ♀, 5. VI. 1995
- 176 コブヒゲボソゾウムシ *Phyllobius picipes* Motschulsky
三股町 : 1 ♂, 13. IV. 1980
北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♀, 11. V. 1993 ; 1 ♀, 7. V. 1995
北川町下祝子 4931-0456 : 1 ♂, 1. VI. 1993 松本 聡 leg.
- 177 カシワクチブトゾウムシ *Myllocerus griseus* Roelofs
北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 6 exs. 3. V. 1995 ; 4 exs. 5. V. 1995
- 178 シロコブゾウムシ *Episomus turritus* Gyllenhal
延岡市無鹿町 4831-7525 : 1 ♂, 12. VII. 1991
椎葉村松尾 4831-5280 : 1 ♀, 10. VIII. 1992
- 179 ヒメシロコブゾウムシ *Derrmatoxenus caesicollis* (Gyllenhal)
日向市田口原・越表小学校 4831-4311 : 1 ex. 31. X. 2007 木野田利子 leg.
- 180 ハスジカツオゾウムシ *Lixus acutipennis* Roelofs
延岡市愛宕山 4831-6563 : 1 ex. 12. VII. 1984
延岡市柚ノ木田町 4831-7515 : 1 ex. 15. VI. 1992

- 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 2 exs. 8. VI. 1993 伊藤理恵 leg. ; 1 ex. 6. VI. 1994
 北川町上祝子 水流 4931-0464 : 1 ex. 21. VII. 1993 小野貴嗣 leg.
- 181 キスジアシナガゾウムシ *Mecyslobus flavosignatus* Roelofs
 北川町上祝子 矢立川谷 4931-0475 : 1 ex. 4. V. 1993
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♂, 2. VI. 1995
- 182 ホホジロアシナガゾウムシ *Mecyslobus erro* Pascoe
 延岡市古城町 天守山 4831-6572 : 1 ex. 25. V. 1985
- 183 オジロアシナガゾウムシ *Mesalcidodes trifidus* (Pascoe)
 延岡市愛宕山 4831-6563 : 1 ex. 20. VII. 1984
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 6. VI. 1994 ; 1 ex. 2. VI. 1995
- 184 イネミズゾウムシ *Lissorhoptrus oryzophilus* Kuschel
 佐土原町三枝池 : 3 exs. 20. V. 1994
 宮崎市堤内 : 1 ex. 21. V. 1994
- 185 レロフチビシギゾウムシ *Curculio roelofsi* Heller
 北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ♂, 3. V. 1995
- 186 ウスモンチビシギゾウムシ *Curculio minutissimus* DallaTorre et Schenkling
 北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ex. 5. V. 1995
- 187 ムモンチビシギゾウムシ *Curculio antennatus* (K no)
 北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ♂, 3. V. 1995
- 188 クリシギゾウムシ *Curculio sikkimensis* (Heller)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ♀, 17. IX. 1993
- 189 シイシギゾウムシ *Curculio hilgendorfi* (Harold)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 18. IX. 1993 ; 1 ♂, 16. X. 1993
- 190 フタキボシゾウムシ *Lepyrus japonicus* Roelofs
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 11. V. 1993
- 191 ホソアナアキゾウムシ *Dyscerus elongatus* (Roelofs)
 門川町西門川 庭谷林道 : 1 ex. 23. VII. 1987
- 192 クリアナアキゾウムシ *Dyscerus exsculptus* (Roelofs)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 25. V. 1993
- 193 リンゴアナアキゾウムシ *Dyscerus shikokuensis* (K no)
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 22. V. 1995
- 194 ハイイロトゲトゲゾウムシ *Colobodes valbum* Roelofs
 北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 22. V. 1995
- 195 マダラアシゾウムシ *Ectatorhmus adamsi* Pascoe
 延岡市大貫町 : 1 ex. 11. VII. 1985

日向市富高・日向中学校 4831-5409 : 1 ex. 29. V. 2007

196 オオゾウムシ *Slipalinus gigas* (Fabricius)

日之影町見立 4931-1314 : 3 exs. 16. V. 1987

椎葉村松尾 4831-5292 : 1 ex. 10. VIII. 1992

野尻町西角内 三ヶ野山 4731-70 : 1 ex. 5. VII. 1992

北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 7. VI. 1993 小野貴嗣 leg. ; 1 ex. 23. VI. 1993

197 オオシロオビゾウムシ *Cryptoderma fortunei* (Waterhouse)

椎葉村松尾 4831-5292 : 1 ex. 10. VIII. 1992

北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 25. IX. 1993 ; 1 ex. 9. VII. 1994

198 トホシオサゾウムシ *Aplotes roelofsi* (Chevrolat)

北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 21. V. 1993

199 ホオアカオサゾウムシ *Otidognathus jansonii* Roelofs

延岡市愛宕山 4831-6563 : 1 ex. 1989

北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ex. 2. V. 1995

200 ルイスナガキクイムシ *Platypus lewisi* Blandford

北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 1♂1♀, 4. IV. 1994

201 ミカドキクイムシ *Scolytoplatus mikado* Blandford

北川町上祝子 小岩屋 4931-0475 : 2♂2♀, 4. IV. 1994

202 マツモムシ *Notonecta triguttata* Motschulsky

延岡市上祝子・旧祝子川小中学校プール 4931-0465 : 4 exs. 4. XI. 2007

203 ミズカマキリ *Ranatra chinensis* Mayer

延岡市上祝子・旧祝子川小中学校プール 4931-0465 : 1 ex. 4. XI. 2007

本プールでは、ハイイロゲンゴロウ、プール外側の湿地ではシマゲンゴロウを目撃している。

204 ツマキチョウ *Anthocharis scolymus* Butler

日向市原町 4831-5500 : 1♂, 1. IV. 2007

205 コツバメ *Callophrys ferrea* Butler

日向市大字塩見 小原 4831-5405 : 1♀, 18. III. 2007

206 イボタガ *Brahmaea wallichii japonica* Butler

日向市大字塩見 笹河 4831-4488 : 1, 18. III. 2007

日向市原町 4831-5500 : 1♂, 12. IV. 2007

(きのだ たけし : 日向市比良町3丁目90)

タマムシ科の記録

木野田 毅

宮崎県内で採集したタマムシ科 16 種を報告します。今回、臼杵市在住の堤内雄二氏に同定をしていただきました。紙面を借りて感謝申し上げます。

また、昨年の、タテハモドキ (42), 2006 : の平成 18 年の昆虫散見の中で発表した、アオタマムシは、クロタマムシの誤同定でした。紙面を借りて訂正・お詫び申し上げます。この件に関しても、同定をしていただきました堤内雄二氏に感謝申し上げます。

(誤) アオタマムシ *Eurythyrea tenuistriata* Lewis

(正) クロタマムシ *Buprestis haemorrhoidalis* Herbst

1 ♂ 1. VII. 2006 日向市比良町 3 丁目 4831-4499 木野田利子採集 (自宅玄関にて拾う)

1 ウバタマムシ *Chalcophora japonica japonica* (Gory)

北川町上祝子小岩屋 4931-0475 : 1 ♀, 27. V. 1994

日向市小倉ヶ浜 4831-4571 : 1 ♂, 2. V. 1999

宮崎市市民の森 4731-7357 : 1 ♂, 23. VI. 1996

2 タマムシ *Chrysochroa fulgidissima* (Sch nherr)

えびの市大字原田 4830-0637 : 1 ♂, 19. VII. 2003 (タテハモドキ 40 号にて報告)

日向市田原口 越表小学校 4831-4311 : 1 ♀, 10. VII. 2007 木野田利子 leg.

日向市富高 日向中学校 4831-5409 : 1 ♀, 14. VIII. 2007

3 ヒメヒラタタマムシ *Anthaxia proteus* E.Saunders

北川町鏡山 4931-0630 : 5 ♂ 2 ♀, 14. V. 1989

4 シロオビナカボソタマムシ *Coraebus quadriundulatus* Motschulsky

延岡市稲葉崎町 4831-7534 : 2 ♀, 18. V. 1985

北川町上祝子 4931-0465 : 1 ♂, 3. V. 1987

延岡市天下町 4831-6479 : 2 ♀, 15. V. 1987

日之影町見立溪谷 : 2 ♂ 1 ♀, 16. V. 1987

北川町大崩山 : 1 ♂ 1 ♀, 13. V. 1995

日向市富高西川内 4831-5428 : 1 ♂ 1 ♀, 3. V. 2001

5 アオグロナガタマムシ *Agrilus viridiobscurus* E.Saunders

延岡市大貫町 4831-6582 : 1 ex. 4. V. 1989

北川町上祝子小岩屋 4931-0475 : 1 ♀, 6. VI. 1994

6 クワナガタマムシ *Agrilus komareki* Obenberger

- 延岡市行藤町 4831-7446 : 2 exs. 8. V. 1989
- 7 ヒシモンナガタマムシ *Agrilus discalis* E.Saunders
北川町上祝子 4931-0465 : 1 ex. 15. VI. 1989
- 8 ブドウナガタマムシ *Agrilus marginicollis* E.Saunders
延岡市無鹿町 4831-7525 : 1 ex. 16. VI. 1988
- 9 クズノチビタマムシ *Trachys auricollis* E.Saunders
北諸県郡三股町 : 1 ex. 12. VIII. 1980
延岡市桧山谷 : 5 exs. 2. VII. 1986
日之影町見立溪谷 : 1 ex. 16. V. 1987
北川町上祝子小岩屋 4931-0475 : 1 ex. 14. IX. 1993 ; 1 ex. 29. V. 1994 ; 1 ex. 20. VII. 1995
日向市日の平 4831-4446 : 3 exs. 3. VI. 2001
- 10 コウゾチビタマムシ *Trachys broussonetiae* T.Kurosawa
北諸県郡三股町 : 1 ex. 13. IV. 1980
日之影町見立溪谷 : 1 ex. 16. V. 1987
延岡市行藤町 4831-7446 : 2 exs. 5. VII. 1987
日向市富高 4831-5408 : 2 exs. 4. VI. 1995 ; 1 ex. 11. VI. 1995 ; 1 ex. 8. VII. 1995
- 11 マルガタチビタマムシ *Trachys inedita* E.Saunders
延岡市天下町 4831-6479 : 2 exs. 4. V. 1989
- 12 ヌスビトハギチビタマムシ *Trachys tokyoensis* Obenberger
延岡市天下町 4831-6479 : 1 ex. 4. V. 1989
- 13 マメチビタマムシ *Trachys reitteri* Obenberger
日向市富高 4831-5408 : 2 exs. 4. VI. 1995 ; 1 ex. 11. VI. 1995
- 14 サシゲチビタマムシ *Trachys inedita* E.Saunders
延岡市可愛岳 4831-7573 : 1 ex. 12. IV. 1989
日向市富高西川内 4831-5428 : 1 ex. 3. V. 2001
- 15 ルイスヒラタチビタマムシ *Habroloma lewisi* (E.Saunders)
延岡市天下町 4831-6479 : 1 ex. 4. V. 1989
- 16 ヒラタチビタマムシ *Habroloma elegantulum* (E.Saunders)
延岡市愛宕山 4831-6573 : 1 ex. 30. V. 1987
日向市富高 4831-5408 : 1 ex. 4. VI. 1995
日向市日の平 4831-4446 : 2 exs. 3. VI. 2001

(木野田 毅 : 日向市比良町3丁目90)

安本氏採集の甲虫

木野田 毅

延岡市在住の安本潤一氏から、2004 年、2005 年採集の甲虫をいただいた。全ての同定には至らず、今回は、同定の容易な種ばかりとなりました。

大崩山系を中心とした採集品を下さいました安本氏に紙面を借りてお礼申し上げます。

ハンミョウ科の学名については、芦田久氏(京都大学大学院生命科学研究科)のチェックリスト(昆虫と自然 42(8), 2007)に従っています。

ヒメハナカミキリについては、水野弘造氏に同定をお願いしました。紙面を借りて感謝申し上げます。

- 1 アイヌハンミョウ *Cicindela gemmata aino* Lewis, 1891
北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ex. 11. IV. 2004
- 2 ハンミョウ *Cicindela japonica* Thunberg, 1781
北方町鬼の目林道 4931-0431 : 1 ex. 10. IV. 2004
- 3 トゲヒラタハナムグリ *Dasyvalgus tuberculatus* (Lewis, 1887)
北川町上祝子 4931-0465 : 1 ♂, 28. V. 2005
- 4 ジュウシチホシハナムグリ *Paratrachius septemdecimaguttatus* (Snellen van Vollenhoven, 1864)
北川町上祝子 4931-0465 : 2 ♀, 28. V. 2005
北川町上祝子 落水の滝登山口 4931-0444 : 1 ♀, 28. V. 2005
- 5 コアオハナムグリ *Oxycetonia jucunda jucunda* Faldermann
北川町上祝子 4931-0465 : 2 ♂ 2 ♀, 28. V. 2005
- 6 オオオバボタル *Lucidina accensa* Gorham
北方町鬼の目山林道 4931-0332 : 1 ♂, 10. VII. 2004
- 7 ベニヒラタムシ *Cucujus coccinatus* Lewis
北方町上鹿川 4931-0349 : 1 ex. 28. III. 2004
- 8 ホソカッコウムシ *Cladiscus obeliscus* Lewis
延岡市桧山林道 4931-0426 : 1 ♂, 10. VIII. 2003
- 9 ナナホシテントウムシ *Coccinella septempunctata* Linn
北川町上祝子 4931-0465 : 1 ex. 28. V. 2005
- 10 ナミテントウ *Harmonia axyridis* (Pallas)
北方町鬼の目山林道 4931-0332 : 1 ex. 10. VII. 2004
- 11 シロジュウロクホシテントウ *Halyzia sedecimguttata* (Linn)
北方町鬼の目山林道 4931-0331 : 1 ex. 10. VII. 2004
- 12 ニシアオハムシダマシ *Arthromacra kyushuensis* Nakane, 1997
北川町下祝子 4931-0457 : 2 ♀, 25. IV. 2004

- 北方町鬼の目山林道 4931-0431 : 1 ♀, 24. V. 2004
- 北川町上祝子 4931-0465 : 1 ♂ 3 ♀, 28. V. 2005
- 北川町上祝子 落水の滝登山口 4931-0444 : 1 ♀, 28. V. 2005
- 1 3 キイロクチキムシ *Cteniopinus hypocrita* (Marseul)
北川町上祝子 4931-0465 : 2 exs. 28. V. 2005
- 1 4 アオオビナガクチキ *Osphya orientalis* (Lewis)
北川町上祝子 4931-0465 : 18 exs. 28. V. 2005
- 1 5 ヒナルリハナカミキリ *Dinoptera minuta* (Gebler, 1832)
北方町上鹿川 4931-0349 : 1 ♀, 2 exs. 16. IV. 2005
- 1 6 ニセヨコモンヒメハナカミキリ *Pidonia similima*
北川町下祝子 4931-0456 : 4 ♂, 26. IV. 2004 安本潤一 leg. (全て黒紋発達, モモグロ)
- 1 7 ツマグロハナカミキリ *Leptura modicenotata* Pic
北川町上祝子 4931-0465 : 1 ♂ 1 ♀, 28. V. 2005
- 1 8 ホソハナカミキリ *Leptostrangalia hosohana* (Ohbayashi, 1952)
北川町下祝子 4931-0456 : 1 ♂ 3 ♀, 26. IV. 2004
- 1 9 タテジマハナカミキリ *Parastrangalis shikokensis* (Matsushita, 1935)
北川町下祝子 4931-0456 : 1 ♂, 26. IV. 2004
北方町鬼の目山林道 4931-0332 : 1 ♂, 10. VII. 2004
- 2 0 ハコネホソハナカミキリ *Idiostrangalia hakonensis* (Matsushita, 1933)
北方町鬼の目山林道 4931-0332 : 1 ♀, 10. VII. 2004
- 2 1 トラフホソバネカミキリ *Thranus variegatus variegatus* Bates
延岡市桧山林道 4931-0426 : 1 ♂, 20. VIII. 2003
- 2 2 チャボヒゲナガカミキリ *Xenicotela paradalina* (Bates)
北川町上祝子 4931-0465 : 1 ♀, 28. V. 2005
- 2 3 アカガネサルハムシ *Acrothinium gaschkevitchii* (Motschulsky)
北川町上祝子 落水の滝 4931-0444 : 1 ex. 5. V. 2004
- 2 4 ズグロキハムシ *Gastrolinoides japonicus* (Harold)
北川町大崩山 下小積谷 4931-0482 : 1 ex. 25. IV. 2004
- 2 5 アトボシハムシ *Paridea angulicollis* (Motschulsky)
北川町下祝子 4931-0456 : 1 ex. 26. IV. 2004
- 2 6 コガタカメノコハムシ *Cassida vespertina* Boheman
北方町上鹿川 4931-0349 : 1 ex. 10. IV. 2004
- 2 7 イチモンジカメノコハムシ *Thlaspidia cribrata* (Boheman)
北方町上鹿川 4931-0349 : 1 ex. 10. IV. 2004
- 2 8 ベニホシハマキチョッキリ *Byctiscus puberulus regalis* (Roelofs)

北川町落水林道 4931-0444 : 1 ♂, 11. IV. 2004

29 イタヤハマキチョッキリ *Byctiscus venustus* (Pascoe)

北方町上鹿川 4931-0349 : 1 ♀, 10. IV. 2004

30 ナラルリオトシブミ *Euops kono*i Sawada et Morimoto

北川町上祝子 大藪 4931-0464 : 1 ex. 11. IV. 2004

31 シミノコギリゾウムシ *Iyasma guttulum* K no

北方町鬼の目山林道 4931-0431 : 1 ex. 1. VI. 2003

(きのだ たけし : 日向市比良町3丁目90)

古川達耶君が採集した日向市の甲虫類

木野田 毅

日向市立日向中学校3年生の古川達耶君が、2007年5月12日に採集した甲虫を預かっている。同定を終えていない個体の方が多く、今回はわずか8種の報告となりました。

採集地は日向市大王町 メッシュコードは、4831 - 5520、採集者は全て古川達耶。

彼と同行した私は、この機会がなければ、市内の大王町の総合運動公園を見下ろす丘の尾根筋のルートは知らないままでした。採集をともに楽しんだ古川君に感謝申し上げます。

1 アオヘリアトキリゴミムシ *Parona latecincta* (Bates) 1 ex.

2 ホシハネビロアトキリゴミムシ *Lebia calycophora* Schmidt-G obel 1 ex.

3 コイチャコガネ *Adoretus tenuimaculatus* Waterhouse 2 ♀

4 ナミハナムグリ *Cetonia pilifera* (Motschulsky, 1860) 1 ♂

5 ナミテントウ *Harmonia axyridis* (Pallas) 2 exs.

6 アカバネツヤクチキムシ *Hymenalia rufipennis* (Marseul) 2 ♀

7 バラルリツツハムシ *Cryptocephalus approximatus* Baly 4 ♂ 2 ♀

8 キボシツツハムシ *Cryptocephalus perelegans* Baly 2 exs.

(きのだ たけし : 日向市比良町3丁目90)

オノヒゲナガゾウムシが宮崎県に分布

中武文広

オノヒゲナガゾウムシ *Dendrotrogus japonicus* MORIMOTO は、灰褐色・暗褐色で斑紋を作り、上翅中央部には暗色横帯を持つ特徴のある種である。その分布は本州・四国・対馬・屋久島・台湾で、九州からは鹿児島のみが記録されている。筆者は以下のように、宮崎県で本種を採集したので報告する。枯れ木となっていたタブノキの倒木から得た。

《データ》採集場所 宮崎県日向市米の山

採集日 2007年7月20日

頭 数 1 頭

採集者・標本保管者 中武文広
(なかだけふみひろ：日向市財光寺切島 2 区 898-1)

ウンモンナガクチカクシゾウムシ琉球亜種が宮崎県に分布

中武文広

筆者が、主に採集を行っている、宮崎県児湯郡木城町大字中之又の中野林道から、更に奥に入った山道に於いて、倒木の裏にいたナガクチカクシゾウムシの一種を採集した。この種は、外見の特徴が、ウンモンナガクチカクシゾウムシ *Rhadinomerus unmon* NAKANE によく似ていた。しかし、鱗毛が密である事等から、ウンモンナガクチカクシゾウムシ琉球亜種 *Rhadinomerus unmon ryukyuensis* MORIMOTO ではないのかと思った。だが、問題は本種の分布域である。八重山諸島の西表島から、トカラ列島の中之島までが、本種の分布となっている。状況が今一つ判明しないので、本種をいつも御指導、頂いている森本先生に見て頂いた所、琉球亜種で、現在まで中之島が分布北限だったのだが、今回の採集で宮崎県が、最北端の記録になったとの回答を頂いた。筆者は、日向市山ノ田でも本種を発見、確認もしていたが、その時は逃げられていた。本種が、北上傾向を示しているとすれば、今後が気になる所である。末筆ではあるが、いつもお世話になっている森本桂先生に感謝申し上げる。

種名 ウンモンナガクチカクシゾウムシ琉球亜種 *Rhadinomerus unmon ryukyuensis* MORIMOTO

採集地 宮崎県児湯郡木城町大字中之又字中野

採集日 25 V 2006 lex 6 VIII 2006 lex

採集者・標本保管者 中武文広

(なかだけふみひろ：日向市財光寺切島 2 区 898-1)

キノコより採集の甲虫3種

中武文広

筆者は、キノコ各種より 3 種の甲虫を得ているので報告する。

1 コモンチビオオキノコムシ *Tritoma cenchris* LEWIS

宮崎県児湯郡木城町大字中之又字中野 1 X 2005 lex

広葉樹の枯れ枝に生えた、ウチワタケから採集。個体数は多くない種。

2 キノコアカマルエンマムシ *Notodoma fungorum* LEWIS

宮崎県児湯郡木城町大字中之又字中野 4 VI 2006 lex

風倒木に生えていた白色の、種不明のキノコに来ていた。

3 キノコヒゲナガゾウムシ黒化型 *Euparius oculatus* SHARP 1891

宮崎県児湯郡木城町大字中之又字中野 23 X 2005 lex

宮崎県日向市塩見山ノ田 29 V m 2006 lex

ヒイロタケより採集。普通のキノコヒゲナガゾウムシと比較すると少ない。

(なかだけふみひろ：日向市財光寺切島 2 区 898-1)

ナガバゴマフカミキリの変異種を採集

中武文広

ナガバゴマフカミキリ *Mesosa longipennis* BATES の変異種を宮崎県児湯郡木城町大字中之又字中野で採集しているので報告する。ネムノキの倒木の裏に 1 頭来ていた。ナガバゴマフかナカジロゴマフかと調べながら考えたが、通常のタイプとは違う。そこで木野田毅氏に連絡を取り、見てもらった。一見すると沖縄系の種と間違えてしまいそうだと、二人で話し合った本種は、体調は 14mm 程で黄褐色の微毛が中央の太い横帯を作り、更にその上にある帯紋は黒化傾向にあり不鮮明である。こういうタイプが出現して来る所がカミキリの面白さだろう。宮崎県で、このタイプが次々採集できれば更に面白い。末筆ではあるが、お忙しい中、本種を同定して頂きカラー写真での発表を勧められた木野田毅氏に感謝申し上げる。



(なかだけふみひろ：日向市財光寺切島 2 区 898-1)

ヒトオビアラゲカミキリの色彩変異種を採集

中武文広

宮崎県児湯郡木城町大字中之又の中野地区に、2006 年の台風によって倒れた一本のカシがある。これに甲虫が集まってくると注目していたのだが、今年この倒木での初の採集を試みた。カミキリが 5 種、ゾウムシが 4 種ほど来ていたが、中でも黒っぽいカミキリが目をつけた。採集して持ち帰りルーペで詳しく調べて見ると、この種はヒトオビアラゲカミキリ *Rhopaloscelis unifasciatus* BLESSIG である事が判明した。遠目では黒っぽく見えたが、上翅は濃い赤褐色である。通常、この種の上翅は灰

色の微毛で覆われているが、採集した個体には、翅端にだけ、その特徴が残っている。また、この種の特徴の一つである中央の太い黒帯は、赤褐色が濃く強いために見づらくなってしまっている。この倒木にはヒトオビアラゲカミキリは3頭ほど来ていたが、このような赤褐色のタイプは1頭のみであった。この種としては、珍しい体色の記録と思われる。

以下、採集データを記しておく。

《データ》 採集場所 宮崎県児湯郡木城町大字中之又字中野

採集日 2007年7月1日 1頭

採集者・標本保管者 中武文広

(なかだけふみひろ：日向市財光寺切島2区 898-1)

門川町にてマルタンヤンマ

木野田 毅

6月19日、門川町立西門川中学校教諭の長友政文氏から電話がありました。青いトンボが届いたが、何だろうと。聞くと目が青く、体も青いとのこと。マルタンヤンマかなと思うが、情報不足でなかなか分からない。当日夕方、わざわざ日向中学校まで、届けていただいた。ポリ袋に入った生きたままのトンボは、間違いなくマルタンヤンマのオスであった。

聞くと、区長さんが田んぼで珍しいトンボではないかと、採集されたそう。県内でも貴重な分布記録であると、本会事務局の岩崎郁雄氏から同定の確認とともにご教授いただいた。採集された黒木郷晴区長様、及び連絡をして本個体を届けていただいた長友政文氏、報告を勧めていただいた岩崎郁雄氏に感謝申し上げます。

《データ》

マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* (Selys)

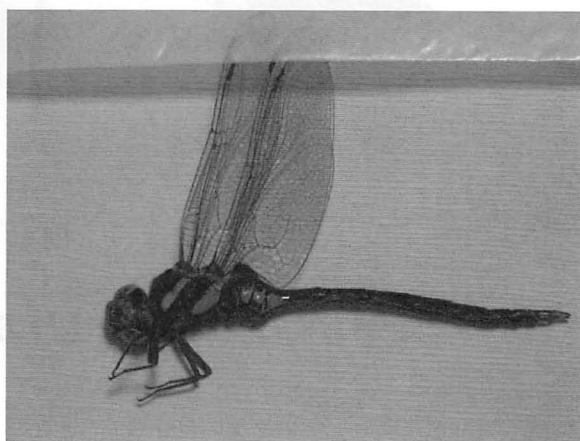
性・数量：1♂

採集日：2007年6月19日

採集場所：門川町大字川内上井野（西門川）

採集者：黒木 郷晴（くろき たかはる）

標本保管者：岩崎郁雄



(きのだ たけし：日向市比良町3丁目 90)

タテハモドキ (43), 2007: 109

アマミナナフシを都井岬で採集

岩 崎 郁 雄

クロマダラソテツシジミ探索の折、大形のナナフシを目撃。触覚が短いので、ナナフシモドキかと考えたが、それにしても体長 120mm と大きい。採集して、飼育することにした。なお、この個体は、11月中旬まで生存した。丁度、Kakon の ML にアマミナナフシの話題が出て、もしかしてと山下秋厚氏に同定を依頼したところ、まさにそうであった。筆者は、これまで宮崎県内での記録は知らない。九州では、鹿児島県で記録がある。

報文に当たって、山下秋厚氏をはじめ、調査に同行の末永英規氏に感謝したい。

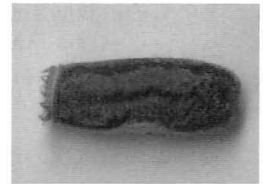
《データ》

アマミナナフシ *Entoria okinawaensis* Shiraki, 1935 1 ♀ 採集

採集日：2007 年 9 月 17 日

採集地：宮崎県串間市大字都井 御崎

採集者：岩崎郁雄 標本保管者：同左



卵



アカメガシワの上に静止するアマミナナフシ（都井）

<参考文献>

宮武頼夫・加納康嗣(1992)『検索入門セミ・バッタ』.215pp. (株) 保育者.

(いわさき いくお：宮崎市本郷北方 4353-31)

宮崎昆虫同好会会則

1. 本会は宮崎昆虫同好会という。
2. 本会は宮崎県を中心とした昆虫の研究，自然保護及び正しい昆虫趣味の普及発展を図るのを目的とする。
3. 前項の目的を達成するために次の事業を行う。
 - (1) 機関誌「タテハモドキ」及び連絡紙「宮昆ニュース」を発行する。
 - (2) 年1回(11月)総会を開き，会務報告，決議及び講演，研究発表などを行う。
 - (3) 必要に応じて談話会(例会)，採集会，同定会などを行う。
4. 上の目的に賛同する人は，所定の会費を納めて会員となることができる。
5. 会員は会の運営に関与し，各事業に参加することが出来る。
6. 本会は会の運営のために次の役員を置き，事務局を構成する。但し監査を除く。
会長1名 副会長1名 事務局長1名 幹事若干名 監査1名
7. 役員の任務は次の通りとする。
 - (1) 会長は本会を代表し会務を総括する。
 - (2) 副会長は会長を補佐し，会長不在の場合はその任務を代行する。
 - (3) 事務局長は本会の事務及び会計に当たり，併せて事務局会を運営する。
 - (4) 役員は事業を分担し，その運営に当たる。
 - (5) 監査は会計の監査を行う。
8. 役員の選出は事務局会で行い，会長が委嘱する。役員の任期は定めない。
9. 事務局会は必要に応じて会長が招集し，会務運営及び緊急事項の決議を行う。決議事項は会員に通知するものとする。
10. 会計年度は1月1日に始まり12月31日に終わるものとする。会費は次のとおりとし，原則として前納制とする。

(1) 一般会員(社会人，家族会員)	年額 3,000円
(2) 団体会員	年額 5,000円
(3) 機関誌贈呈者及び団体(事務局会で決定)	無料
11. 本会の事務局は事務局長所在地に置く。
12. 会則の変更は事務局会で審議し総会で決議する。
(附則) 本会則は平成9年11月16日より施行する。

安本潤一：ウラキンシジミ 3 令幼虫のパラシュート	76
安本潤一：ウラキンシジミパラシュート落下直後の観察	76
川越健一：オオルリシジミの興味深い観察例	77
安本潤一：延岡市のアオマツムシの記録	77
岩切康二・笹岡康則：宮崎市におけるタイワンオオテントウダマシの採集記録	78
岩崎郁雄・末永英規：宮崎県内でオオゲンゴロウを採集	79
末永英規：アカハネムシがツチハンミョウの死骸を摂食	80
木野田毅：タカハシトゲゾウムシの記録	80
木野田毅：宮崎県内甲虫類の記録	81
木野田毅：タمامシ科の記録	101
木野田毅：安本氏採集の甲虫	103
木野田毅：古川達耶君が採集した日向市の甲虫類	105
中武文広：オノヒゲナガゾウムシが宮崎県に分布	105
中武文広：ウンモンナガクチカクシゾウムシ琉球亜種が宮崎県に分布	106
中武文広：キノコより採集の甲虫 3 種	106
中武文広：ナガバゴマフカミキリの変異種を採集	107
中武文広：ヒトオビアラゲカミキリの色彩変異種を採集	107
木野田毅：門川町にてマルタンヤンマ	108
岩崎郁雄：アマミナナフシを都井岬で採集	109

【編集後記】

このところの昆虫の世界における温暖化と思われる影響は年々顕著になってきました。2007 年は、表紙のオオツバメガはもちろん、県初のクロマダラソテツシジミが南部を中心に発生しています。南西諸島以南のものとはばかり考えていた種ですが、常識外のことが、起こりつつあります。キオビエダシャクは、完全に土着の様相を呈して、日南海岸ではかつてのタテハモドキのようなものとなっていますし、ベニトンボは、県北を通り越して大分県まで分布を拡大しています。しかしながら、在来種の動向も重要です。外来種に圧迫され、気候の変化により衰退が懸念されます。いずれにしろ、温暖化は大変な状況ですが、一方、いろいろな虫を調べるのは楽しみでもあります。2008 年も何が起こるか分からない状況ですが、その年の記録を残しておくことは大切です。(I. I)

目 次

永井 脛・阿部祐侍：都城市のオオツバメガ	1
宮原義雄：コブノメイガ、シロオビノメイガの延岡の海岸における飛来状況	
1. 9年間の調査のまとめ	3
宮原義雄：コブノメイガ、シロオビノメイガの延岡の海岸における飛来状況	
2. コブノメイガ飛来状況の他の地点との関係	13
串間研之：平成18年のキオビエダシャク	17
永井 脛：アシズリエダシャクの採集（記録訂正）	19
岩崎郁雄：11月にツキワクチバを採集	19
岩崎郁雄：オキナワリチラシの吸蜜例	20
岩崎郁雄：自宅庭のイボタで発生したガ2種の記録	20
安本潤一：2007年宮崎県及びその周辺のクロマダラソテツシジミ	21
小松孝寛・森岡公一郎：南郷町と都井岬でクロマダラソテツシジミの発生を確認	23
岩崎郁雄：宮崎県で発生したクロマダラソテツシジミについて（1）～その発生状況について～	25
八木真紀子：日南市でクロマダラソテツシジミを採集	35
岩崎郁雄：宮崎市折生迫におけるタイワンツバメシジミの調査報告～2007年保護活動調査～	36
岩崎郁雄：盛夏のタイワンツバメシジミのステージは？～蛹化時期を探る～	47
小松孝寛：タイワンツバメシジミの飼育記録	51
小松孝寛・安本潤一：タイワンツバメシジミの飼育記録2	53
小松孝寛・安本潤一：南郷町でウスキシロチョウの発生を確認	54
岩崎郁雄：五ヶ瀬町でオオウラギンスジヒョウモン幼虫の採集と寄生蜂脱出の記録	56
園山英一・園山修平・岩崎郁雄：宮崎市南部におけるモンシロチョウの消長について	
～ 2006年11月～2007年11月 ～	57
山元修成：都城・北諸県郡の蝶	61
中尾景吉：アサギマダラの特異な移動例	71
岩崎郁雄：宮崎県におけるアマミウラナミシジミの食草について	72
安本潤一：延岡市北浦町（旧北浦町）のアカシジミの記録	74
安本潤一：高千穂町秋元のウラキンシジミの記録	74
安本潤一・川野雅喜：延岡市のメスアカムラサキの記録	75

タテハモドキ 第43号

発行年月日	2007年12月31日
発行者	宮崎昆虫同好会（〒880-0925 宮崎市大字本郷北方4353-31 岩崎郁雄方）
編集者	岩崎郁雄・末永英規・福島英樹
振替 口座	02000-2-41062 宮崎昆虫同好会
印刷所	（有）ユーアイ（〒880-0805 宮崎市橘通東1丁目10番地6）